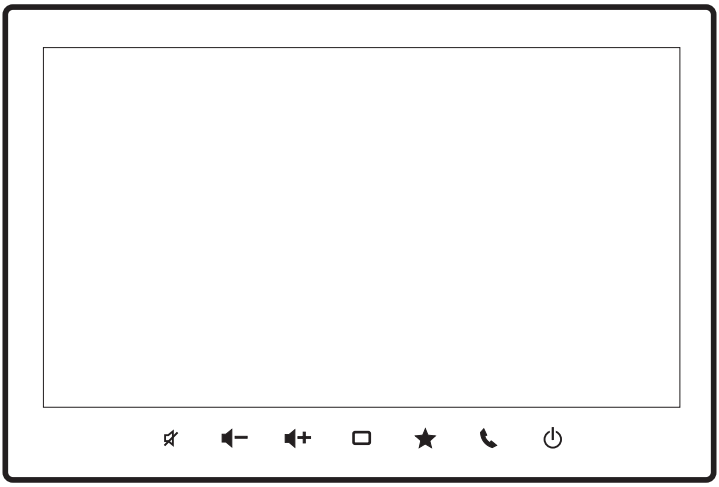
取扱説明書

ナビゲーションシステム



Bluetooth®　VICS WIDE　HDMI®

Made for iPhone | iPod

Works with Apple CarPlay　androidauto

NaviCon

このたびはお買い求めいただき ありがとうございます

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

特に「安全にお使いいただくために」では、ご本人や他の人々への危害や損害を負うことなく安全にご使用いただくための注意を記述しておりますので必ずお読みください。→6 ページ

お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

- 本書の内容の一部は、仕様変更等により、本機と一致しない場合があります。
  あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合があります。
  あらかじめご了承ください。
- 弊社が正式に認めていないアフターマーケット製品 / サービスを接続してご使用いただいた際の損害につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

お車を第三者に譲渡、転売、廃棄される場合は、お客様の個人情報 及び 著作権保護のため、本機に保存されたすべてのデータの消去（初期化）を行ってください。

ナビゲーションシステムについて

ナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位する GPS（Global Positioning System：全地球測位システム）によって、現在地を地図の上に表示しながら目的地までの道案内（ルート誘導）をするものです。

本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までの誘導ルートを自動的に探し出し（国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道路で自動計算）、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。

ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。

なお、一方通行・右折禁止などの地図データは鋭意正確性を心がけておりますが、日本全国で数万件以上の膨大なデータベースのため、まれに実際の道路標識と異なる場合があり得ます。

その際は、実際の道路標識などにしたがってください。

車種およびタイプ別装備について

グレードや装着したオプションなどにより、機能の有無があります。それらの機能は下記のマークをつけて表しています。

車種・タイプ別装備

目次

安全にお使いいただくために 6
- 安全に関する表示 6
- 現在地表示とGPS 7
- お願いとお知らせ 9
- 安全運転への配慮 12
- ルート案内中の音声案内例 12
- 画面の操作方法 13
- 表記のしかた 13

よく使用する機能の目次 14

各部の名称とはたらき 16
- 本機 16
- ディスク部 16
- ステアリングスイッチ 17

タッチ操作とボタン操作 20
- 電源を入れる/切る 20
- 画面の下に続く一覧を見る 20
- 音量を調節する 21
- 画面と音声を一時消去する 22
  元に戻すには 22

ホーム画面とメニュー 23
- ホーム画面 23
- テーマ画面を変更する 24
- AVソース表示エリアと地図表示エリアを入れ替える 24
- ホーム画面から切り換える 25
- ホーム画面/地図画面/AVソース画面に戻る 26
- ナビメニュー 27
- AVメニュー 28
- 設定メニュー 29
- 携帯電話メニュー 30

ホーム画面のカスタマイズ 31
- ホーム 画面のメニューをカスタマイズする 31

文字の入力 33
- ひらがなキーボード 33
- カタカナキーボード 33
- かな漢字ほかキーボード 34
- 英数字キーボード 34
- 数字キーボード 35
- 記号キーボード 35
- 携帯電話型キーボード 36

地図の見かた 37
- 現在地画面の見かた 37

地図の操作 41
- 地図をスクロールする 41
- スクロール画面の見かた 43
- 地図上の詳細情報を表示する 44
- 地図のスケールを変える 45
- 地図の向きを変える 46
- ルート案内中の現在地画面の見かた 47
- ルート案内中の機能 48

場所の検索と登録 53
- 自宅を登録する 53
- 自宅へ案内する 55
- 登録地に登録する 57
- 住所で探す 58

Bluetooth機器の登録 63
- Bluetooth機器を登録する 64
- 登録したBluetooth機器のプロファイルを切り換える 68

オーディオ・ビデオの基本操作 70
- 音楽CD/ROM 70
- DVD 71
- ラジオ 73
- テレビ 74
- USB 75
- HDMI 77
- iPod 78
- Bluetooth Audio 79

Apple CarPlayの基本操作 80
- USB で接続する 80

- Apple CarPlayの操作 81

Android Auto™の基本操作 82

- Android Auto機能をオンにする 82
- USB で接続する 83
- Android Autoの操作 83

場所のいろいろな検索方法 84

- 名称で探す 84
- フリーワードで探す 85
- 電話番号で探す 85
- 緯度経度で探す 86
- 周辺施設を探す 86
- ジャンルから探す 88
- 登録地から探す 89
- 履歴から探す 89

ルートの設定 90

- ルートを設定する 90
- 案内開始画面の見かた 91
- ルートの詳細を見る 92
  - ルートスクロール 92
  - ルート情報 92
- 別ルートが見つかった場合 93
- 6ルート地図を使う 93
- 6ルートリストを使う 94

ルートの編集 95

- ルート探索条件を変更する 95
- 経由地を追加する 96
- 経由地を消去する 97
- 目的地と経由地を並べ替える 97
- 経由地をスキップする 98
- 乗降IC(インターチェンジ)を指定する 98
- 乗降IC(インターチェンジ)を解除する 99
- 回避エリアを登録する 100
- 回避エリアを変更する 101
- 回避エリアを消去する 101
- ルートを確認する 102
  - デモ走行で確認する 102
- 別のルートを探索する 103
- ルートを消去して案内を中止する 103

場所(地点)の登録/編集 104

- 登録地を登録する 104
- 登録地を編集する 104
- USBメモリーから登録地を取り込む 105
- 自宅/登録地を消去する 106
- 本機に取り込む地点ファイルを作成する 107
  - 地点情報を記入したファイルを作成する 107
  - USBメモリーに格納するフォルダーの構成 107

渋滞情報を見る 108

- 取得できる交通情報 108
  - VICS情報 108
  - 5.8 GHz VICS情報 108
- VICS情報の表示形態 108
  - レベル1:文字 108
  - レベル2:簡易図形 108
  - レベル3:地図 108
- VICSの文字・図形情報を見る(レベル1・2) 109
  - FM多重VICSの文字・図形情報を表示する 109
  - FM多重VICSのセンター情報を表示する 109
  - ビーコン情報を表示・再生する 110
- 地図上でVICS情報を見る(レベル3) 111
  - 緊急情報の自動表示 111
  - VICSマークの種類 111
- VICSマークの詳細を見る 112
- VICS放送局を選ぶ 112
- 放送局の受信感度を確認する 112
- VICS情報の表示を設定する 113
- ビーコン情報の自動表示 113
- ルート上の渋滞情報を確認する 113

ETC情報を見る 114

- ETCカード情報を見る 114
- ETCの利用履歴を見る 114
- プローブ情報アップリンクを設定する 115
- ETC起動時音声案内を設定する 115
- 料金案内設定する 115

NaviConで検索して目的地設定する ... 116

ラジオを聴く 117

- ラジオを受信する 117
  - バンドを切り換える 117

リストから選局する……117
自動で放送局を選ぶ……117
手動で放送局を選ぶ……117
• 放送局をプリセットする……118
リストに自動で登録する（オートストア）…118
リストに手動で登録する……118

交通情報を聴く……119

テレビを見る……120
• チャンネルをプリセットする……120
初めてテレビを使用するとき（ホームモードでのチャンネルプリセット）……120
ドライブモード/エリアモードでチャンネルプリセットする……120
• テレビを見る……121
アイコン一覧……121
• 受信中の操作……122
• 番組表から番組を探す……123
• テレビの機能を設定する……123

音楽CD/ROMを聴く……124
• 本機で使用できるディスクについて……124
本機で再生できるCD……124
本機で再生できないCD……124
再生可能なフォーマット……124
• 再生する……124
• 再生中の操作……125
リストから曲を選ぶ……126

DVDビデオ/DVD-VRを見る……127
• 本機で使用できるディスクについて……127
本機で再生できるDVD……127
本機で再生できないDVD……127
• 再生する……127
• 再生中の操作（操作メニュー画面）……128
ディスクメニューにタッチして操作する…130
ディスクメニューを操作キーで操作する…130
見たい場面を指定して再生する……131
ワイドモードを切り換える……131
リストからタイトルを選んで再生する…132
• DVDビデオ/DVD-VRの初期設定を行う…132

iPodを使う……133
• iPodの再生について……133
接続確認済のiPod……133
• 再生する……133
• 再生中の操作……134
リストから曲を選ぶ……135

Bluetooth Audioを使う……136
• Bluetooth Audioの再生について……136
• Bluetooth機器の登録……136
• 再生する……136
• 再生中の操作……137
リストから曲を選ぶ……138

USBメモリーまたはAndroid™端末を使う……139
• USBメモリーの再生について……139
再生できるファイル……139
• MTP 接続対応Android™ 端末での再生について……139
• 再生する……139
• 再生中の操作（音楽ファイル）……140
• 再生中の操作（映像ファイル）……141
再生モードを切り換える……142
リストからファイルを選んで再生する…142
ワイドモードを切り換える……143

HDMI®機器を使う……144
• 映像を見る……144
ワイドモードを切り換える……144

車両情報を見る……146
• 現在の運転情報……147
• ワンドライブ履歴……148
• 給油間履歴……149
• エネルギーフロー……150
• 車両警告情報……150
その他の異常やトラブルが発生したとき…151

通話する（ハンズフリー）……153
• 携帯電話と本機を接続する……153
• 電話帳を本機に読み込む……153
電話帳の消去……154
• ワンタッチダイヤルに登録する……154
電話帳から登録する……154
発着信履歴から登録する……155
ワンタッチダイヤルを消去する……155
• 電話をかける……155
通話中の画面について……155

電話番号を入力して電話をかける 156
リダイヤルする 156
電話帳から検索して電話をかける 156
ワンタッチダイヤルで電話をかける ... 158
発着信履歴から電話をかける 158
- 電話を受ける 158
- 電話着信時にSMSで返信する 159
- SMSの着信を通知する 159

Apple CarPlayを使う 160
- Apple CarPlayでできること 160
- 準備する 161
  Wi-Fi接続時 161
- USBで接続する 162
- Wi-Fiで接続する 162
- 登録したApple CarPlay機器を消去する ... 163

Android Autoを使う 164
- Android Autoでできること 164
- 準備する 165
  Android端末の準備 165
  本機の準備 165
- 接続する 165

[設定]メニューの表示 166

システムの設定 166
- お知らせ設定の設定項目と条件 169

ナビゲーションの設定 170

地図の設定 175
- 自車位置を修正する 178

オーディオ・ビデオの設定 179
- 言語コード表 184

Bluetooth/Wi-Fiの設定 185

車両の設定 187

Bluetooth対応機器との接続 189
- 本機を待ち受け状態にしてBluetooth対応機器を登録する 189
- 使用するBluetooth機器を切り換える ... 190
- 登録したBluetooth機器を設定する 191
- 登録したBluetooth機器を消去する 192

スズキコネクトを使う 193
- コールセンターに電話する 193
- 通知画面を見る 194
  警告灯通知 194
  その他の通知 194
  通知履歴を見る 194

カメラについて 195
- 全方位モニター 195
  映像を表示する 195
  画質を調整する 195
- バックアイカメラ 196
  映像を表示する 196
  画質を調整する 196

後席専用モニターについて 197
- 後席専用モニター（別売）に表示できる映像について 197

ドライブレコーダーとの連携 198
- ドライブレコーダーの録画ファイルを再生する ... 198
- 再生リスト画面の操作 199
- 再生中の操作 200
- 手動で録画を開始する/静止画を撮影する ... 201
- ドライブレコーダー映像を表示する 201
- ドライブレコーダーを設定する 202

地図/ソフトウェアの更新 204
- 無料版地図/ソフトウェアの更新 204
  本機から必要なデータをダウンロードする ... 204
  ホームページから更新用データと更新キーをダウンロードする 205
  バージョンアップ操作をする 205

故障かなと思ったら 208
- 共通項目 208
- ナビゲーション 208
- オーディオ共通項目 209
- Apple CarPlay 209
- Android Auto 210
- FM/AM 210
- CD、ROM（WMA/MP3/AAC） 210
- DVDビデオ/DVD-VR 210
- 地上デジタルテレビ 211
- USB 211

- iPod 211
- Bluetooth Audio 211
- カメラ関連 212
- HDMI 212
- 電話関連 212
- ドライブレコーダー 212
- ETC関連 213
- 車両情報関連 213
- 地図/ソフトウェア更新関連 213

本機で再生できるUSBメモリー ... 214

本機で再生可能な音声ファイルについて ... 215

- 音楽データの規格について 215

本機で再生可能な動画ファイルについて ... 216

- 再生可能な動画ファイルについて 216

再生できるファイルとメディアの種類 ... 217

- オーディオおよびビデオファイルの互換性 218
- HDMI入出力の対応フォーマット 219
- USBメモリーのフォルダー構成 220
- 本機でMP3・WMAを再生するためのご注意 220

再生できるディスクの種類 221

- 再生できるディスクの種類とマーク 221

お手入れ 222

- 本体のお手入れ 222

主な仕様 223

商標について 224

Bluetoothについて 225

- Bluetooth（ブルートゥース）とは 225
- Bluetooth機器の取り扱いについて 225

お車を廃棄・譲渡・転売するときは ... 226

- 本機内のデータ消去について 226
  - お客様のプライバシー保護のために ... 226
  - 著作権保護のために 226
- データを消去（初期化）する 226

ナビゲーションの地図データをご利用いただくにあたって 227

- 検索におけるデータベース 227
- ルートに関する注意事項 227
- VICS情報に関する注意事項 228
- 収録データベースに関する注意事項 229

VICS情報有料放送サービス契約約款 ... 230

テレビ/ラジオの受信について ... 232

初期設定一覧 233

索引 236

安全にお使いいただくために

安全に関する表示

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
⚠注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

⚠警告

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

カメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかるおそれがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

けがや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す

感電やけが、機器故障の原因になります。

本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない

本製品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また実際の情報と異なる場合があり、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

実際の交通規制にしたがう

ナビゲーションの画面に表示された地図、一方通行標識、交通規制標識・標示等、またはルート案内（推奨ルートや音声案内）などの情報は、実際の道路状況と異なる場合があります。必ず実際の道路標識、交通状況にしたがって走行してください。交通事故の原因となります。

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。

ヒューズ交換時は専門技術者に交換を依頼し、規定容量品を使用する

規定容量を超えたヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

製品の前面や通風口を塞いだり、紙やフロアマット、布で覆わない

放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

⚠注意

取り付け、取り外し、取り付け変更や配線は、専門技術者に依頼する

正しく取り付けや配線をしてください。誤った取り付けや配線をすると、運転に支障をきたし事故や故障の原因となります。

本機を車載以外の用途に使用しない

けがや感電の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

操作パネルの上に物を置いたり、強い衝撃を与えない

操作パネルや液晶表示部が故障や破損・変形する原因となります。

- 上に物を置かない
- 手で強く押さない
- ボールペンの先端、ピン、爪の先など、硬いものでこすったり、たたいたりしない
- 水滴やジュースなどの飲みものをかけない

現在地表示と GPS

本ナビゲーションシステムでは、GPS によって現在地の特定を行っています。

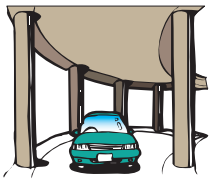
GPS について

GPS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。また、本機では、準天頂システム「みちびき」と GLONASS による測位が可能です。以下のような条件により、位置の特定ができなかったり、位置特定が影響を受けたりすることがあります。

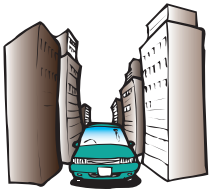
- トンネルや建物内などの屋内



- 2 層構造の高速道路の下



- 高層ビルなどの高い建物で囲まれた場所



- 密集した樹木の間



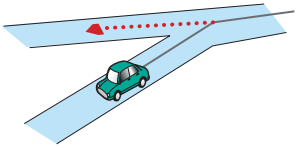
起動時の自車位置について

- ナビゲーションの起動から現在地の測位に至るまで、周囲の環境や電波の状態、また電源状態によっては数分～数十分程度の時間がかかる場合があります。
- ナビゲーションを起動したとき、始めに表示される現在地は、前回ナビゲーションを終了した時の地点となります。突然の電源断など、始めに表示される現在地が異なる位置となった場合、GPS 測位開始後に、受信状況に応じた位置が表示されます。
  ※ 初回起動時は東京駅に設定されています。

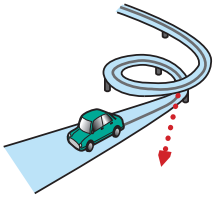
自車位置のずれについて

以下のような場合は、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、本機の故障ではありません。

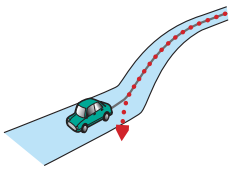
- 使用して間がないとき。
  本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します。そのため、ある程度の走行データが必要です。しばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。
- 衛星精度が低下したとき。
  GPS 情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により、測位誤差が大きくなることがあります。その他にも GPS アンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなることがあります。
- その他、以下のような走行環境や GPS 衛星の状態のとき。
  - 角度の小さな Y 字路を走った場合。



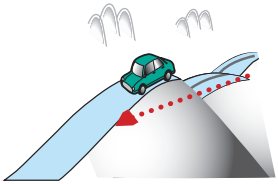
  - ループ橋などを通った場合。



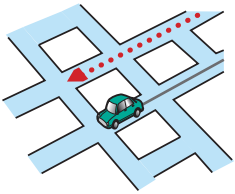
  - 直線および穏やかなカーブを長距離走行している場合。



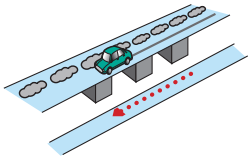
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



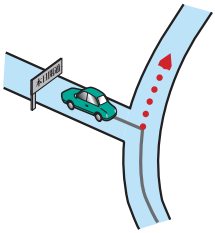
- 碁盤の目状の道路を走った場合。



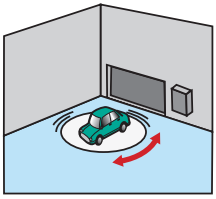
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



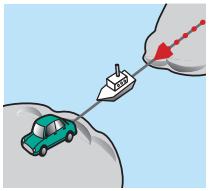
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



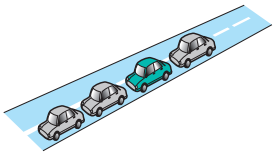
- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



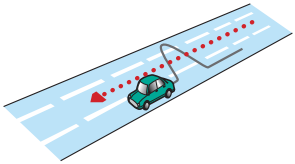
- ヘアピンカーブが続いた場合。



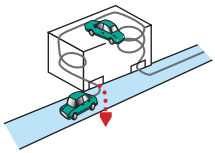
- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



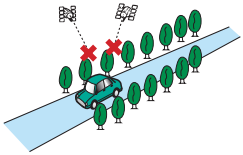
- 蛇行運転をした場合。



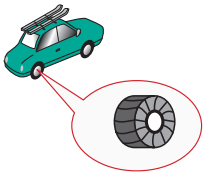
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



- GPS による測位ができない状態が長く続いた場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



- 坂道での車庫入れやバンク路を走行している。
- 長時間連続で走行している。
- ホイールスピンなど乱暴な走行をしている。
- 自車位置の移動時に車両の方向が合っていない。
- GPS 衛星からの受信ができない駐車場で、時速 30 km 以上の速度で走行した後。
- 起動直後、GPS 衛星からの受信ができない場所で低速の後退やハンドル操作などで自車方向が変わった後。

お願いとお知らせ

USB 端子のご利用について

- 車載の USB 端子はスマートフォンなどの充電を目的としたものではないため、製品によっては充電できなかったり、充電に時間がかかる場合があります。

液晶表示について

- 画面の中に小さな黒点、輝点が現われる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。液晶パネルが汚れた場合は、*「本体のお手入れ」（222 ページ）*をお読みください。

使用環境について

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は車のエンジンをかけた状態で行ってください。本機は高速 CPU を搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンスイッチをオフにした直後の取り扱いは、十分に注意してください。
- キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーを本機に近づけると、本機が動作しなくなる場合があります。また、キーを本機や Bluetooth オーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面や音声が乱れたり、タッチパネルが反応しない場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

ルートについて

- 検索機能から表示される施設の位置をそのまま目的地に設定した場合、施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路を確かめてください。
- 目的地が片側 2 車線以上の反対側の道路に隣接している場合、目的地の前に到着するように（目的地が自車の左側になるように）ルートを探索します。道路形状によっては目的地に横付けする探索を行うため遠回りのルートを表示する場合があります。
- 音声データにより聞き取りにくい名称があります。
- 提供される VICS 情報は参考情報であり、最新のものではない場合もあります。
- ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。詳しくは*「ルートの設定」（90 ページ）*を参照してください。

適切なルート設定ができない場合について

- 広い施設（広大なショッピングモールなど）を目的地として設定しようとしたとき、駐車場までの適切なルート設定ができない場合があります。

有料道路の料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC 割引には対応していません。
- 一部の有料道路で料金表示ができない場合があります。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所への進入、退出の情報から計算されます。
- 単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても料金は表示されません。
- 1 つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2 つ目の区間だけの料金が表示される場合があります。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行うと、料金表示はされず、「不明」と表示される場合があります。（ルートの出発地 / 目的地が高速（有料）道路上にあるときも、料金の表示は「不明」となります。）
- インターチェンジの出口を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路 / 有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、「○○円以上」や「不明」と表示される場合があります。

地図更新について

- 本機の地図 / ソフトウェアのデータを利用開始日から最大 3 年間無料で更新できます。詳しくは*「地図 / ソフトウェアの更新」（204 ページ）*を参照してください。

保証期間内の保証に関するご注意

- 保証を受ける際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 本機の故障により保存できなかったデータ、および消失したデータに関しては、保証しておりません。
- 次のような場合は、保証期間内でも保証は適用されません。
  - お取り扱い上の不注意（取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水濡れなど）
  - 不当な修理や改造・分解による故障および損傷
  - 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷
  - ご使用後の傷、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷

著作権について

- 本機は許諾契約に基づき弊社が使用許諾を受けた第三者が著作権を所有するソフトウェアおよびデータを収録しています。取扱説明書記載内容にて明示的に許諾される場合を除き、本機からのソフトウェア（更新プログラム、データを含む）の取り出し、複製、改変等の行為は法律で固く禁じられています。

プローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビからプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。
なお、道路管理者はこのお知らせを変更することがあります。この場合には変更後のお知らせを道路管理者 Web サイト等に掲載します。

1．プローブ情報

(1) ここで「プローブ情報」とは、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理するＩＴＳスポット（ＤＳＲＣ路側無線装置）※１と無線通信を行うことにより ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビから収集される情報を言います。なお、このプローブ情報から車両又は個人を特定することはできません。

プローブ情報として収集する情報は次の通りです。※2

- ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカ、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等））
- 車両に関する情報※3
- 走行位置の履歴※4
- 急な車両の動きの履歴※4

※１： 道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理するＩＴＳスポットを含みます。

※２： ただし、個別サービスの種類によっては、車載器のＩＤ付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用者取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

※３： 車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の４桁の一連番号は含まれないため、車両又は個人を特定することはできません（例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※４： 走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

2．プローブ情報の利用目的

(1) 道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※5

※５： 例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

(2) 道路管理者は、(1) の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3．プローブ情報の収集

(1) 道路管理者は、道路管理者が管理するＩＴＳスポット※2によって、プローブ情報を収集する場合があります。

(2) ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により、１．(1) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができます。※6※7　選択の方法は ETC2.0 及び ITS スポット対応カーナビの取扱説明書をご覧下さい。

※６： カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは該当しません。

※７： ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者への (2) で示す情報の提供を拒否する選択を行えません。

(3) ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4．プローブ情報の第三者への提供

(1) 道路管理者は、２．(1) の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2) 道路管理者は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ、ＩＴＳスポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

(3) 道路管理者は、(1) 及び (2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

5．プローブ情報の取り扱い

(1) 道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

(2) 道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

(3) 道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

6．問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室

03-5253-8111(代)

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社
（http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/index.html）

2015 年 7 月改訂
2014 年 10 月改訂
2010 年 10 月現在

安全運転への配慮

安全運転への配慮から、本機は車を走行中に以下の操作ができないようになっています。
この点をご理解のうえ、安全運転を心がけてくださるようお願いいたします。

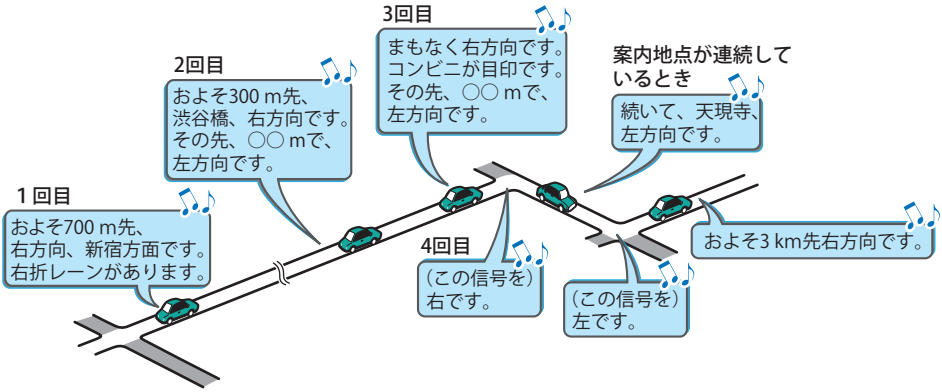
項目	できない操作
画面の操作	• 文字入力 • フリックやスワイプによる地図画面以外での操作
ナビゲーション	• ピンチイン・ピンチアウトによる地図のスケール変更 • 隣り合う 1 画面以上の画面スクロール • 地図スクロール後の [微調整] / [周辺施設を探す] / [一覧] / [情報] の操作 • ナビメニューの [自宅] / [ルート編集] / [ルート消去] / [VICS] / [VICS/ETC] 以外の操作 ＊ルート編集では [ルート消去] / [ルート再探索] / [経由地スキップ] のみ可能です。
オーディオ・ビデオ	• 動画の再生（運転中は音声のみ出力） • テレビ映像の表示（運転中は音声のみ出力） • テレビメニュー画面の [番組詳細]/[番組表]/[番組情報取得]/[バージョン情報] の操作 • 音楽リストの操作
電話	• 電話帳の表示 • 発着信履歴の表示 • メールの詳細表示 • ダイヤル操作 ＊電話帳の詳細画面の表示中に運転を開始した場合、タッチ操作による発信は可能です。
Bluetooth	• 接続の開始 • 検索の開始 • 待ち受けの開始 • 自機名称の編集 • 消去、編集動作への移行 ＊検索、待ち受け動作中に運転を開始した場合、そのままの状態が続きます。
設定	• すべて

MEMO

• スマートフォン連携時は、機能の一部が制限されるアプリがあります。

ルート案内中の音声案内例

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大 4 回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

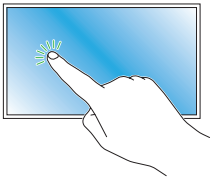


画面の操作方法

画面のタッチ操作について説明します。

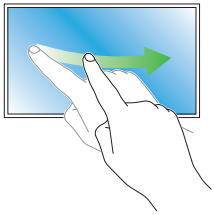
タッチ

タッチキーや地図を指で軽くたたきます。



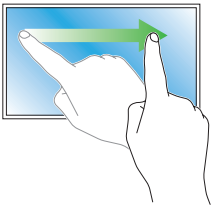
フリック

タッチしたまま、移動したい方向へ指を軽くはじきます。



ドラッグ

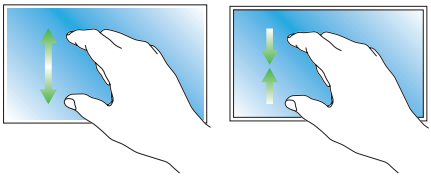
タッチしたまま、目的の場所まで指をスライドします。



ピンチアウト / ピンチイン

2 本の指でタッチしたまま指を開きます / 閉じます。

ピンチアウト　ピンチイン



表記のしかた

本書では、それぞれの操作を、以下のように簡略化して示しています。

表記	操作
（ホームボタン）→ （MENU）→［名称］の順にタッチする	操作パネルの をタッチし、続いてホーム画面の をタッチし、さらにナビメニュー画面の［**名称**］をタッチします。
（タブ）→［回避エリア］の順にタッチする	画面左側のタブから をタッチし、続いてナビ機能設定画面の［**回避エリア**］をタッチします。

よく使用する機能の目次



目的地を登録する

よく行く場所や施設などを登録しておけば、すぐに検索できます。

▶ 57 ページ



目的地を探す

読みやキーワードで探す、住所で探す、など目的地の探しかたにはいろいろあります。

▶ 58 ページ、84 ページ



自宅を登録する

自宅を登録しておけば、簡単に自宅へのルートを設定できます。

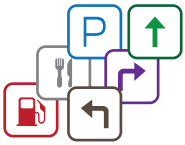
▶ 53 ページ



設定したルートを変更する

一度設定したルートの目的地を変更したり、経由地の追加ができます。

▶ 95 ページ



ルート案内中の画面を表示する

ルート案内中の画面の見かたを覚えておきましょう。

▶ 47 ページ



オーディオ・ビデオを操作する

本機の画面と車両のスピーカーを使ってオーディオ・ビデオの再生を楽しみます。

▶ 70 ページ



Bluetooth® 機器を登録する

Bluetooth 対応のスマートフォンなどを使う前に、Bluetooth 機器を本機に登録しておきます。

▶ 63 ページ



Apple CarPlay を接続する

Apple CarPlay 対応の iPhone を、車両内で安全に活用できます。

▶ 80 ページ



Android Auto を接続する

Android Auto 対応の Android 端末を、車両内で安全に活用できます。

▶ 82 ページ



iPhone またはスマートフォンを接続する

iPhone またはスマートフォンと本機を Bluetooth または USB ケーブルのいずれかで接続します。

▶ 80 ページ、83 ページ、189 ページ



車両情報を表示する

エンジンの状態、燃費や安全への警告など、さまざまな情報を画面で確認できます。

▶ 146 ページ



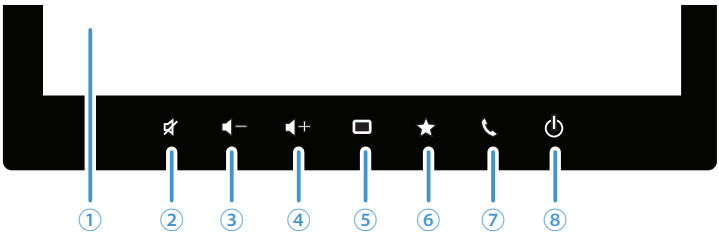
カメラを使う

自車を真上から見ているかのような映像により、確実な駐車や車庫入れを手助けします。

▶ 195 ページ

各部の名称とはたらき

本機



① 液晶パネル

状況に応じて地図やメニューなどさまざまな情報が表示されます。表示される地図やボタン、アイコンをタッチして操作します。

② （ミュートボタン）

タッチすると、オーディオ音声を一時的に消音します。もう一度タッチすると、消音を解除します。また、一時停止が可能なソースの場合は再生を停止します。もう一度タッチすると、再生を再開します。通話中や発着信中の場合は電話の音量を減衰します。もう一度タッチすると、音量の減衰を解除します。

③ （音量－ボタン）

音量を下げます。タッチし続けると、連続で音量を下げます。

④ （音量＋ボタン）

音量を上げます。タッチし続けると、連続で音量を上げます。

⑤ （ホームボタン）

ホーム画面を表示します。どの画面からもホーム画面に戻ることができます。

⑥ （お気に入りボタン）

よく使う機能をお気に入りに登録できます。登録してあるお気に入りがある場合、タッチするとその機能が使用できます。

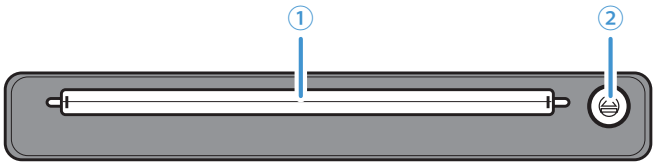
⑦ （電話ボタン）

電話をかけるための設定ができます。また、通話中や発着信中の場合は通話中や発着信中のメニュー画面を隠します。もう一度タッチすると、隠したメニュー画面が再度表示されます。

⑧ （電源ボタン）

タッチし続けると、一時的に画面を消したり（[**画面 OFF**]）、本機の電源を切ったり（[**電源 OFF**]）できます。画面オフ時または電源オフ時にタッチすると、画面が表示されます。

ディスク部



① ディスク挿入口

音楽 CD や DVD など、ディスクのメディアを挿入します。

② （イジェクトボタン）

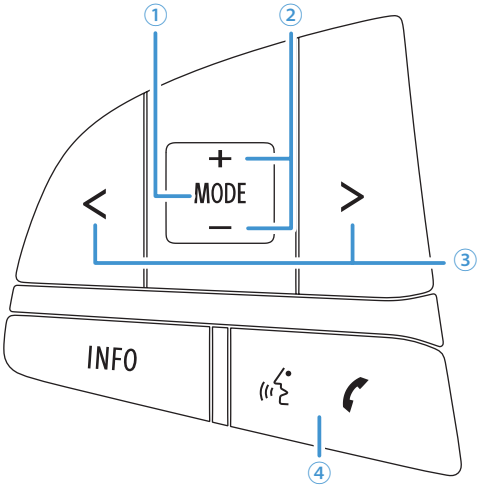
ディスクを取り出します。

ステアリングスイッチ

ステアリングスイッチを使用すると、車を運転中でもステアリングから手を離さずに本機の操作ができます。

車種・タイプ別装備

⚠警告	走行中、運転の妨げにならないように十分注意してください。



①［MODE］（モード）スイッチ

AV ソースを切り換えます。押すたびに、次の順に切り換わります。
AM → Bluetooth オーディオ → USB → iPod → HDMI → Apple CarPlay/Android Auto → DISC → TV → FM → AM…
電源オフのときに押すと、画面が表示されます。長押しするとナビゲーション画面とオーディオ画面が切り換わります。

②［＋ / －］（音量）スイッチ

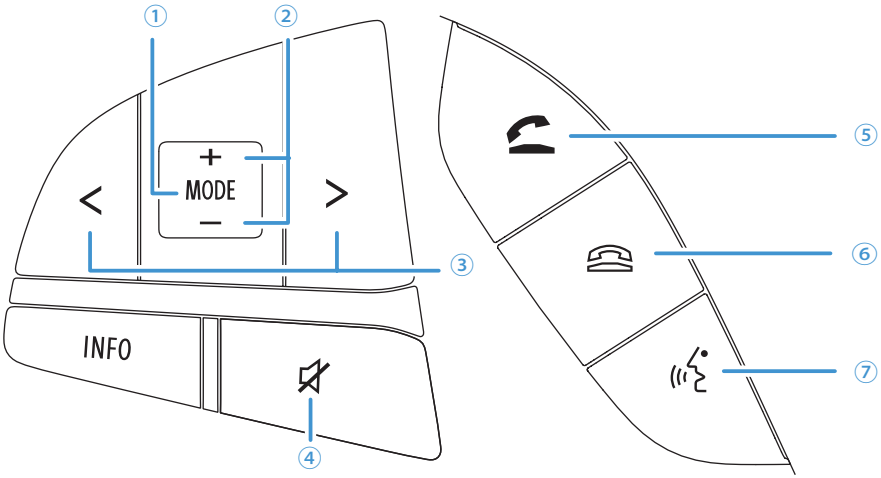
再生中のオーディオ / ビデオの音量を調整します。音声案内が流れているときは音声案内の音量を調整します。
［＋］側を押すと音量が大きくなり、［－］側を押すと小さくなります。
押し続けると連続して音量が変化します。

③［＜ / ＞］（戻る / 進む）スイッチ

AV ソース	スイッチを押す	スイッチを長押しする
FM/AM TV	プリセットチャンネルのアップ / ダウン	自動選局
DISC	トラック / チャプターのアップ / ダウン	早戻し / 早送り（音楽 CD/ROM のみ）
USB（音楽）/ USB（動画）/ iPod/ Bluetooth オーディオ / Apple CarPlay/ Android Auto/ ドライブレコーダー	ファイル / トラックのアップ / ダウン	早戻し / 早送り（音楽のみ） ※ Android Auto、ドライブレコーダーでは早戻し / 早送りは利用できません。

④ 発話 / 電話 スイッチ

電話を着信したとき、ハンズフリーで受けるときに押します。
また、音声認識発話（Apple CarPlay 使用時の iPhone の Siri、Android Auto の音声認識機能）を有効にするときに押します。



① [MODE]（モード）スイッチ

AV ソースを切り換えます。押すたびに、次の順に切り換わります。
AM → Bluetooth オーディオ → USB → iPod → HDMI → Apple CarPlay/Android Auto → DISC → TV → FM → AM…
電源オフのときに押すと、画面が表示されます。長押しするとナビゲーション画面とオーディオ画面が切り換わります。

② [＋ / －]（音量）スイッチ

再生中のオーディオ / ビデオの音量を調整します。音声案内が流れているときは音声案内の音量を調整します。
[＋] 側を押すと音量が大きくなり、[－] 側を押すと小さくなります。
押し続けると連続して音量が変化します。

③ [＜ / ＞]（戻る / 進む）スイッチ

AV ソース	スイッチを押す	スイッチを長押しする
FM/AM TV	プリセットチャンネルのアップ / ダウン	自動選局
DISC	トラック / チャプターのアップ / ダウン	早戻し / 早送り（音楽 CD/ROM のみ）
USB（音楽）/ USB（動画）/ iPod/ Bluetooth オーディオ / Apple CarPlay/ Android Auto/ ドライブレコーダー	ファイル / トラックのアップ / ダウン	早戻し / 早送り（音楽のみ） ※ Android Auto、ドライブレコーダーでは早戻し / 早送りは利用できません。

④ ミュートスイッチ

押すと、オーディオ音声が一時的に消音されます。もう一度押すと、消音が解除されます。通話中や発着信中のときに押すと、電話の音量を減衰します。もう一度押すと、音量の減衰が解除されます。

⑤ オフフックスイッチ

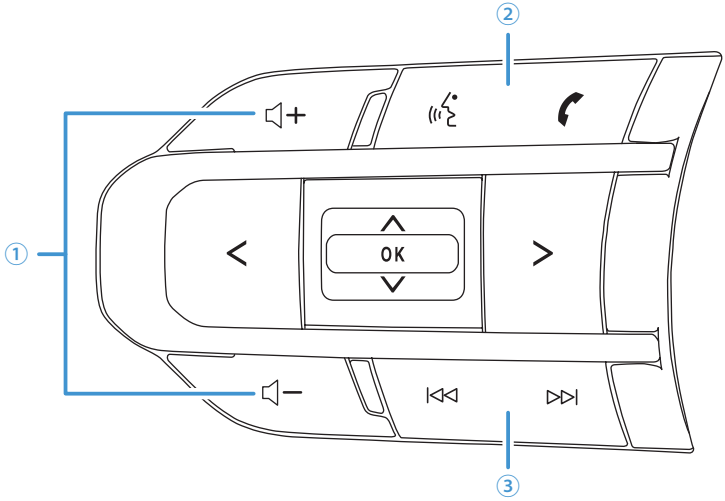
電話を着信したとき、ハンズフリーで受けるときに押します。
通話中や発着信中以外のときに押すと、携帯電話メニューを表示します。

⑥ オンフックスイッチ

ハンズフリーの電話を終えるときに押します。

⑦ 発話スイッチ

音声認識発話（Apple CarPlay 使用時の iPhone の Siri、Android Auto の音声認識機能）を有効にするときに押します。



① [＋ / －]（音量）スイッチ

再生中のオーディオ / ビデオの音量を調整します。音声案内が流れているときは音声案内の音量を調整します。

［＋］側を押すと音量が大きくなり、［－］側を押すと小さくなります。

［－］側を押し続けるとオーディオ音声が一時的に消音されます。もう一度押し続けると、消音が解除されます。

② 発話 / 電話 スイッチ

電話の着信をハンズフリーで受けたり、通話を終えるときに押します。通話中や発着信中以外のときに押すと、携帯電話メニューを表示します。

また、音声認識発話（Apple CarPlay 使用時の iPhone の Siri、Android Auto の音声認識機能）を有効にするときに押します。

③ [⏮/⏭] 戻る / 進むスイッチ

AV ソース	スイッチを押す	スイッチを長押しする
FM/AM TV	プリセットチャンネルのアップ / ダウン	自動選局
DISC	トラック / チャプターのアップ / ダウン	早戻し / 早送り（音楽 CD/ROM のみ）
USB（音楽）/ USB（動画）/ iPod/ Bluetooth オーディオ / Apple CarPlay/ Android Auto/ ドライブレコーダー	ファイル / トラックのアップ / ダウン	早戻し / 早送り (音楽のみ) ※ Android Auto、ドライブレコーダーでは早戻し / 早送りは利用できません。

タッチ操作とボタン操作

電源を入れる / 切る

1. エンジンスイッチを ACC またはオンにする

本機に電源が入ります。



2. エンジンスイッチをオフにする

本機の電源が切れます。

MEMO

- エンジンスイッチの状態については車両の取扱説明書をご確認ください。

画面の下に続く一覧を見る

画面に以下のマークが表示されている場合、一覧などが 1 画面に収まらず上下に続いています。



または をタッチして、上下に動かします。

MEMO

- 画面またはスクロールバーをドラッグしても上下に動かすことができます。

音量を調節する

本機の音量は、（音量＋ボタン）と（音量－ボタン）で調節します。

- 音量を上げるとき：（音量＋ボタン）をタッチする。
- 音量を下げるとき：（音量－ボタン）をタッチする。



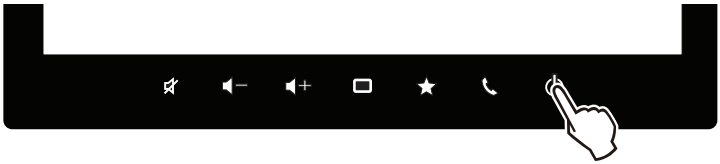
MEMO

- 音量は、最大レベル 40 から最小レベル 0 までの間で調整できます。
- 以下の音量については、その音が出ているときに最大レベル 16 から最小レベル 1 までの間で調整できます。
  - 音声案内音量
  - ハンズフリー通話音量
  - ハンズフリー着信音量
  - 音声認識発話音量
  - メッセージ読み上げ音量

画面と音声を一時消去する

本機の電源をオンにしたまま、画面だけまたは画面と音声を一時的に消すことができます。

1. （電源ボタン）を 3 秒ほどタッチし続ける



一時消去選択画面が表示されます。

2. 一時消去したい項目をタッチする



画面 OFF：画面だけ消えます。
電源 OFF：画面と音声が消えます。
キャンセル：（電源ボタン）をタッチする前の画面に戻ります。

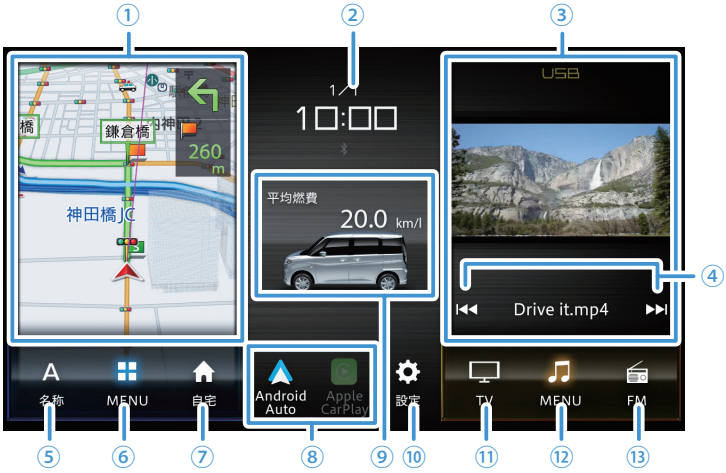
■元に戻すには

もう一度（電源ボタン）をタッチします。

ホーム画面とメニュー

ホーム画面

ホーム画面は、本機のすべての機能や設定への入り口になっています。ホーム画面は「レイヤード」「ベーシック」、「クリスタル」の 3 つのテーマ画面から選択できます。本書では「レイヤード」画面を例に説明します。



① 地図表示エリア

現在地画面を表示します。また、ルート案内中のときは次の案内地点までの距離、進行方向も表示します。タッチすると地図画面を表示します。

② 日時 / ステータスアイコン

設定した日時、ミュート中、ETC/Bluetooth / Wi-Fi の接続状況、ドライブレコーダーの録画状態、緊急通話中 (SOS) のアイコンを表示します。

③ AV ソース表示エリア

再生中の AV ソース情報を表示します。タッチすると、再生画面を表示します。

④ トラック / チャンネル切り換え

トラック、ファイル、チャンネルなどを切り換えます。長くタッチすると早戻し / 早送りなどを行います。

⑤ ナビショートカット 1

設定したナビメニューの項目を表示します。
「ホーム画面のカスタマイズ」(31 ページ) 参照

⑥ ナビメニュー

ナビメニュー画面を表示します。

⑦ ナビショートカット 2

設定したナビメニューの項目を表示します。

⑧ スマートフォン連携

Apple CarPlay/Android Auto の画面を表示します。接続されていない場合は使用できません。

⑨ 車両情報エリア

設定した車両情報を表示します。また、車両警告が発生している場合は警告アイコンを表示します。警告アイコンをタッチすると車両警告画面を表示します。
車両警告が発生していない場合は、タッチすると車両情報画面を表示します。

⑩ 設定

設定メニュー画面を表示します。

⑪ AV ショートカット 1

設定した AV ソースの再生画面を表示します。*「ホーム画面のカスタマイズ」(31 ページ) 参照*

⑫ AV メニュー

AV メニュー画面を表示します。

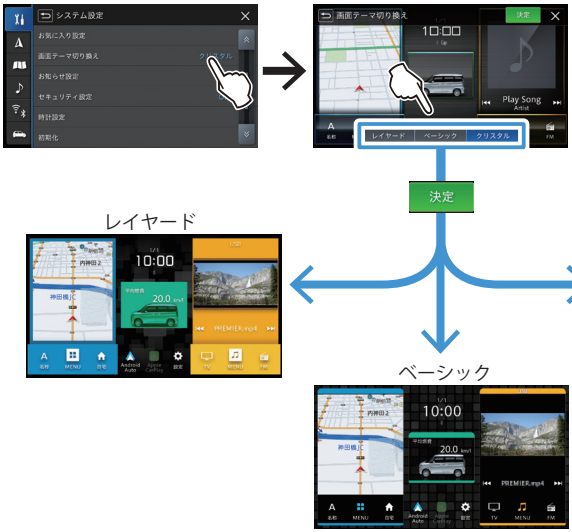
⑬ AV ショートカット 2

設定した AV ソースの再生画面を表示します。

テーマ画面を変更する

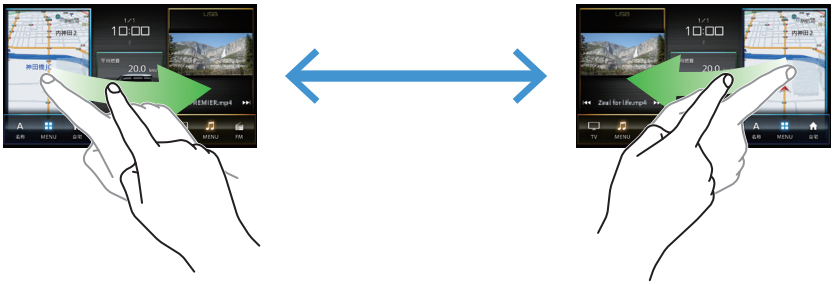
テーマ画面を変更すると、ホーム画面 /AV メニュー画面 / ナビメニュー画面などの背景デザインが変更されます。設定項目に関しては*「システムの設定」（166 ページ）参照*

システム設定画面



AV ソース表示エリアと地図表示エリアを入れ替える

画面を左右にフリックして AV ソース表示エリアと地図表示エリアを入れ替えます。



右フリック　　左フリック

ホーム画面から切り換える

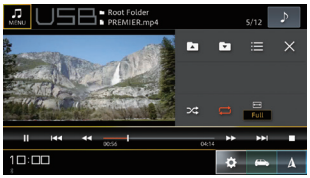
ホーム画面



地図画面



AV ソース画面



ナビメニュー画面



AV メニュー画面



車両情報画面



ホーム画面 / 地図画面 /AV ソース画面に戻る

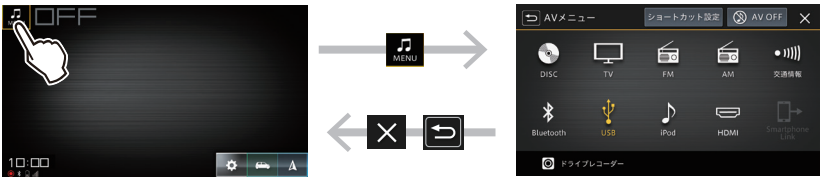
画面左上の  : ひとつ前の画面に戻ります。

画面右上の  :1 回の操作で操作を開始したホーム画面 / 地図画面 /AV ソース画面に戻ります。ただし、  （電話ボタン）をタッチして携帯電話メニュー画面に移動して操作した後、  （設定ボタン）をタッチしてシステム設定画面を表示した場合は、  を押すと携帯電話メニュー画面に戻ります。

例 : システム設定画面を表示している場合



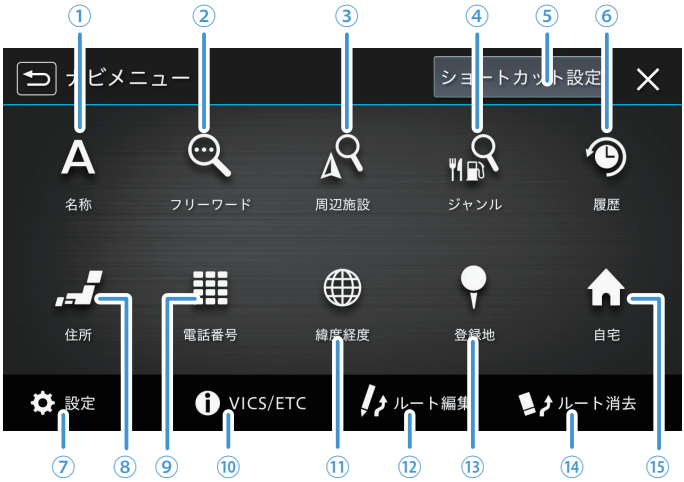
例：AV ソース画面から AV メニュー画面に切り換えた場合



ナビメニュー

表示方法：（ホームボタン）→（MENU）

ナビメニューでは、場所の検索やルートに関するメニューを操作できます。



① 名称
施設のヨミ仮名を入力して検索します。

② フリーワード
キーワードを入力して検索します。エリアを指定して、絞り込むこともできます。

③ 周辺施設
現在地や目的地などの周辺から特定の施設を検索します。

④ ジャンル
施設をジャンルから選んで検索します。

⑤ ショートカット設定
ホーム画面に表示する項目を設定できます。

⑥ 履歴
過去に目的地や経由地に設定した場所から探します。

⑦ 設定
設定メニュー画面を表示します。

⑧ 住所
住所を選択して検索します。

⑨ 電話番号
電話番号を入力して検索します。

⑩ VICS または VICS/ETC
交通情報が確認できます。また、ETC または ETC2.0 接続時は ETC 利用状況の確認ができます。

⑪ 緯度経度
北緯と東経を入力して検索します。

⑫ ルート編集
ルート再探索やルート経由地の編集など、ルートに関する操作ができます。

⑬ 登録地
登録した場所から検索します。

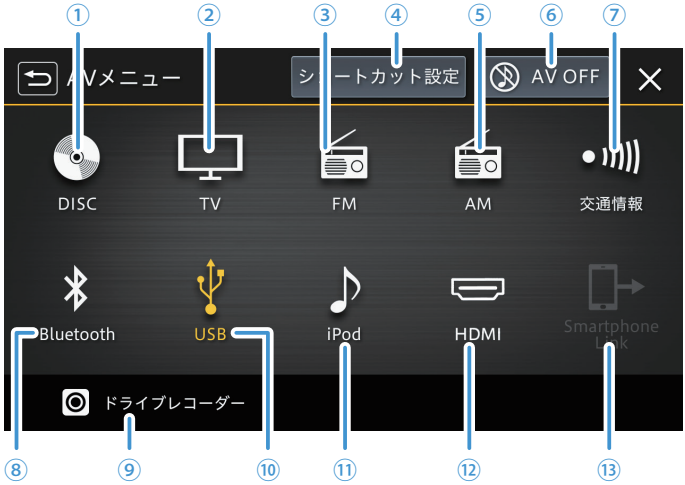
⑭ ルート消去
案内中のルートを消去します。

⑮ 自宅
現在地や検索結果地点などを、自宅として登録できます。登録済みの場合は自宅へのルート探索を行います。

AV メニュー

表示方法：（ホームボタン）→（MENU）

AV メニューでは、音楽や映像などオーディオに関するメニューを操作できます。



① DISC
挿入されているディスク（DVD、CD）を再生できます。

② TV
地上デジタルテレビ放送を視聴できます。

③ FM
FM ラジオを聴くことができます。

④ ショートカット設定
ホーム画面に表示する項目を設定できます。

⑤ AM
AM ラジオを聴くことができます。

⑥ AV OFF
AV ソースをオフにします。

⑦ 交通情報
幹線道路などで放送されている AM の交通情報を聴くことができます。

⑧ Bluetooth
Bluetooth 機器内の音楽ファイルを再生できます。

⑨ ドライブレコーダー
ドライブレコーダーの映像を表示したり、録画した動画を再生したりできます。

⑩ USB
USB メモリーに保存された音楽ファイルや映像ファイルを再生できます。

⑪ iPod
iPod/iPhone の音楽ファイルを再生できます。

⑫ HDMI
HDMI® 機器の映像や音声を再生できます。

⑬ スマートフォン連携
Apple CarPlay/Android Auto を起動できます。

設定メニュー

表示方法：（ホームボタン）→（設定）

設定メニューでは、システム、ナビ機能、音質、通信機能など、各種設定を変更できます。



	ディスプレイや音量などシステムに関する設定ができます。
	ナビ機能に関する設定ができます。
	地図の表示や自車位置に関する設定ができます。
	オーディオ機能に関する設定ができます。
	Bluetooth や Wi-Fi に関する設定ができます。
	車両に関する設定ができます。

携帯電話メニュー

表示方法：（電話ボタン）

携帯電話メニューでは、ワンタッチダイヤルや電話帳など携帯電話機能に関するメニューを操作できます。

MEMO

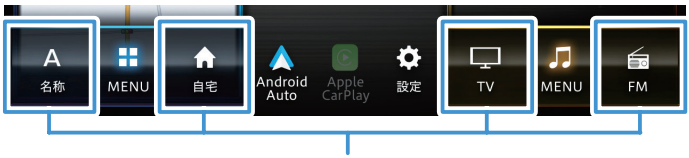
- Bluetooth 設定を行わないと表示されません。Bluetooth 設定については*「Bluetooth 機器の登録」（63 ページ）参照*



	ワンタッチダイヤルに登録した電話番号（相手）に、リストから素早く発信できます。
	現在接続中の携帯電話の電話帳を表示し、選んだ相手に発信できます。
	発信または着信された履歴をリスト表示し、選んだ相手に発信できます。
	ダイヤル発信画面を表示して 10 キーで電話番号を入力し、その番号に発信できます。
	設定メニュー画面を表示します。

ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に表示されているショートカットの項目は、お好みに合わせて変更できます。



ショートカットメニュー

ホーム 画面のメニューをカスタマイズする

ナビメニューと AV メニューでそれぞれ 2 つずつ項目を入れ替えできます。
ここではナビメニューの入れ替え手順を例に説明します。

1. （ホームボタン）→（MENU）→［ショートカット設定］の順にタッチする



2. 変更したいショートカットをタッチする



選択項目がハイライト表示に切り換わります。



3. 入れ替えたいショートカットにタッチし、［決定］をタッチする



ホーム画面のショートカットメニューが入れ替わります。

文字の入力

本機では、文字を入力して地図上の場所を検索する方法が用意されています。
その他、必要に応じて文字を入力する場合、画面上のキーボードを使います。
ここでは、キーボードの各部の使いかたを説明します。

ひらがなキーボード



検索したい地名などのすべてまたは一部を「あ」～「ん」の50音にタッチして入力する
（入力できない文字はグレー表示）

カタカナキーボード



かな漢字ほかキーボード



英数字キーボード



数字キーボード



全角キーボード、半角キーボードを切り換える

記号キーボード

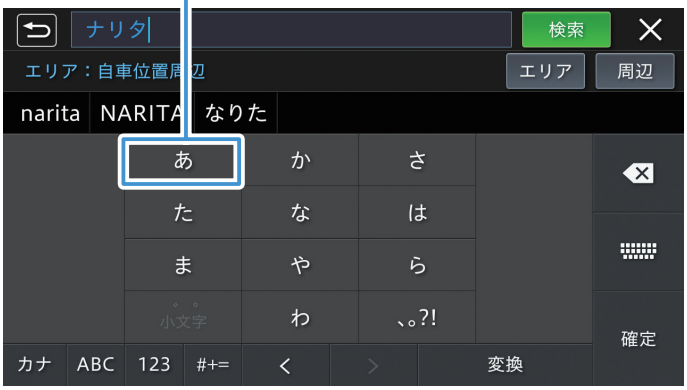


全角キーボード、半角キーボードを切り換える

携帯電話型キーボード

ひらがな配列

「あ」をタッチすると、「あ」「い」「う」「え」「お」「あ」「い」・・・の順に切り換わる（カタカナ配列、英字配列の場合も同様）



英字配列



MEMO

- フリック入力もできます。

地図の見かた

現在地画面の見かた

ノーマルモード（一般道 / 有料道）



① ビュー切り換え

ハイウェイモード画面またはルートモニター画面が表示されます。

② 並走道路切り換え

高速道路と一般道路が並走している道路を走行している場合に、表示されます。タッチすると、自車位置マークが並走道路に移動します。実際の車の位置と自車位置マークがずれた場合にご使用ください。

③ 渋滞情報

現在地付近の渋滞・規制情報を表示します。ルート案内中の場合には、ルート沿いの渋滞・規制情報を表示します。

④ スケール表示

地図のスケールを変更します。*「地図のスケールを変える」（45 ページ）参照*

⑤ 現在の時刻

GPS 信号から受信した現在時刻または時計設定で時刻調整をした時刻を表示します。

⑥ ステータスバー

ミュート中、ETC/Bluetooth/ Wi-Fi の接続状況を表示します。

⑦ 方位アイコン

地図表示のしかたを切り換えます。*「地図の向きを変える」（46 ページ）参照*

⑧ メニュー

ナビメニュー画面を表示します。

⑨ 情報ウィンドウ

タッチするたびに、市区町村名、走行道路名、緯度経度、AV ソース情報が切り換わります。

⑩ 車両情報

車両情報画面を表示します。*「車両情報を見る」（146 ページ）参照*

⑪ AV ソース画面切り換え

AV ソース画面を表示します。

MEMO

- 自車マークは、自車位置を示します。実際の現在地からずれる場合があります。
- 現在地画面に表示される情報を設定・変更できます。*「地図の設定」（175 ページ）参照*
- 安全運転をサポートする情報として予想進路上にある一時停止地点上にマーク（  ）を表示します。また、一時停止する地点が近づいたことを効果音で鳴らす設定ができます。*「一時停止位置案内」（173 ページ）参照*
- 情報ウインドウに表示する走行道路名は道路によって表示されない場合があります。走行道路名が表示されない場合は市区町村名が表示されます。
- 地図画面に表示された情報は、実際の道路状況と異なる場合があります。運転するときは必ず実際の交通標識にしたがってください。

ハイウェイモード（有料道）

都市高速、都市間高速、一部の有料道を走行しているときにハイウェイモードに切り換わります。ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類（IC/PA/SA/JCT/ ランプ / 料金所 / スマート IC）、施設名、料金が表示されます。



① 到着予想時刻

現在地からの距離と予想到着（通過）時刻が表示されます。

② ビュー切り換え

ノーマルモード画面が表示されます。

③ SA/PA 送り

サービスエリアやパーキングエリアを順次選択します。［**SA/PA 送り**］にタッチすると［**前の施設**］が表示され、施設を戻ることもできます。

④ 施設送り

施設を順次選択します。［**次の施設**］にタッチすると［**前の施設**］が表示され、施設を戻ることもできます。

⑤ 施設名称表示

施設の名称や店舗情報などが表示されます。タッチすると、施設周辺の地図、分岐情報、サービスエリアやパーキングエリアの情報などを確認できます。

分岐先路線がある場合は、分岐先を選択できます。

⑥ 各施設までの残距離と通過予想時刻

各施設までの残りの距離と通過予想時刻を表示します。通過予想時刻は、設定メニュー画面から予想到着（通過）までにかかる残り時間に表示を変更できます。

MEMO

- ハイウェイモードへ自動的に切り換える設定については *「ルートモニター表示」（172 ページ）参照*
- 渋滞予測と渋滞情報を考慮した時刻も表示できます。*「ナビゲーションの設定」（170 ページ）参照*
- VICS 情報を取得している場合は、故障車や車線規制などの VICS 情報がマークで表示されます。*「VICS マークの種類」（111 ページ）参照*
- 有料道上でルートを設定した場合は、料金が表示されない場合があります。

ステータスバーに表示される情報



ステータスバー

ETC	ETC2.0 ユニットや ETC ユニットが接続されていて、ETC カードが挿入されている場合に表示されます。ETC カードが使用できない場合は、ETC（灰色）が表示されます。
	：ドライブレコーダーの常時録画中に表示されます。 ：ドライブレコーダーの手動録画中に表示されます。 録画停止中は（灰色）が表示されます。
	本機に登録された Bluetooth 機器と Bluetooth 接続中に表示されます。未接続の場合は（灰色）が表示されます。
	本機に登録された Bluetooth 機器（ハンズフリー）の電池残量と電波強度が表示されます。
	本機に登録された Wi-Fi 機器と Wi-Fi 接続中に表示されます。未接続の場合は（灰色）が表示されます。
	ミュート中に表示されます。
SOS	緊急通報中 / 通話中 (自動または手動) に表示されます。

現在地を表示する

地図画面をスクロールするなどして、現在地以外の地図が表示されているときは、現在地をタッチします。



現在地の地図に戻ります。

地図の操作

地図をスクロールする

1. 画面をタッチ、ドラッグまたはフリックする

スクロール画面に切り換わります。



MEMO

- タッチし続けると、タッチしている方向にスクロールします。画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。タッチしたまま指を動かして、スクロールの方向や、スクロールの速度を変えることもできます。
- ［**微調整**］にタッチすると、カーソル位置を微調整できます。
- ピンチインまたはピンチアウトで拡大・縮小表示もできます。

2. ［微調整］をタッチする



3. 矢印にタッチしてカーソルをスクロールする



スクロール画面の見かた

地図画面にタッチ、ドラッグまたはフリックすると、スクロール画面に切り換わります。
スクロール画面では、地図を動かしたり、施設やロゴマークにカーソルを合わせて詳細情報を確認したりできます。



① ロックオン

施設や VICS の情報を表示します。

② 十字カーソル

地点情報を表示します。

③ 一覧

周辺または同一マーク内に複数の対象情報や建物内情報がある場合に表示され、タッチするとリストが表示されます。

④ 現在地から十字カーソル位置までの直線距離

現在地からロックオンまたは十字カーソル位置までの直線距離を表示します。

⑤ 情報

地点の詳細な情報画面を表示します。

⑥ ここへ行く

ロックオンまたは十字カーソルの場所を目的地や経由地に設定します。

⑦ ここを登録する

ロックオンまたは十字カーソルの位置を登録します。

⑧ 周辺施設を探す

ロックオンまたは十字カーソルの位置を中心として、周辺の施設を検索します。

⑨ 自宅登録する

ロックオンまたは十字カーソルの位置を自宅に登録します。

地図上の詳細情報を表示する

地図画面上にロゴマークや VICS 規制マークなどが表示されている場合、カーソルを合わせると、詳細情報を表示できます。



詳細情報を表示できるのは次のマークです。

- VICS マーク
- ロゴマーク
- 目的地や経由地などの誘導マーク
- 施設情報
- 登録地
- 冠水注意地点

地図のスケールを変える

10 m ～ 500 km の範囲で地図のスケールを変更できます。

1. ［詳細］または［広域］をタッチする



2. スケールゲージを上下にドラッグする



地図の表示スケールが変更されます。

MEMO

- 画面をピンチアウトまたはピンチインしても表示スケールを変更できます。
- 詳細や広域にタッチし続けると、スケールが段階的に変わります（フリーズーム）。
- をタッチすると、スケールゲージを非表示にします。

地図の向きを変える

地図上の方位アイコンをタッチするごとに、地図表示のしかたが 3 通りに切り換わります。

(2D ノースアップ)	北が常に上にくるように地図を表示します。走行に合わせて、自車マークが回転します。 
(2D ヘディングアップ)	進行方向が常に上にくるように地図を表示します。走行に合わせて、地図が回転します。 
(3D マップ)	上空から見下ろした 3D の地図を進行方向が常に上にくるように表示します。走行に合わせて、地図が回転します。 

ルート案内中の現在地画面の見かた

現地から目的地までのルート探索を行い、ルートを設定すると、ルート案内が始まります。



① 到着予想時刻

タッチするたびに、表示内容が切り換わります。

1 目的地までの距離・到着予想時刻

2 直近の経由地までの距離・到着予想時刻

3 出発時刻・走行開始から現在までの経過時間

② ルートインフォメーション

2 つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の名称が表示されます。タッチすると次の案内地点の距離、進行方向が開始地点として表示されます。最大 5 箇所先までの案内地の音声案内と地図表示を順に行います。

③ レーン情報

次に通過する交差点のレーン情報が表示されます。誘導中のレーンが一般道は緑色、有料道は青色で表示されます。推奨の誘導レーンは白の矢印で表示されます。交差点により情報が表示されない場合があります。

④ 方面看板

次に通過する交差点の方面看板が表示されます。誘導中の進行方向が緑色で表示されます。交差点により情報が表示されない場合があります。

MEMO

- 案内中のルートは、一般道は緑色で有料道は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、経由地付近、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所により道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻に表示される時刻は推測時刻のため、実際の到着時刻とは異なります。また、渋滞予測と渋滞情報を考慮した時刻でも表示できます。*「ナビゲーションの設定」（170 ページ）参照*
- ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名が表示されます。また、右側にその次の案内地までの距離と曲がる方向が表示されます。交差点によっては、交差点名が " 案内地 " と表示される場合があります。

ルート案内中の機能

交差点案内

案内地の交差点の手前約 300 m (有料道の場合は手前約 1 km) に近づくと、交差点案内表示に切り換わります。交差点までの距離をゲージで表示します。



① ゲージ

案内ポイントまでの距離をゲージで表示します。

MEMO

- をタッチすると、交差点案内を非表示にできます。再度 をタッチすると、交差点案内を表示できます。

音声案内

以下の地点が近づくと、音声を出力して案内します。

- 県境地点
- 有料道合流地点
- 踏切地点
- 右左折専用レーン地点
- ヒヤリハット地点
- 教育施設地点
- 渋滞情報

※教育施設地点は [ナビ機能設定] で学校注意案内が [**ON**] の場合に案内します。*「学校注意案内」（173 ページ）参照*

効果音

以下の地点が近づくと、効果音を鳴らします。

- 一時停止地点
- 登録地

※登録地は効果音を鳴らす設定をした場合に鳴らします。*「登録地を編集する」（104 ページ）参照*

進行方向の案内

ルート案内中は、運転の状況や車の速度に応じて音声で進行方向（8 方向）を案内します。

MEMO

- 右方向や左方向などの案内だけでは進行方向の判断が難しい地点の場合、走行すべきレーンなどの情報も案内することがあります。
- 誘導する右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 案内ポイントや他の音声案内のタイミングと重なった場合は音声案内を行わない場合があります。

オートリルート

案内中のルートから外れると、自動的にルートを再探索します。



ダイナミックルートガイダンス

車線規制や通行止めなどの交通規制や渋滞を回避するような新しいルートが見つかると、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートが表示されます。［**新ルート**］または［**元ルート**］にタッチして、ルートを選択します。



MEMO

- ルート上に通行止めが発生した場合は、「ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します」と音声案内と画面が表示され、新ルートのみの案内となります。［**確認**］をタッチしてください。

ルートモニター表示

ルート案内中にルート上の曲がり角やインターチェンジなどの情報が表示されます。



都市高速道路入口案内

ルート上の都市高速道路入口の手前約 300 m に近づくと、イラストが画面右側に表示されます。



オートハイウェイモード

有料道を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り換わります。



MEMO

- 一部表示対象外の有料道もあります。
- ルート案内中は、有料道出口のおよそ 1 km 手前になると有料道出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- ルートモニター表示の設定で［**表示なし**］を選択すると、自動でハイウェイモードには切り換わりません。
  「ルートモニター表示」（172 ページ）参照

有料道の分岐または有料道の出口に近づくと

ルート上の有料道分岐の手前約 2 km に近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。



また、都市高速・都市間高速・一部有料道では分岐または出口の手前約 1 km に近づくと、イラストが表示されます。場所により、実際の分岐地点に設置されている方面看板をイメージしたリアルなイラストが表示される場合があります。

分岐



出口



MEMO

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

ETC レーン案内表示

ETC レーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づくと、ETC レーン案内が表示されます。



MEMO

- ETC レーン案内表示は、実際の看板と異なる場合があります。
- ETC レーン案内表示はオン / オフを設定できます。*「ナビゲーションの設定」（170 ページ）参照*
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は表示されません。

有料道の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。



MEMO

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

場所の検索と登録

自宅を登録する

地図上の場所を検索して、その位置を自宅として登録できます。
場所の検索方法にはいろいろありますが、ここでは地図をスクロールして登録したい場所を探します。
現在地画面から始めてみます。

1. （ホームボタン）→地図表示エリアの順にタッチする



現在地画面が表示されます。



2. 地図をスクロールして、自宅として登録したい場所を中心に表示する

目的の場所に近づいたときに地図のスケールを拡大すると、より正確に位置を決めることができます。
登録したい所をタッチすると、そこに十字カーソルが移動します。



3. [自宅登録する] をタッチする



MEMO

- すでに自宅登録が完了している場合は [**自宅登録する**] が [**自宅を変更する**] に変更されます。その場合は [**自宅を変更する**] をタッチしてください。
- 自宅の位置はいつでも変更できます。

4. [はい] をタッチする



自宅が登録されます。

MEMO

- 自宅に車を停め、（ホームボタン）→（MENU）→［**自宅**］にタッチしても自宅を登録できます。

自宅へ案内する

一度自宅を登録しておくと、どの場所からでも簡単に自宅を目的地とするルートを設定できます。

1. （ホームボタン）→（MENU）→［自宅］の順にタッチする



すでにルートが設定されている場合は手順 2 に進んでください。
ルートが設定されていない場合は手順 3 に進んでください。

2. [はい] をタッチする



現在地から自宅までのルート探索が始まります。ルートが見つかると、案内開始画面に切り換わります。

3. [案内開始] をタッチする



現在地から自宅までのルート案内が始まります。

MEMO

- 案内開始画面について詳しくは「*案内開始画面の見かた*」（*91 ページ*）*参照*

登録地に登録する

よく行く場所や施設などを登録地に登録しておくと、目的地を検索するときに登録地から選べます。場所の検索方法にはいろいろありますが、ここでは地図をスクロールして登録したい場所を探します。現在地画面から始めてみます。

MEMO

- 最大 300 件まで、登録地として登録できます。
- 登録した登録地は、あとで編集ができます。*「登録地を編集する」（104 ページ）参照*

1. （ホームボタン）→地図表示エリアの順にタッチする



2. 地図をスクロールして、登録地として登録したい場所を中心に表示する

目的の場所に近づいたときに地図のスケールを拡大すると、より正確に位置を決めることができます。登録したい所をタッチすると、そこに十字カーソルが移動します。



3. ［ここを登録する］をタッチする



登録地が登録されます。

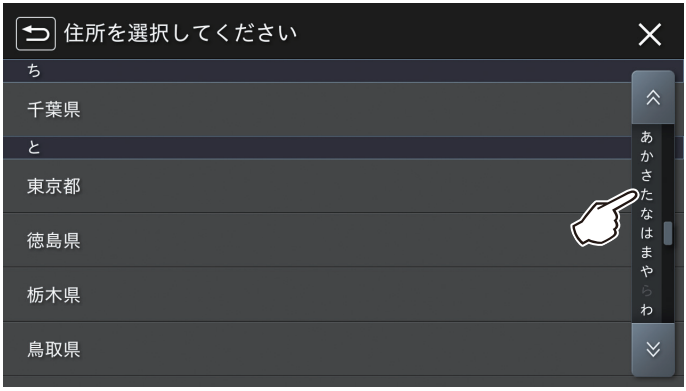
住所で探す

場所や施設のいろいろな検索方法のうち、その住所で探す方法を説明します。
例として「東京都渋谷区代々木 3 丁目 2-1」を検索してみます。

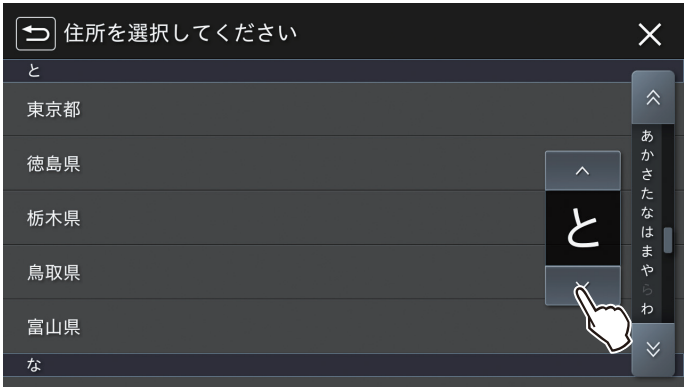
1. （ホームボタン）→ （MENU）→［住所］の順にタッチする



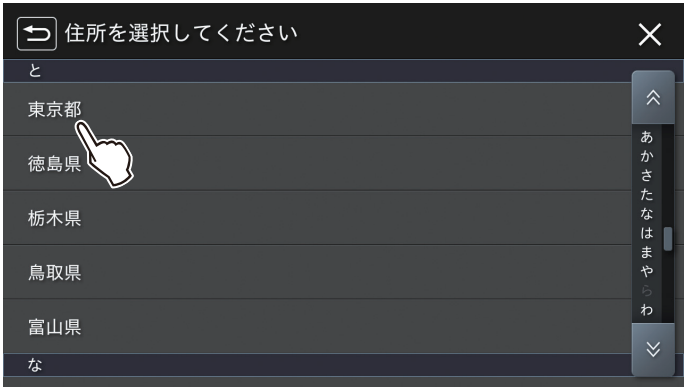
2. ［た］をタッチする



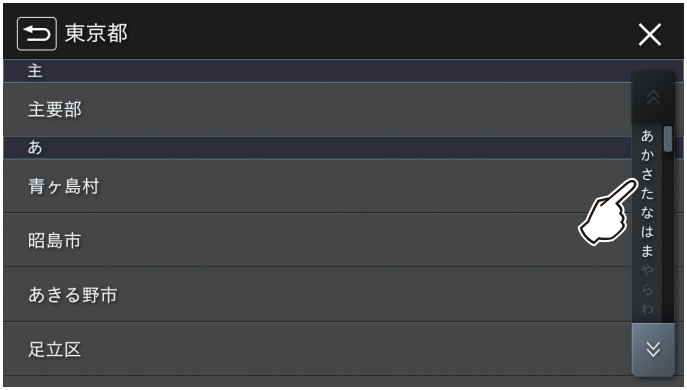
3. ∨ をタッチして［と］を表示する



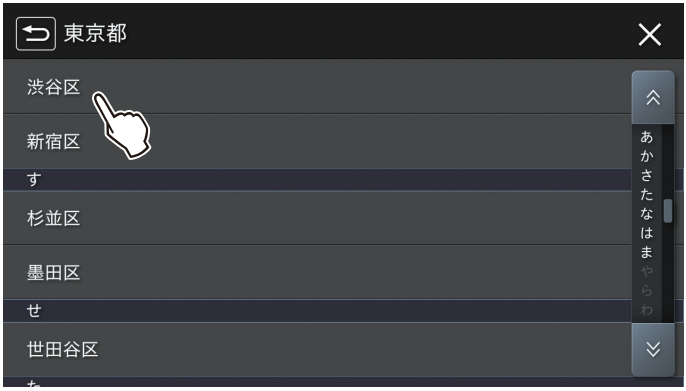
4. [東京都] をタッチする



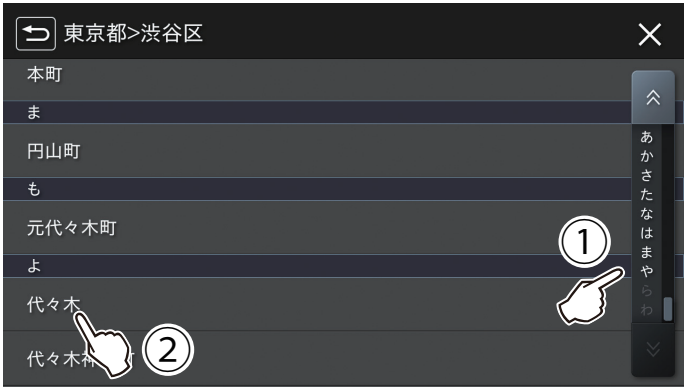
5. [さ] をタッチする



6. ［渋谷区］をタッチする



7. ［や］→［代々木］の順にタッチする



8. [3 丁目] をタッチする



9. [2] → [1] の順にタッチする

「東京都渋谷区代々木 3 丁目 2-1」の場所が検索され、地図画面に切り換わります。



Bluetooth 機器の登録

携帯電話、iPhone やスマートフォンなどの Bluetooth 対応機器を本機に接続して、Bluetooth 対応機器の音楽などを再生したり、ハンズフリー通話をすることができます。
はじめて Bluetooth 対応機器を使用するときは、本機に登録（ペアリング）してください。

MEMO

- 登録後、どの機能を使う機器なのかを設定します（接続プロファイルの設定）。

電話	Bluetooth 対応機器をハンズフリー通話用の電話として使用できます。
電話＋ SMS	Bluetooth 対応機器をハンズフリー通話用の電話として使用できます。また、Bluetooth 対応機器への電話着信に対する SMS 返信機能や SMS 着信通知機能を使用できます。 ＊ SMS 返信機能、SMS 着信通知機能は対応機器によってご使用になれない場合があります。
音楽	Bluetooth 対応機器の音楽を本機で再生できます。
スマートフォンアプリ	Bluetooth 対応の iPhone またはスマートフォンにインストールされているアプリを利用できます。

- あらかじめ Bluetooth 対応機器側でも Bluetooth をオンに設定して、本機側から検索可能な状態にしてください。オフになっていると正しく登録できない場合があります。
- 本機を待ち受け状態にして Bluetooth 対応機器を登録することもできます。本機側から Bluetooth 対応機器を登録する方法（本章の*「Bluetooth 機器を登録する」（64 ページ）参照*）で登録できない場合は、本機を待ち受け状態にして Bluetooth 対応機器を登録する方法をお試しください。*「本機を待ち受け状態にして Bluetooth 対応機器を登録する」（189 ページ）参照*
- 接続プロファイルは変更が可能です。*「登録した Bluetooth 機器を設定する」（191 ページ）参照*

ご注意

- すべての Bluetooth 対応機器との接続・動作を保証するものではありません。
- Apple CarPlay の使用中は、Bluetooth は使用できません。
- Apple CarPlay の使用中および Android Auto の使用中は、自動的にハンズフリー通話が利用可能になります。この場合、Bluetooth での音楽再生、スマートフォンアプリは使用できません。

Bluetooth 機器を登録する

MEMO

- 登録できる Bluetooth 機器は、10 台までです。すでに 10 台登録済みで新たに Bluetooth 機器を登録する場合は、登録済みの Bluetooth 機器を消去してください。*「登録した Bluetooth 機器を消去する」（192 ページ）参照*

1. Bluetooth 対応端末の Bluetooth 機能をオンにする

2. （ホームボタン）→（設定）→（タブ）の順にタッチする



3. [Bluetooth 設定] をタッチする



4. [機器登録 / 消去] をタッチする



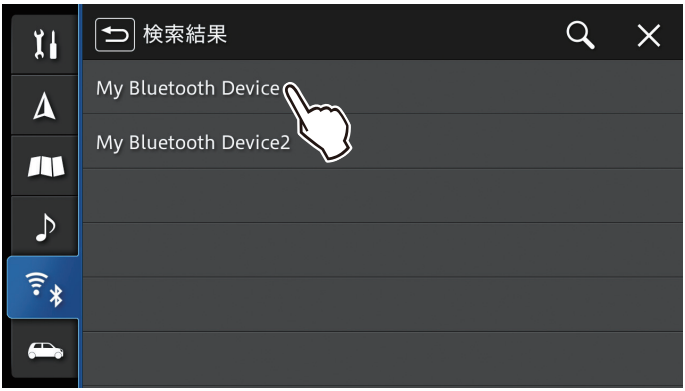
デバイスリスト画面が表示されます。

5. をタッチする



周辺の Bluetooth 対応端末を検索してリスト表示します。最大 10 台まで検索できます。

6. 登録したい Bluetooth 対応端末をタッチする



7. 本機と Bluetooth 対応端末の画面に表示される番号が同じことを確認し、[はい] をタッチする



8. Bluetooth 対応端末の画面の指示にしたがって操作する

接続が始まります。接続が成功すると、メッセージが表示されます。
登録（ペアリング）が完了すると、プロファイル選択画面が表示されます。

9. Bluetooth 対応端末で使う機能にチェックを入れ、［決定］をタッチする



処理が完了すると、デバイスリスト画面が表示されます。

MEMO

- 機器によっては対応していないプロファイルがあります。機器が対応していないプロファイルは選択できません。
- Bluetooth 対応機器によっては、機器側で表示されたパスキーの確認操作が必要です。
- 本機の電源を入れると、前回使用していた Bluetooth 対応端末に自動で再接続されます。
- 手動で再接続するには、Bluetooth 対応端末の Bluetooth 機能をオンにして、デバイスリスト画面から端末名をタッチして接続してください。
- Apple CarPlay 対応端末を登録した場合は、Apple CarPlay を開始するかを確認するメッセージが表示されます。[**はい**] をタッチすると Apple CarPlay の接続を開始します。
- ご使用の機器によっては、機器側で NaviCon アプリが起動していないと［スマートフォンアプリ] の接続ができない場合があります。

登録した Bluetooth 機器のプロファイルを切り換える

1. デバイスリスト画面を表示する

デバイスリスト画面を表示するには、「*Bluetooth 機器を登録する*」（*64* ページ）の手順 1 から手順 4 を操作してください。

2. 登録した Bluetooth 対応端末をタッチする



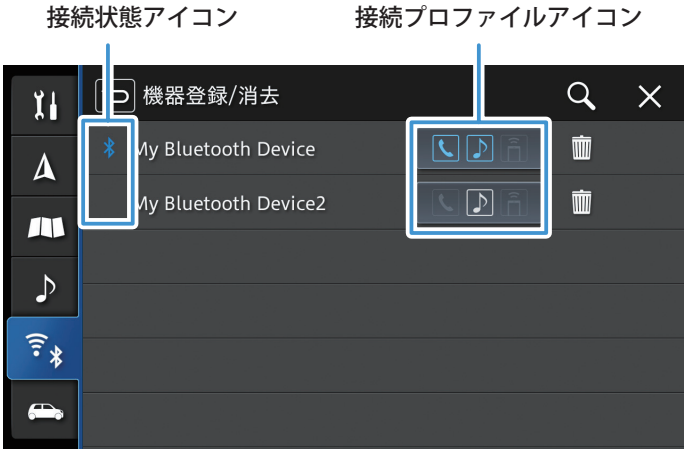
3. Bluetooth 対応端末で使う機能にチェックを入れ、［決定］をタッチする



機能の割り当てを解除する場合は、チェックを外します。
チェックをすべて外した場合、Bluetooth 機器の接続が解除されます。
処理が完了すると、デバイスリスト画面が表示されます。

MEMO

- [**Apple CarPlay**] を選択すると他のプロファイルは選択できません。
- 機器によっては対応していないプロファイルがあります。機器が対応していないプロファイルは選択できません。



現在接続しているプロファイルアイコンが青色に点灯します。

接続プロファイルアイコンの表示

電話

-  ：現在接続している
-  ：過去に接続したが、現在は接続していない
-  ：機能の割り当てを解除している

電話 +SMS

-  ：現在接続している
-  ：過去に接続したが、現在は接続していない
-  ：機能の割り当てを解除している

音楽

-  ：現在接続している
-  ：過去に接続したが、現在は接続していない
-  ：機能の割り当てを解除している

スマートフォンアプリ

-  ：現在接続している
-  ：過去に接続したが、現在は接続していない
-  ：機能の割り当てを解除している

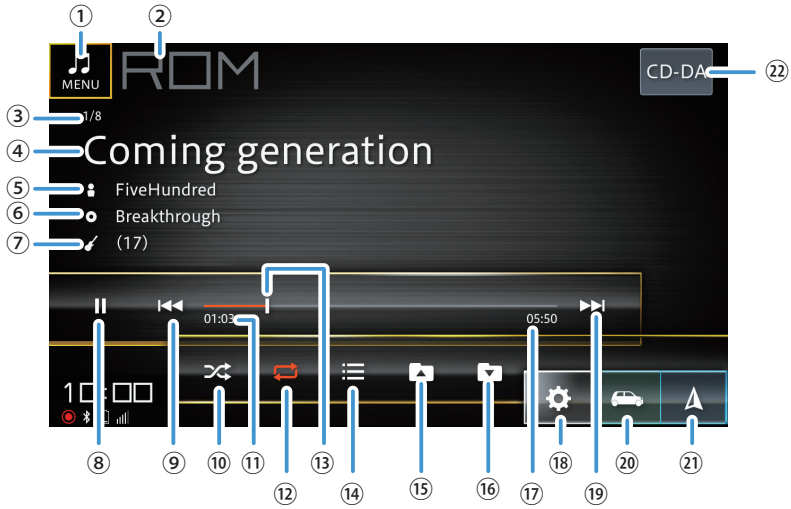
接続状態アイコンの表示

-  ：Apple CarPlay を接続している状態
-  ：プロファイルで Apple CarPlay を選択しているが、Apple CarPlay と Bluetooth が接続されていない状態
-  ：Bluetooth を接続している状態
-  ：何も接続していない状態

オーディオ・ビデオの基本操作

音楽 CD/ROM

再生方法：ディスク挿入または（ホームボタン）→（MENU）→ DISC



① AV メニュー画面を表示
② 現在のソース名
③ トラック番号 / 総トラック数（音楽 CD のみ）
ファイル番号 / 総ファイル数（ROM のみ）
④ トラック名（音楽 CD のみ）
トラック名またはファイル名（ROM のみ）
⑤ アーティスト名
⑥ アルバム名（音楽 CD のみ）
アルバム名またはフォルダー名（ROM のみ）
⑦ ジャンル（ROM のみ）
⑧ 再生 / 一時停止
⑨
- 前のトラックを再生 / トラックの先頭に戻る（音楽 CD のみ）
- 前のファイルを再生 / ファイルの先頭に戻る（ROM のみ）
- タッチし続けると早戻し

⑩ ランダム再生 オン / オフ
⑪ 経過時間
⑫ トラックリピート / ディスクリピート 切り換え（音楽 CD のみ）
ディスク・オールリピート / ファイルリピート / フォルダーリピート 切り換え（ROM のみ）
⑬ 再生位置の表示 / 変更（ドラッグして変更可能）
⑭ トラックのリストを表示（音楽 CD のみ）
フォルダーまたはファイルのリストを表示（ROM のみ）
⑮ 前のフォルダーを再生（ROM のみ）
⑯ 次のフォルダーを再生（ROM のみ）
⑰ トラックの総再生時間（音楽 CD のみ）
ファイルの総再生時間（ROM のみ）
⑱ 設定メニュー画面を表示
⑲
- 次のトラックを再生（音楽 CD のみ）
- 次のファイルを再生（ROM のみ）
- タッチし続けると早送り

⑳ 車両情報画面を表示
㉑ 地図画面を表示
㉒ 再生データの切り換え（音楽 CD/ROM 混在時のみ）

MEMO

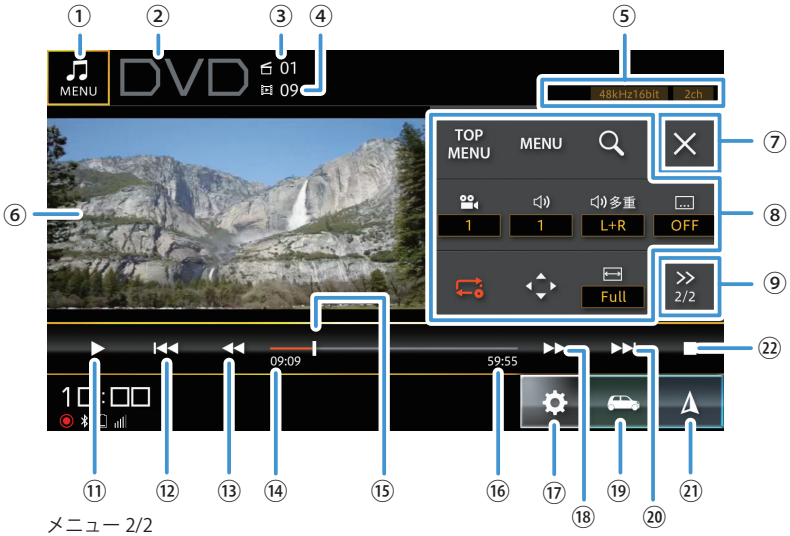
- 楽曲情報はディスクのデータに基づいて表示されます。ディスクのデータにない楽曲情報は表示されません。
- DISC の操作について詳しくは *「音楽 CD/ROM を聴く」（124 ページ）参照*

DVD

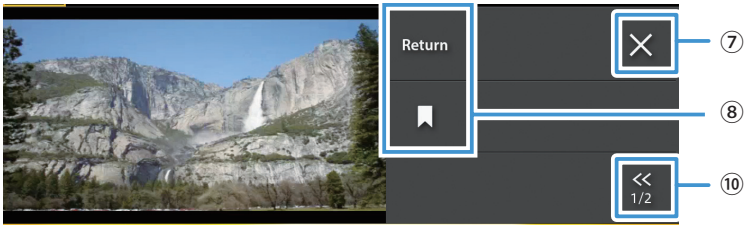
再生方法：ディスク挿入または（ホームボタン）→（MENU）→DISC

DVD ビデオ

メニュー 1/2



メニュー 2/2



DVD-VR



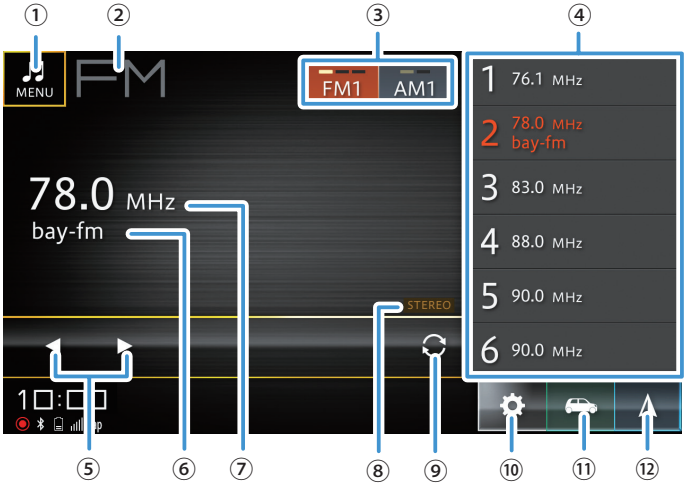
① AV メニュー画面を表示
② 現在のソース名
③ タイトル番号
④ チャプター番号
⑤ 音声情報
（サンプリング周波数、オーディオフォーマット、音声収録方式）
⑥ 再生中の映像
⑦ メニューを閉じて、映像を全画面で表示
⑧ メニュー、音声や字幕の操作
⑨ 2 ページ目のメニューを表示（DVD ビデオのみ）
⑩ 1 ページ目のメニューを表示（DVD ビデオのみ）
⑪ 再生 / 一時停止
⑫ 前のチャプターまたはタイトルを再生
⑬ 早戻し
⑭ 経過時間
⑮ 再生位置（ドラッグして変更可能）
⑯ ディスクの総再生時間
⑰ 設定メニュー画面を表示
⑱ 早送り
⑲ 車両情報画面を表示
⑳ 次のチャプターまたはタイトルを再生
㉑ 地図画面を表示
㉒ 停止

MEMO

- DVD の操作について詳しくは*「DVD ビデオ /DVD-VR を見る」（127 ページ）参照*

ラジオ

再生方法：（ホームボタン）→（MENU）→ FM または AM



① AV メニュー画面を表示
② 現在のソース名
③ バンド切り換え
④ プリセットチャンネル（タッチしてチャンネル切り換え）
⑤ • 周波数切り換え
• タッチし続けると自動的に選局
⑥ 受信中の放送局名
⑦ 受信中の周波数
⑧ STEREO インジケーター（ステレオ放送受信時に表示）
⑨ 受信可能な放送局を自動的にプリセットに登録
⑩ 設定メニュー画面を表示
⑪ 車両情報画面を表示
⑫ 地図画面を表示

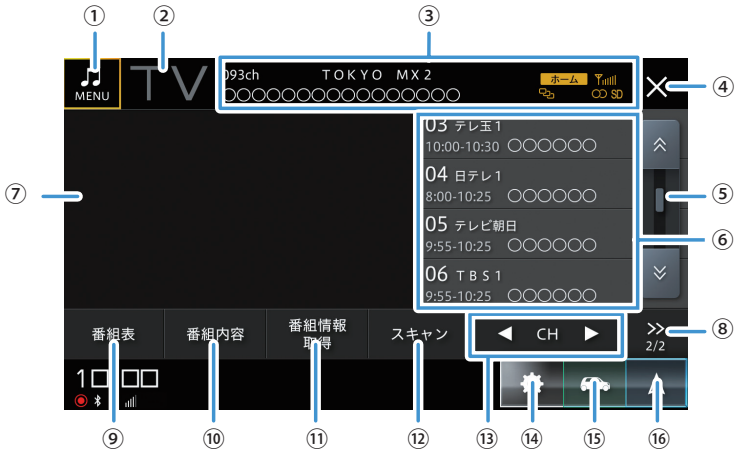
MEMO

- 放送局名は本機に収録されているデータに基づいて表示されます。本機に収録されていない放送局名は表示されません。
- ラジオの操作について詳しくは*「ラジオを聴く」（117 ページ）参照*

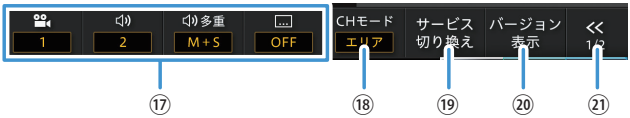
テレビ

再生方法：（ホームボタン）→（MENU）→ TV

メニュー 1/2



メニュー 2/2



① AV メニュー画面を表示
② 現在のソース名
③ 受信中の番組の情報
④ メニューを閉じて、映像を全画面で表示
⑤ スクロールバー
⑥ プリセットチャンネルリスト（タッチしてチャンネル切り換え）
⑦ 受信中の映像
⑧ 2 ページ目のメニューを表示
⑨ 番組表を表示
⑩ 番組の詳細を表示
⑪ 最新の番組情報を取得
⑫ 受信可能な放送局を自動的にプリセットに登録
⑬ • チャンネル切り換え
• タッチし続けると自動的に選局
⑭ 設定メニュー画面を表示
⑮ 車両情報画面を表示
⑯ 地図画面を表示
⑰ 音声や字幕の操作
⑱ チャンネルモード切り換え
⑲ サービス切り換え
⑳ バージョン情報を表示
㉑ 1 ページ目のメニューを表示

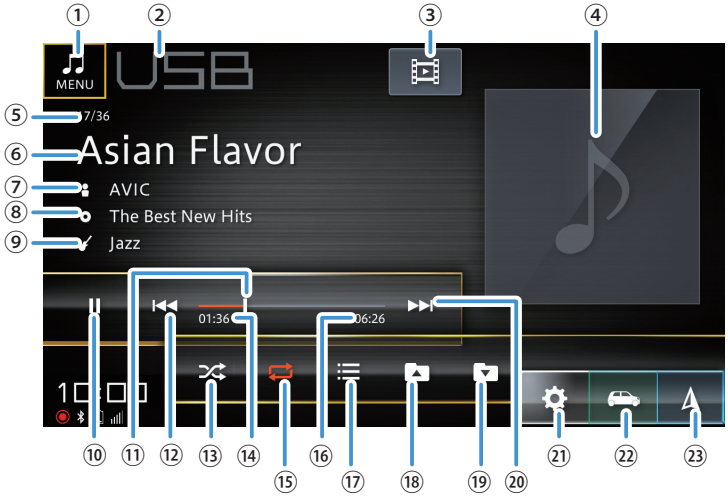
MEMO

- はじめてテレビを見る場合、まずチャンネルをプリセットします。テレビの操作について詳しくは*「テレビを見る」（120 ページ）参照*

USB

再生方法：（ホームボタン）→（MENU）→ USB

音楽の場合

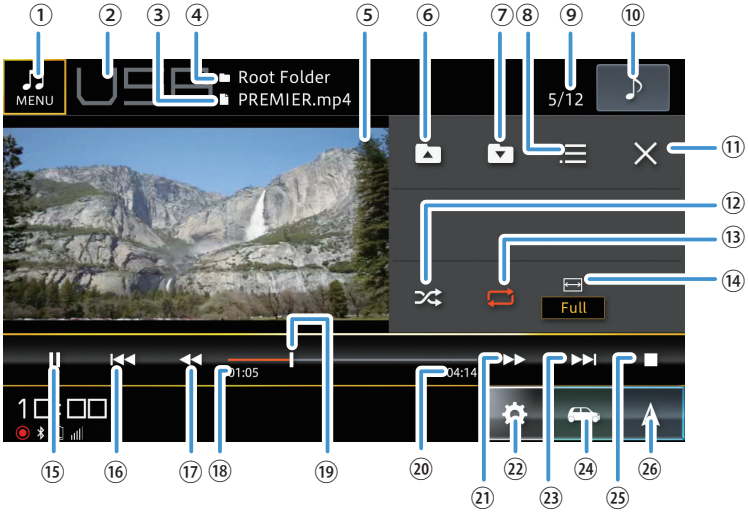


① AV メニュー画面を表示
② 現在のソース名
③ 音楽 / 動画切り換え
④ アートワーク
⑤ トラック番号 / 総トラック数
⑥ トラック名
⑦ アーティスト名
⑧ アルバム名
⑨ ジャンル名
⑩ 再生 / 一時停止
⑪ 再生位置（ドラッグして変更可能）
⑫ • 前のトラックを再生 / トラックの先頭に戻る
• タッチし続けると早戻し
⑬ ランダム再生 オン / オフ
⑭ 経過時間
⑮ トラックリピート / フォルダーリピート / 全トラックリピート 切り換え
⑯ トラックの総再生時間
⑰ トラックやフォルダーのリストを表示
⑱ 前のフォルダーを再生
⑲ 次のフォルダーを再生
⑳ • 次のトラックを再生
• タッチし続けると早送り
㉑ 設定メニュー画面を表示
㉒ 車両情報画面を表示
㉓ 地図画面を表示

MEMO

- 楽曲情報は USB メモリーに保存されたファイルのデータに基づいて表示されます。ファイルのデータにない楽曲情報は表示されません。
- USB メモリー（音楽）の操作について詳しくは *「USB メモリーまたは Android™ 端末を使う」（139 ページ）参照*

動画の場合



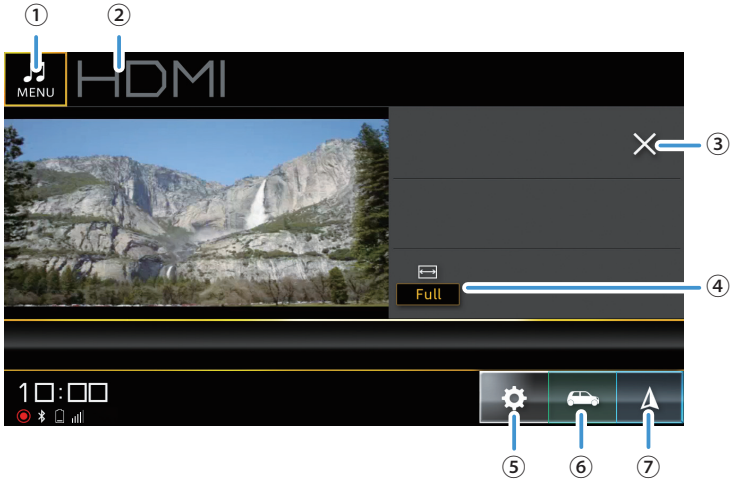
① AV メニュー画面を表示
② 現在のソース名
③ ファイル名
④ フォルダー名
⑤ 再生中の映像
⑥ 前のフォルダーを再生
⑦ 次のフォルダーを再生
⑧ ファイルやフォルダーのリストを表示
⑨ 再生中のファイル番号 / ファイル総数
⑩ 音楽 / 動画切り換え
⑪ メニューを閉じて、映像を全画面で表示
⑫ ランダム再生 オン / オフ
⑬ ファイルリピート / フォルダーリピート / 全ファイルリピート 切り換え
⑭ ワイドモード切り換え
⑮ 再生 / 一時停止
⑯ 前のファイルを再生 / ファイルの先頭に戻る
⑰ 早戻し
⑱ 経過時間
⑲ 再生位置（ドラッグして変更可能）
⑳ ファイルの総再生時間
㉑ 早送り
㉒ 設定メニュー画面を表示
㉓ 次のファイルを再生
㉔ 車両情報画面を表示
㉕ 停止
㉖ 地図画面を表示

MEMO

- USB メモリー（動画）の操作について詳しくは *「USB メモリーまたは Android™ 端末を使う」（139 ページ）参照*

HDMI

再生方法：（ホームボタン）→（MENU）→ HDMI



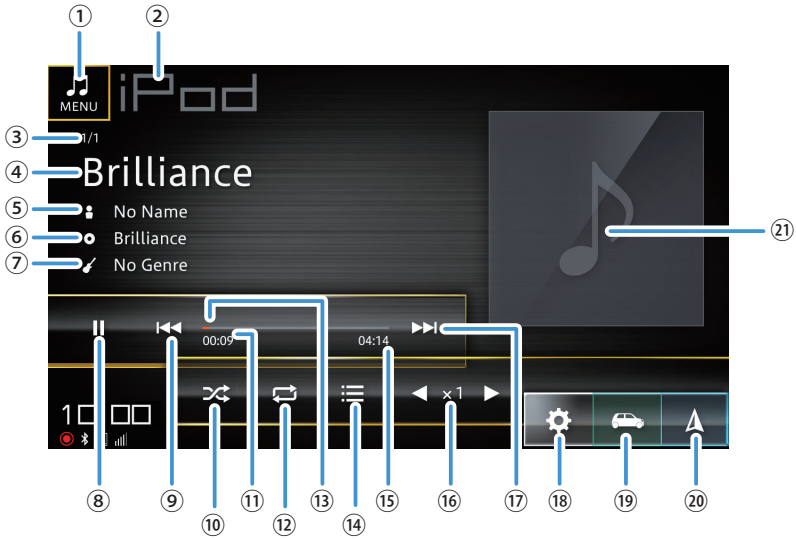
① AV メニュー画面を表示
② 現在のソース名
③ メニューを閉じて、映像を全画面で表示
④ ワイドモード切り換え
⑤ 設定メニュー画面を表示
⑥ 車両情報画面を表示
⑦ 地図画面を表示

MEMO

- HDMI の操作について詳しくは*「HDMI ®機器を使う」（144 ページ）参照*

iPod

再生方法：（ホームボタン）→（MENU）→ iPod



① AV メニュー画面を表示

② 現在のソース名

③ 曲番号 / 総曲数

④ 曲名

⑤ アーティスト名

⑥ アルバム名

⑦ ジャンル名

⑧ 再生 / 一時停止

⑨ • 前の曲を再生 / 曲の先頭に戻る
• タッチし続けると早戻し

⑩ シャッフル再生 オン / オフ

⑪ 経過時間

⑫ 全曲リピート /1 曲リピート / リピートオフの 切り換え

⑬ 再生位置（ が表示されている場合のみドラッグして変更可能）

⑭ 曲のリストを表示

⑮ 曲の総再生時間

⑯ 再生速度の切り換え（オーディオブックを再生中の場合のみ表示）

⑰ • 次の曲を再生
• タッチし続けると早送り

⑱ 設定メニュー画面を表示

⑲ 車両情報画面を表示

⑳ 地図画面を表示

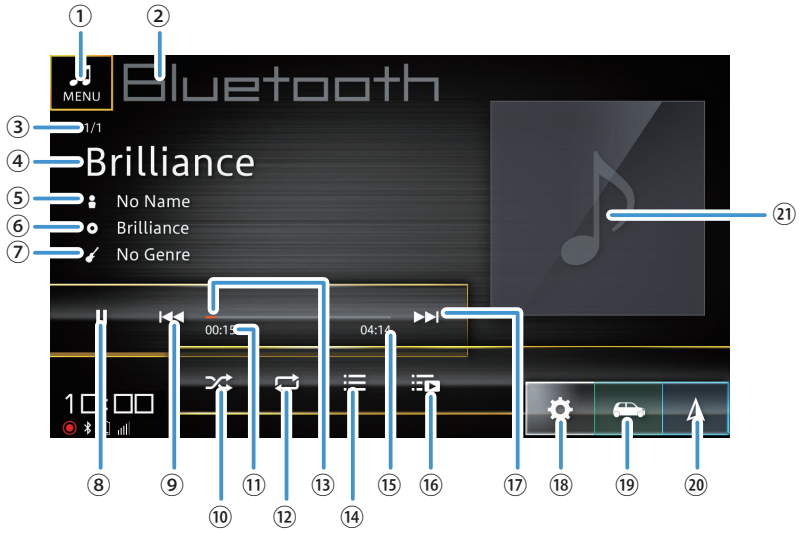
㉑ アートワーク

MEMO

- 楽曲情報は iPod に保存されたファイルのデータに基づいて表示されます。ファイルのデータにない楽曲情報は表示されません。
- iPod の操作について詳しくは*「iPod を使う」（133 ページ）参照*

Bluetooth Audio

再生方法：（ホームボタン）→（MENU）→ Bluetooth



① AV メニュー画面を表示
② 現在のソース名
③ 曲番号 / 総曲数
④ 曲名
⑤ アーティスト名
⑥ アルバム名
⑦ ジャンル名
⑧ 再生 / 一時停止
⑨ • 前の曲を再生 / 曲の先頭に戻る
• タッチし続けると早戻し
⑩ ランダム再生 オン / オフ
⑪ 経過時間
⑫ 全曲リピート /1 曲リピート / リピートオフの 切り換え
⑬ 再生位置
⑭ 曲のリストを表示
⑮ 曲の総再生時間
⑯ 再生中のグループに含まれる曲をリスト表示
⑰ • 次の曲を再生
• タッチし続けると早送り
⑱ 設定メニュー画面を表示
⑲ 車両情報画面を表示
⑳ 地図画面を表示
㉑ アートワーク

MEMO

- 楽曲情報は Bluetooth 機器に保存されたファイルのデータに基づいて表示されます。ファイルのデータにない楽曲情報は表示されません。
- 接続する Bluetooth 機器によって、アートワークが表示されない場合があります。
- Bluetooth Audio の操作について詳しくは*「Bluetooth Audio を使う」（136 ページ）参照*

Apple CarPlay の基本操作

本機と iPhone を USB または Wi-Fi で接続すると Apple CarPlay を利用できます。
Apple CarPlay を使用するには、接続方法ごとの準備が必要です。クイックガイドでは USB で接続する場合を例に説明します。Wi-Fi で接続する場合や Apple CarPlay でできることについて詳しくは*「Apple CarPlay を使う」（160 ページ）参照*

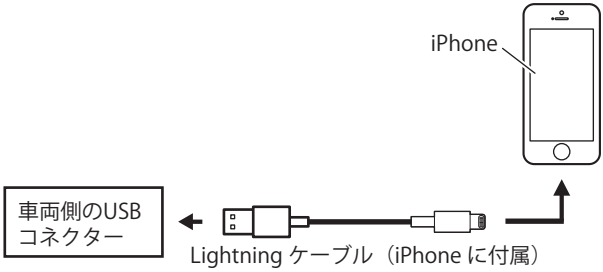
MEMO

- iPhone やアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Apple CarPlay の使用中は、Bluetooth は使用できません。
- Apple CarPlay の使用中は、自動的にハンズフリーの電話が接続されます。
- Apple CarPlay は、iOS 7.1 以降を搭載した iPhone 5 以降の端末に対応しています。

ご注意

- iPhone で Apple CarPlay の機能制限をしている場合は、解除してください。

USB で接続する



接続すると Apple CarPlay の画面が表示されます。
Apple CarPlay が利用可能な状態になっている間は、画面に応じて以下のアイコンが表示されます。表示されているアイコンをタッチしても Apple CarPlay を利用できます。

- ホーム画面：
- AV メニュー画面： (または)

MEMO

- Apple CarPlay が利用可能な状態のときは （電話ボタン）をタッチしても Apple CarPlay を利用できます。

Apple CarPlay の操作

再生方法：（ホームボタン）→（Apple CarPlay）

ダッシュボード画面



ホーム画面



① Apple CarPlay のダッシュボード画面とホーム画面を切り換える

② Apple CarPlay 対応アプリを起動

MEMO

- iOS のアップデートにより、予告なく Apple CarPlay で使用できる機能が変わる場合があります。

Android Auto™ の基本操作

本機と Android 端末を USB で接続すると Android Auto を利用できます。
Android Auto アプリを Google Play™ などからダウンロードし、Android 端末にインストールします。
詳しくは、Android Auto Help（http://support.google.com/androidauto）を参照してください。
Android Auto でできることについて詳しくは*「Android Auto を使う」（164 ページ）参照*

MEMO

- Android Auto は Android バージョンが 5.0 以降の端末に対応しています。
- Android Auto の使用中は、自動的にハンズフリーの電話が接続されます。

Android Auto 機能をオンにする

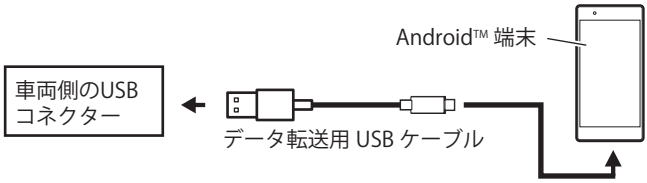
1. （ホームボタン）→ （設定）→ [スマートフォン連携設定] の順にタッチする



2. [Android Auto] をタッチして、[ON] にする



USB で接続する



接続すると Android Auto の画面が表示されます。
Android Auto が利用可能な状態になっている間は、画面に応じて以下のアイコンが表示されます。表示されているアイコンをタッチしても Android Auto を利用できます。

- ホーム 画面：
- AV メニュー画面：（または ）

MEMO

- Android Auto が利用可能な状態のときは（電話ボタン）をタッチしても Android Auto を利用できます。

Android Auto の操作

再生方法：（ホームボタン）→（Android Auto）



① Android Auto 対応アプリを起動
② Android Auto の画面終了
③ 音声認識
④ Android Auto のダッシュボード画面とアプリ ランチャー画面を切り換える

MEMO

- Android 端末の OS のアップデートや、Android Auto アプリのアップデートにより、Android Auto でできることの内容が変わる場合があります。
- （終了）は車種によって表示されるアイコンと名称が異なる場合があります。

場所のいろいろな検索方法

「クイックガイド」で紹介した方法以外にも、本機にはさまざまな場所の検索方法が用意されています。検索したい場所や施設が見つかると、その場所を中心とした地図画面が表示されます。

MEMO

- 駐車場、ガソリンスタンド、ATM などを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設（例：P）と利用できない施設（例：）が区別されて表示されます。
- 隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また、実際の営業時間とは異なる場合があります。

名称で探す

探したい場所や施設の読みの一部またはすべてをひらがな、または英数字で入力して、それを含む施設などを検索します。
読みではなく、漢字などを入力して検索したいときは、フリーワード検索を使用してください。
「フリーワードで探す」（85 ページ）参照
ここでは、例として「成田空港」を検索してみます。

1. （ホームボタン）→ （MENU）→［名称］の順にタッチする



2.「なりたくうこう」と入力する



「文字の入力」（33 ページ）参照

3.［検索］をタッチする



検索した入力文字に一致した候補順のリストとサイドマップが表示されます。

4. 目的の施設をタッチする



選択した場所が地図の中央に表示されます。
再度同じ目的の施設をタッチすると、候補のリストが非表示になります。

- ［**絞り込み**］
  エリアまたはジャンルで候補を絞り込むことができます。［**エリア**］をタッチすると、都道府県で絞り込みができます。［**ジャンル**］をタッチすると、カテゴリで絞り込みができます。
- ［**並べ替え**］
  50 音順または近い順で候補を並べ替えることができます。［**ヨミ順**］をタッチすると、50 音順で並べ替えができます。［**距離順**］をタッチすると、近い順で並べ替えができます。

MEMO

- 選んだ施設に駐車場入口データが収録されている場合は、P入口 が表示され、タッチするたびに選択する駐車場入口が切り換わります。

フリーワードで探す

かな漢字、アルファベットや数字を使って任意の文字を入力して、それを含む施設などを検索します。また、検索するエリアを指定して検索できます。ここでは、例として「空港」と入力して検索してみます。

1. （ホームボタン）→（MENU）→［フリーワード］の順にタッチする



2.「空港」と入力する



- ［**エリア**］
  都道府県で絞り込みができます。
- ［**周辺**］
  現在地周辺で絞り込みができます。

3.［検索］をタッチする



候補のリストとサイドマップが表示されます。

4. 目的の施設をタッチする



選択した場所が地図の中央に表示されます。
再度同じ目的の施設をタッチすると、候補のリストが非表示になります。

- ［**並べ替え**］
  50 音順または近い順で候補を並べ替えることができます。［**ヨミ順**］をタッチすると、50 音順で並べ替えができます。［**距離順**］をタッチすると、近い順で並べ替えができます。

MEMO

- 選んだ施設に駐車場入口データが収録されている場合は、P入口 が表示され、タッチするたびに選択する駐車場入口が切り換わります。

電話番号で探す

場所や施設などの電話番号を入力して検索します。

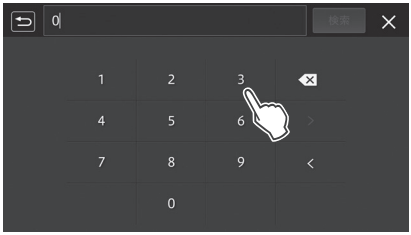
ご注意

- 公園など管理所が別の場所にある施設を検索した場合、所望の地点に案内されない可能性があります。他の方法で検索してください。
- 訪問宅（個人宅）のデータは収録されていないため、訪問宅（個人宅）の電話番号検索はできません。
- ピンポイントのデータが収録されていない電話番号の場合、代表地点（役所）を表示します。

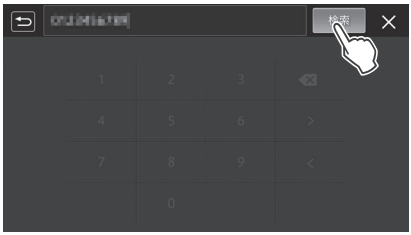
1. （ホームボタン）→（MENU）→［電話番号］の順にタッチする



2. 電話番号を入力する



3. [検索] をタッチする



入力した電話番号の場所が地図の中央に表示されます。
※同じ電話番号の施設が複数見つかった場合は、候補のリストが表示されます。

MEMO

- 電話番号を全桁入力すると自動的に検索が始まります。
- 選んだ施設に駐車場入口データが収録されている場合は、P入口 が表示され、タッチするたびに選択する駐車場入口が切り換わります。

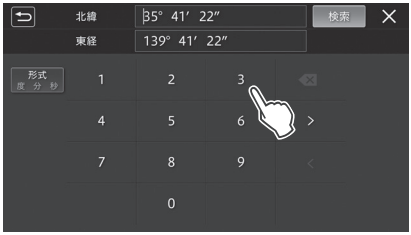
緯度経度で探す

場所や施設の緯度と経度を入力して検索します。

1. (ホームボタン) → (MENU) → [緯度経度] の順にタッチする

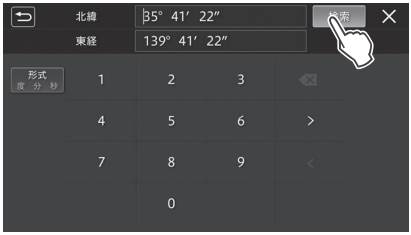


2. 北緯と東経を入力する



- [形式]
  入力式を [度 分 秒]、[度 分]、[度] から選択できます。

3. [検索] をタッチする



入力した緯度経度の場所が地図の中央に表示されます。

周辺施設を探す

現在地、案内ルート沿い、目的地、経由地の周辺にある施設を、カテゴリーの一覧から絞り込んで検索します。

1. (ホームボタン) → (MENU) → [周辺施設] の順にタッチする



すでにルートを設定している場合は手順 2 に進んでください。
ルートを設定していない場合は手順 3 に進んでください。

2. 周辺施設を表示させたい場所をタッチする



- ［**現在地**］
  現在地付近で探したい施設を表示します。
- ［**ルート沿い**］
  ルート沿いで探したい施設を表示します。
- ［**目的地**］
  目的地付近で探したい施設を表示します。
- ［**経由地名**］
  経由地付近で探したい施設を表示します。

3. 探したい施設のジャンルをタッチする



周辺施設を探すと、探したジャンルのロゴマークが地図上に表示されます。［**検索アイコン消去**］をタッチすると、地図上に表示されている施設アイコンが消去されます。

MEMO

- ルートを設定していない場合は、現在地周辺の施設を表示します。
- すでに選択中の施設がある場合はジャンルの項目に✓が表示されます。
- 現在地の地図をスクロールすると表示される［**周辺施設を探す**］をタッチしても、この画面に切り換わります。
- 検索できるジャンルグループには以下が表示されます。
  - 車・交通
  - 買う
  - 生活
  - 遊ぶ・泊まる
  - 食べる

4. 以下同様に希望のジャンルをタッチする

候補のリストと、サイドマップが表示されます。

5. 目的の施設をタッチする



- ［**並べ替え**］
  ［**ルート沿い**］からジャンルを選択した場合のみ距離順、道のり順で並べ替えられます。

選択した場所が地図の中央に表示されます。
再度同じ目的の施設をタッチすると、候補のリストが非表示になります。

候補のリスト非表示中は ^ v をタッチすると施設を切り換えることができます。



MEMO

- 選んだ施設に駐車場入口データが収録されている場合は、P入口 が表示され、タッチするたびに選択する駐車場入口が切り換わります。
- ジャンルを絞り込んだ場合は、リスト項目先頭に表示される“○○○すべて”を選ぶと、選んだジャンルに含まれる施設すべてをリスト表示します。
- リスト項目右側には、施設の詳細情報（アイコン）や施設までの距離などが表示されます。（選んだ検索種別（タブ）や施設により、アイコンが表示されない場合もあります。）
  - P：駐車場あり
  - ATM：ATM あり（コンビニ）
  - 酒：お酒の取り扱い（コンビニ）
  - タバコ：タバコの取り扱い（コンビニ）
  - ：ドライブスルー（ファストフード）
  - / / / ：大気環境配慮型 SS 認定のガソリンスタンド
  - 距離 / 方角情報
    手順 2 で選択した場所によって、表示される情報が異なります。
    ［**現在地**］
    自車位置からの直線距離 / 方角を表示します。

［**ルート沿い**］
［**距離順**］：自車位置からの直線距離 / 方角を表示します。
［**道のり順**］：自車位置からの道のり距離 / ルート進行方向に対して左右どちらに施設があるかを表示します。
［**目的地**］、［**経由地名**］
検索した地点からの距離を表示します。

- 駐車場の詳細選択でデパート提携駐車場も検索できます。

ジャンルから探す

検索したい施設などのジャンルを選び、場所を絞り込んで検索します。

1. (ホームボタン)→ (MENU)→［ジャンル］の順にタッチする



*「周辺施設を探す」（86 ページ）*の手順 3 と同じジャンルを選ぶ画面が表示されます。「周辺施設から探す」と同様に操作して階層をたどります。

2.［周辺で探す］または［エリアを指定して探す］をタッチする



- ［**周辺で探す**］
  現在地付近、経由地付近または目的地付近で候補のリストとサイドマップが表示されます。
- ［**路線順で探す**］
  路線順で候補のリストとサイドマップが表示されます。
- ［**エリアを指定して探す**］
  指定されたエリアで候補のリストとサイドマップが表示されます。

MEMO

- ジャンルで駅または高速道路施設を選択した場合は、［**路線順で探す**］が表示されます。
- 経由地編集画面からジャンルを選択した場合は、［**周辺で探す**］が現在地付近、経由地付近または目的地付近で検索できます。

3. 目的の施設をタッチする



選択した場所が地図の中央に表示されます。
再度同じ目的の施設をタッチすると、候補のリストが非表示になります。
その他の補足事項は、*「周辺施設を探す」（86 ページ）*と同様です。

MEMO

- 選んだ施設に駐車場入口データが収録されている場合は、P入口 が表示され、タッチするたびに選択する駐車場入口が切り換わります。
- リスト項目右側には、施設の詳細情報（アイコン）や施設までの距離などが表示されます。（選んだ検索種別（タブ）や施設により、アイコンが表示されない場合もあります。）
  - P：駐車場あり
  - ATM：ATM あり（コンビニ）
  - 酒：お酒の取り扱い（コンビニ）
  - タバコ：タバコの取り扱い（コンビニ）
  - ：ドライブスルー（ファストフード）
  - / / / ：大気環境配慮型 SS 認定のガソリンスタンド
  - 距離 / 方角情報
    手順 2 で選択した場所によって、表示される情報が異なります。
    ［**周辺で探す**］
    現在地付近：自車位置からの直線距離 / 方角を表示します。
    経由地または目的地付近：検索した地点からの直線距離を表示します。
    ［**路線順で探す**］、［**エリアを指定して探す**］
    自車位置からの直線距離を表示します。

登録地から探す

場所や施設を登録している場合、その一覧から希望の場所・施設を選べます。

1. (ホームボタン) → (MENU) → [登録地] の順にタッチする



候補のリストと、サイドマップが表示されます。

2. 目的の施設をタッチする



選択した場所が地図の中央に表示されます。
再度同じ目的の施設をタッチすると、候補のリストが非表示になります。

- [**並べ替え**]
  登録日時順、ヨミ順、距離順で並べ替えられます。

MEMO

- 選んだ施設に駐車場入口データが収録されている場合は、P入口 が表示され、タッチするたびに選択する駐車場入口が切り換わります。
- [**新規登録**] をタッチすると、登録地を登録できます。*「登録地を登録する」(104 ページ) 参照*
- [**編集**] をタッチすると登録地の編集と消去ができます。*「登録地を編集する」(104 ページ) 参照*
- [**取り込み地点**] をタッチすると USB メモリーから取り込んだ地点情報がリスト表示され、目的地として選べます。*「USB メモリーから登録地を取り込む」(105 ページ) 参照*

履歴から探す

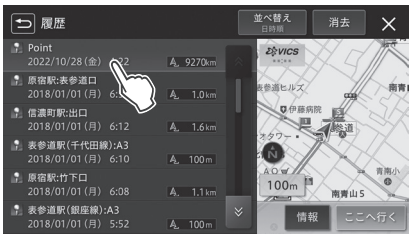
過去に目的地や経由地に設定した場所から探すことができます。

1. (ホームボタン) → (MENU) → [履歴] の順にタッチする



候補のリストと、サイドマップが表示されます。

2. 目的の施設をタッチする



選択した場所が地図の中央に表示されます。
再度同じ目的の施設をタッチすると、候補のリストが非表示になります。

- [**並べ替え**]
  検索日時順、平日・土日祝日順、ヨミ順、距離順で並べ替えられます。
- [**消去**]
  履歴を消去できます。

MEMO

- 選んだ施設に駐車場入口データが収録されている場合は、P入口 が表示され、タッチするたびに選択する駐車場入口が切り換わります。
- リストには、目的地や経由地に設定した日時や現在地からの距離が表示されます。

ルートの設定

いろいろな検索方法で目的の場所や施設が見つかったら、目的地へのルート設定を行います。

ルートを設定する

1. 場所を探す

「場所のいろいろな検索方法」（84 ページ）参照

2. [ここへ行く] をタッチする



ルートの探索が始まります。
ルートの探索が終了すると、案内開始画面が表示されます。

3. [案内開始] をタッチする



ルート案内が始まります。

MEMO

- すでにルートを設定している場合は、探した場所を目的地にするか経由地にするかを選択します。[**目的地**] をタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探索します。[**経由地**] をタッチすると、目的地はそのままで、探した場所に立ち寄るルートを探索します。

案内開始画面の見かた



①	現在設定中のルート探索条件を表示します。
②	ルートの探索結果を消去します。
③	利用する有料道の最初と最後の IC が表示されます。
④	目的地までの距離、所要時間、有料道の料金が表示されます。
⑤	［**ルートスクロール**］または［**ルート情報**］を選んで、ルートの詳細を確認できます。
⑥	目的地までのルートを最大 6 本、地図上で確認・選択できます。
⑦	目的地までのルートを最大 6 本、距離や所要時間、料金などで確認・選択できます。
⑧	目的地までのルートの探索条件を一時的に変更してルートを再探索できます。
⑨	経由地を追加・消去したり、乗降 IC を指定したりできます。
⑩	目的地までのルート案内を開始します。

MEMO

- 安全のため細街路を極力走行しないルートを探索します。

ルートの詳細を見る

ルート案内を開始する前にルートの詳細を見ることができます。
地図画面をスクロールしながらルートを確認できる「ルートスクロール」と、ルート上の主なポイントの名称や区間距離などを確認できる「ルート情報」があります。

1. 案内開始画面で［ルート確認］をタッチする



2. ［ルートスクロール］または［ルート情報］をタッチする

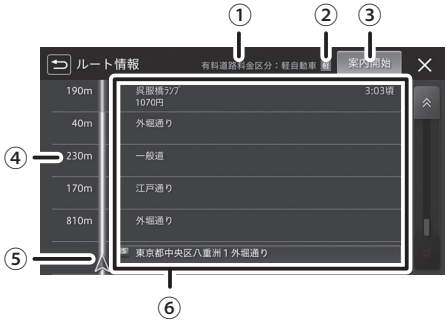


■ルートスクロール



［**案内開始**］	ルート案内を開始します。
⏮	地点を１つ戻します。
◀	出発地方向に自動スクロールします。
■	自動スクロールを停止します。
▶	目的地方向に自動スクロールします。
⏭	地点を１つ進めます。

■ルート情報



①	有料道路の料金区分を表示します。
②	車種を示すマークを表示します。
③	ルート案内を開始します。
④	区間の距離を表示します。
⑤	自車の位置を示します。 ※ルート上を走行していない場合は表示されません。
⑥	ルート種別、出発地、目的地、有料道路料金、通過予想時刻などを表示します。

別ルートが見つかった場合

走行中も、本機は VICS 情報を参考によりよいルートを検索しています（ダイナミックルートガイダンス）。
VICS 情報が更新され、現在のルートよりも目的地に到着するまでの距離、時間、料金がよりよくなると予想されるルートが見つかると、音声と画面でお知らせします。［**新ルート**］または［**元ルート**］にタッチして、ルートを選択します。



MEMO

- ダイナミックルートガイダンス決定方法の設定を［自動モード］に設定している場合は自動的に新ルートで案内をするため、選択画面は表示されません。*「ダイナミックルートガイダンス決定方法」（171 ページ）参照*

6 ルート地図を使う

目的地を設定すると、異なる探索条件のルートを最大 6 本まで地図画面で確認し、選択できます。

MEMO

- 経由地が設定されている場合は、探索されるルートは 1 本のみとなります。
- 探索されたルートには、以下のマークが表示される場合があります。
  - - ：最も距離が短いルート
  - - ：最も所要時間が短いルート
  - - ：最も料金の安いルート
  - - ：料金がかからないルート

1. 場所を探す

「場所のいろいろな検索方法」（84 ページ）参照

2. ［ここへ行く］をタッチする



ルートの探索が始まります。
ルートの探索が終了すると、案内開始画面が表示されます。

3. ［6 ルート地図］をタッチする



4. ［1］から［6］の番号にタッチします



地図上でルートが切り換わり、それぞれの距離や料金などの情報も表示されます。［**地図操作**］をタッチすると、地図をスクロールしたり表示スケールを変更してルートを確認できます。

MEMO

- 異なる条件で探索した結果、同じルートを提案する場合があります。

6 ルートリストを使う

目的地を設定すると、異なる探索条件のルートを最大 6 本までリスト画面で確認し、選択できます。

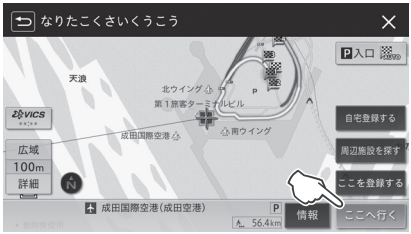
MEMO

- 経由地が設定されている場合は、探索されるルートは 1 本のみとなります。
- 探索されたルートには、以下のマークが表示される場合があります。
  - 短 : 最も距離が短いルート
  - 早 : 最も所要時間が短いルート
  - ¥ 安 : 最も料金の安いルート
  - ¥ 0 : 料金がかからないルート

1. 場所を探す

「場所のいろいろな検索方法」（84 ページ）参照

2. [ここへ行く] をタッチする



ルートの探索が始まります。
ルートの探索が終了すると、案内開始画面が表示されます。

3. [6 ルートリスト] をタッチする



4. [1] から [6] の番号にタッチします



ルートごとに距離、所要時間、料金が表示され、ルートの内容を比較できます。

MEMO

- リストをタッチすると、選択したルートの探索結果が表示されます。
- 異なる条件で探索した結果、同じルートを提案する場合があります。

ルートの編集

一度ルートを設定した後、探索条件を変更する、経由地を追加するなどの編集ができます。

ルート探索条件を変更する

1. (ホームボタン)→ (MENU)→［ルート編集］の順にタッチする



2. ［ルート再探索］をタッチする



3. 変更したい探索条件をタッチする



ルート探索基準

- ［**推奨**］
  所要時間が短いルートを探索します。
- ［**距離優先**］
  距離が短いルートを探索します。
- ［**幹線優先**］
  幹線道路を優先的に使うルートを探索します。

有料道路使用条件

- ［**標準**］
  必要に応じて有料道を使用するルートを探索します。
- ［**回避**］
  有料道を極力使用しないルートを探索します。

フェリー使用条件

- ［**標準**］
  必要に応じてフェリー航路を使用するルートを探索します。
- ［**回避**］
  フェリー航路を極力使用しないルートを探索します。
- ［**優先**］
  フェリー航路を優先的に使うルートを探索します。

ETC 専用料金所考慮ルート探索

- ［**ON**］
  ETC 専用料金所を乗降 IC の対象としてルートを探索します。
- ［**OFF**］
  ETC 専用料金所を乗降 IC の対象とせずにルートを探索します。

4. ［探索開始］をタッチする



ルートが再探索され、案内開始画面が表示されます。

経由地を追加する

経由地を追加して、その場所を経由するルートを探索できます。

1. (ホームボタン)→ (MENU)→［ルート編集］の順にタッチする



2. ［経由地編集］をタッチする



経由地編集画面が表示されます。

3. ［+］をタッチする



4. 追加する経由地の検索方法をタッチする



MEMO

- 目的地の検索と同様に操作します。*「場所のいろいろな検索方法」（84 ページ）参照*

5. ［ここで決定］をタッチする



選択した経由地が地図の中央に表示されます。再度同じ経由地をタッチすると、候補のリストが非表示になります。

候補のリストが非表示中は［**微調整**］をタッチすると、カーソル位置を微調整できます。矢印にタッチしてカーソルをスクロールして［**決定**］をタッチします。

6. ［探索開始］をタッチする



指定した経由地を経由するルートが 1 本だけ探索され、案内開始画面が表示されます。

MEMO

- 経由地は最大 10 箇所指定できます。
- すでに通過した経由地の間には追加できません。
- 追加した経由地をタッチすると、詳細情報を確認できます。
- この設定を行うと、乗降 IC 指定が解除されます。
- 手順 3 から手順 5 を繰り返すと、連続して経由地を追加できます。

経由地を消去する

1. 経由地編集画面を表示する

「経由地を追加する」（96 ページ）参照

2. ［消去］をタッチする



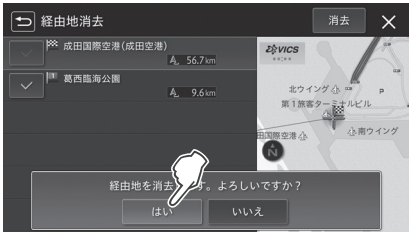
3. 消去したい経由地のチェックボックスをタッチする



4. ［消去］をタッチする



5. ［はい］をタッチする



経由地が消去され、経由地編集画面に戻ります。

6. ［探索開始］をタッチする



ルートが探索され、案内開始画面が表示されます。

MEMO

- すでに通過済みの経由地は消去できません。
- この設定を行うと、乗降 IC 指定が解除されます。
- 経由地が 1 つもない場合は、6 ルートを探索します。

目的地と経由地を並べ替える

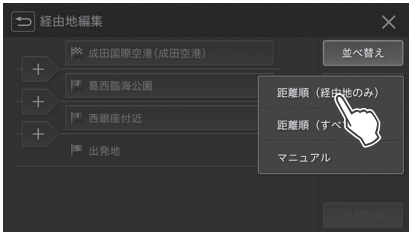
1. 経由地編集画面を表示する

「経由地を追加する」（96 ページ）参照

2. ［並べ替え］をタッチする



3. 並べ替える条件をタッチする



- ［**距離順 (経由地のみ)**］
  すべての経由地を通過するルートの距離が最も短くなるように経由地を並べ替えます。
- ［**距離順（すべて)**］
  目的地とすべての経由地を通過するルートの距離が最も短くなるように、目的地と経由地を並べ替えます。
- ［**マニュアル**］
  目的地と経由地をドラッグして並べ替えます。

4. ［探索開始］をタッチする



指定した経由地を経由するルートが 1 本だけ探索され、案内開始画面が表示されます。

MEMO

- すでに通過済みの経由地は並べ替えできません。
- この設定を行うと、乗降 IC 指定が解除されます。

経由地をスキップする

次に設定した経由地に立ち寄る必要がなくなった場合など、経由地を通過済みとしてルートを再探索できます。

1. (ホームボタン)→ (MENU)→［ルート編集］の順にタッチする



2. ［経由地スキップ］をタッチする



ルートが 1 本だけ探索され、案内開始画面が表示されます。

乗降 IC(インターチェンジ) を指定する

有料道を使うルートを設定した場合は、入口と出口の IC を指定できます。

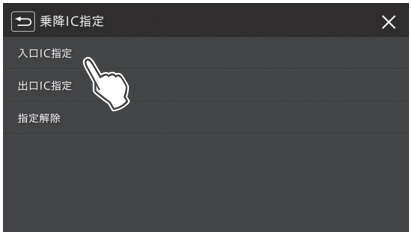
1. 経由地編集画面を表示する

「経由地を追加する」(96 ページ) 参照

2. ［乗降 IC 指定］をタッチする



3. [入口 IC 指定] または [出口 IC 指定] をタッチする



MEMO

- [**指定解除**] をタッチすると、IC の指定を解除します。

4. 指定する IC にタッチし、[決定] をタッチする



ルートが探索され、案内開始画面が表示されます。

MEMO

- 案内開始画面やルート編集画面で、入口 IC 名または出口 IC 名にタッチしても、乗降 IC を指定できます。*「案内開始画面の見かた」（91 ページ）参照*
- ジャンクション (JCT) を選ぶと、分岐できる路線名称が表示されます。
- ETC 専用料金所考慮ルート探索の設定がオフの場合、ETC 専用料金所は表示されません。
- 探索されるルートは 1 本のみです。
- 指定している IC とその前後 3 つの IC がリストに表示されます。

乗降 IC(インターチェンジ) を解除する

指定した乗降 IC を解除できます。

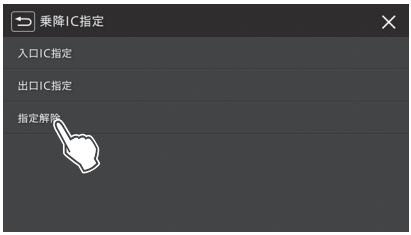
1. 経由地編集画面を表示する

「経由地を追加する」（96 ページ）参照

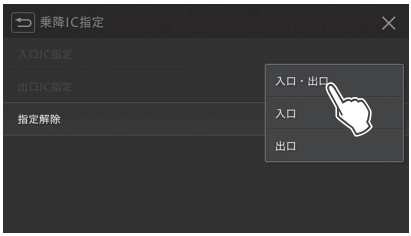
2. [乗降 IC 指定] をタッチする



3. [指定解除] をタッチする



4. [入口・出口]、[入口]、または [出口] をタッチする



5. [はい] をタッチする



ルートが探索され、案内開始画面が表示されます。

回避エリアを登録する

ルート設定する前に回避エリア（場所とその広さ）を登録しておくと、設定したエリアを回避してルート探索ができます。

MEMO

- 回避エリアは 10 件まで登録できます。
- 条件によっては、回避エリア内を通行するルートが設定されることがあります。（例：回避エリア内に目的地を設定した場合や、山道など一本しか道がなく他に回避可能なルートがない場合など）その場合は、経由地を追加するなどして回避したいエリアを通らないルートに設定してください。

1. （ホームボタン）→（MENU）→［設定］の順にタッチする



ナビ設定画面が表示されます。

2. （タブ）→［回避エリア］の順にタッチする



初めて登録する場合は回避エリア新規登録画面が表示されます。手順 3 に進んでください。
2 件目以降の登録をする場合は回避エリア画面が表示されます。回避エリア画面で［**新規登録**］をタッチしてから手順 3 に進んでください。*「回避エリアを変更する」（101 ページ）参照*

3. 設定する回避エリアの検索方法をタッチする



MEMO

- 目的地の検索と同様に操作します。*「場所のいろいろな検索方法」（84 ページ）参照*

4. 回避エリアの中心地点と範囲を設定し、［決定］をタッチする



［**微調整**］をタッチすると、カーソル位置を微調整できます。矢印にタッチしてカーソルをスクロールします。

MEMO

- 回避エリアの範囲は、100 m ～ 800 m の範囲で設定できます。

5. ［はい］をタッチする



回避エリアが登録されます。

回避エリアを変更する

回避エリア画面で、登録した回避エリアを変更できます。

1. 回避エリア画面を表示する

「回避エリアを登録する」（100 ページ）参照

2. 変更する回避エリアをタッチする



3. [編集] をタッチする



MEMO

- [**新規登録**] をタッチすると、新規に回避エリアを登録できます。

4. 回避エリアの中心地点と範囲を設定し、[決定] をタッチする



[**微調整**] をタッチすると、カーソル位置を微調整できます。矢印にタッチしてカーソルをスクロールします。

MEMO

- 回避エリアの範囲は、100 m ～ 800 m の範囲で設定できます。

5. [はい] をタッチする



回避エリアが変更されます。

回避エリアを消去する

1. 回避エリア画面を表示する

「回避エリアを登録する」（100 ページ）参照

2. [消去] をタッチする



3. 消去する回避エリアのチェックボックスをタッチする



[**全選択**] をタッチすると、すべての回避エリアを選択できます。

4. ［消去］をタッチする



5. ［はい］をタッチする



回避エリアが消去されます。

ルートを確認する

1. (ホームボタン)→ (MENU)→［ルート編集］の順にタッチする



2. ［ルート確認］をタッチする



3. ［ルートスクロール］または［ルート情報］または［デモ走行］をタッチする



ルートスクロールまたはルート情報について詳しくは*「ルートの詳細を見る」（92 ページ）参照*

■デモ走行で確認する

ルート確認画面で［**デモ走行**］をタッチすると地図画面が表示され、疑似的なデモ走行によるルート確認ができます。

デモ走行中は デモ走行中 が表示され、タッチするとデモ走行ポップアップメニューが表示されます。





- ［**デモ走行終了**］
  デモ走行を終了します。
- ［**速度を上げる**］
  デモ走行の速度を最大６段階で上げます。
- ［**速度を下げる**］
  デモ走行の速度を最大６段階で下げます。
- ［**初期速度にする**］
  デモ走行の速度を初期値に戻します。

MEMO

- 画面のポップアップメニュー以外の部分をタッチするとポップアップメニューを閉じます。
- 運転を開始するとデモ走行は解除されます。

別のルートを探索する

ルート案内中に、前方の道路を迂回する別のルートを探索できます。

1. (ホームボタン)→ (MENU)→［ルート編集］の順にタッチする



2. ［別ルート探索］をタッチする



3. ［新ルート］または［元ルート］をタッチする



別ルートが見つかると、新ルートと元ルートの目的地に到達するまでの距離、所要時間、料金の差分を表示します。［**新ルート**］または［**元ルート**］にタッチして、ルートを選択します。

MEMO

- 別ルートが、元のルートより所要時間が長いことがあります。その場合は、別ルートが見つからなかったことを表示します。

ルートを消去して案内を中止する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去してルート案内を中止できます。

1. (ホームボタン)→ (MENU)→［ルート消去］の順にタッチする



2. ［はい］をタッチする



- 案内中のルートが消去されます。

場所（地点）の登録 / 編集

よく行く場所や、覚えておきたい場所を登録しておくと、少ない操作で目的地や経由地を設定できます。

登録地を登録する

登録地を登録して、その場所をルートとして探索できます。

1. （ホームボタン）→（MENU）→［登録地］の順にタッチする



候補のリストと、サイドマップが表示されます。

2. ［新規登録］をタッチする



3. 登録する登録地の検索方法をタッチする



MEMO

- 目的地の検索と同様に操作します。*「場所のいろいろな検索方法」（84 ページ）参照*

4. ［ここを登録する］をタッチする



登録内容が表示され、登録地として新規で登録されます。

MEMO

- 地図画面から登録地を選択するときは［**決定**］をタッチします。

登録地を編集する

場所や施設を登録している場合、その場所・施設を編集することができます。

1. 登録地画面を表示する

「登録地を登録する」（104 ページ）参照

2. ［編集］をタッチする



3. ［登録地編集］をタッチする



4. 編集したい場所をタッチし、［決定］をタッチする



5. 編集したい項目をタッチする



- ［**名称**］
  名称を入力し、［**入力終了**］をタッチします。
- ［**ヨミ**］
  ヨミを入力し、［**入力終了**］をタッチします。
- ［**電話番号**］
  電話番号を入力し、［**入力終了**］をタッチします。
- ［**マーク**］
  設定したマークは地図上に表示されます。お好みのマークをタッチします。［**次ページ**］/［**前ページ**］でページを切り換えできます。
- ［**効果音**］
  登録地点に近づいたときに鳴らす効果音をタッチします。［**試聴**］をタッチすると、効果音を再生します。決定するには［**設定**］をタッチします。
- ［**方向指定**］
  効果音を鳴らす方向を指定します。
  - ［**指定方向**］をタッチして、左右の回転矢印キーにタッチして方向を指定し、［**決定**］にタッチします。
  - ［**全方向**］をタッチすると、どの方向から近づいても効果音が鳴ります。
- ［**位置修正**］
  カーソルを変更したい位置に合わせ［**決定**］をタッチします。

MEMO

- ［**方向指定**］は［**効果音**］を［**効果音なし**］以外に設定している場合に設定できます。
- ［**微調整**］をタッチすると、カーソル位置を微調整できます。矢印にタッチしてカーソルをスクロールします。
- 登録した場所が有料道付近の場合は、一般道上か有料道上かを確認する画面が表示されることがあります。

6. 入力が完了したら［入力終了］をタッチする



入力された名前に変更されます。

USB メモリーから登録地を取り込む

USB メモリーから地点情報を読み込みます。
取り込む地点ファイルの作成方法は*「本機に取り込む地点ファイルを作成する」（107 ページ）参照*

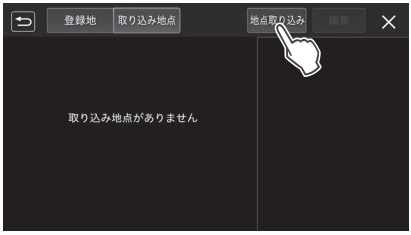
1. 登録地画面を表示する

「登録地を登録する」（104 ページ）参照

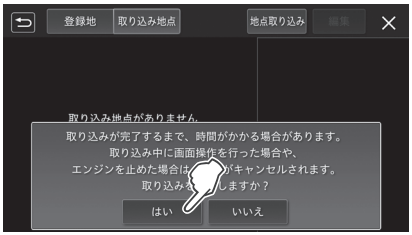
2. ［取り込み地点］をタッチする



3. ［地点取り込み］をタッチする



4. [はい] をタッチする



MEMO

- 取り込み中に、登録した場所の保存件数が 800 件に達した場合は、それ以降の登録地データは取り込まれません。

自宅 / 登録地を消去する

1. 登録地画面を表示する

「登録地を登録する」（104 ページ）参照

2. [編集] をタッチする



3. [登録地消去] をタッチする



4. 消去したい登録地のチェックボックスをタッチする



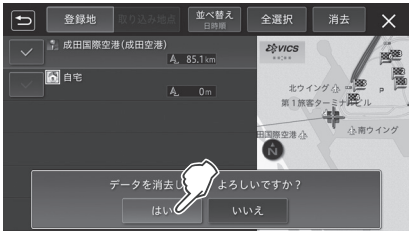
MEMO

- 自宅を消去する場合は自宅のチェックボックスをタッチします。もう一度自宅を登録する場合は*「自宅を登録する」（53 ページ）参照*

5. [消去] をタッチする



6. [はい] をタッチする



本機に取り込む地点ファイルを作成する

本機に取り込む地点ファイルを作成します。作成した地点ファイルは本機に取り込むことができます。*「USB メモリーから登録地を取り込む」（105 ページ）参照*

■地点情報を記入したファイルを作成する

Microsoft® Excel® を使用して地点情報を記入したファイルを作成する。

記入例：

Name	Reading	MapLon	MapLat	Phone	Address	RoadType	Sound	MarkID
○○薬局 1	○○ヤッキョク	35.71697	139.79625	0000000000	東京都・・・・	1	1	3
○○薬局 2	○○ヤッキョク	35.71698	139.79626	0000000000	東京都・・・・	1	1	3
○○薬局 3	○○ヤッキョク	35.71699	139.79627	0000000000	東京都・・・・	1	1	3

記入する項目

Name	Reading	MapLon	MapLat	Phone	Address	RoadType	Sound	MarkID
名称	ヨミ	緯度	経度	電話番号	住所	道路種別	接近案内	アイコン ID

記入する値

項目	文字列	入力形式
Name	フリーテキスト	最大 40 文字まで
Reading	カタカナ、アルファベット、数字	最大 40 文字まで
MapLon	DEG 形式 (10 進数表記)	整数：2 桁、小数点以下：5 桁
MapLat	DEG 形式 (10 進数表記)	整数：3 桁、小数点以下：5 桁
Phone	0 ～ 9、*、#、-、+	最大 25 文字まで
Address	フリーテキスト	最大 80 文字まで
RoadType	0 ～ 1	0: 一般道、1: 有料道路
Sound	0 ～ 9	0: 効果音なし、1: アラーム、2: 鐘、3: 鈴、4: 小鳥、5: カメラ、6: ネコ、7: 犬、8: ファンファーレ、9: ゴルフ
MarkID	0 ～ 119	0:  、1:  、2:  、3:  ・・・・・119:  ※マークの並び順はマーク画面で表示されているマークを左から右へ、ページの行ごとに 0 から数字が設定されています。設定したい MarkID はマーク画面でご確認ください。*「登録地を編集する」（104 ページ）参照*

MEMO

- 「名称」、「緯度」、「経度」は本機に取り込むときに必ず必要な情報となります。それ以外の情報は値の記載がなくても本機に取り込むことができます。

1. Excel に地点情報を入力する

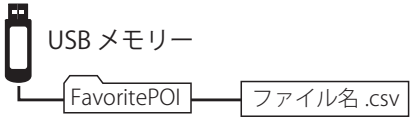
2. CSV ファイルで保存する

MEMO

- Unicode(UTF-8)、または S-JIS 形式で保存してください。

■USB メモリーに格納するフォルダーの構成

本機に登録地を取り込むには作成した地点情報のファイルを以下のフォルダー構成で格納する必要があります。



フォルダー名：FavoritePOI (ピー・オー・アイ)
ファイル名：表示するフォルダー名
拡張子：csv

渋滞情報を見る

本機では、VICS 情報を受信して、交通情報などを見ることができます。

⚠警告	安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。 前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。

取得できる交通情報

本機で取得できる渋滞情報などの道路交通情報は以下のとおりです。

■VICS 情報

VICS センターの VICS サービスまたは VICS WIDE サービスから FM 多重放送の電波で情報が提供されます。車載のアンテナと本機に内蔵の VICS/FM 多重チューナーで受信します。

■5.8 GHz VICS 情報

道路事業者などから提供されます。ETC2.0 ユニット（別売）で、ITS スポットを通じて受信します。

MEMO

- 受信した情報は、受信した時刻から 30 分で削除されます。

VICS 情報の表示形態

VICS 情報には、レベル 1 からレベル 3 までの 3 種類の表示形態があります。

■レベル 1：文字

本機の画面上に文字情報として表示されます。



■レベル 2：簡易図形

本機の画面上に図形情報として表示されます。



■レベル 3：地図

本機の地図画面上に道路交通情報として表示されます。

道路交通情報



MEMO

- 文字情報が文字化けしたり、ネットワークの障害で受信できないなどのメッセージが表示されることがありますが、本機の故障ではありません。
- VICS 情報の表示 / 非表示を設定できます。*「地図の設定」（175 ページ）参照*

VICS の文字・図形情報を見る（レベル 1・2）

文字や図形などの VICS 情報を表示・再生できます。

■FM 多重 VICS の文字・図形情報を表示する

レベル 1（文字）およびレベル 2（簡易図形）の情報を表示します。

MEMO

- VICS 情報が受信できていない場合は、受信待ちの画面が表示されます。

1. （ホームボタン）→ （MENU）→［VICS］または［VICS/ETC］の順にタッチする



2.［文字情報］または［図形情報］をタッチする



3. 見たい情報の番号をタッチする



次の画面に切り換わります。



■FM 多重 VICS のセンター情報を表示する

VICS センターからの情報を表示します。

MEMO

- VICS 情報が受信できていない場合は、受信待ちの画面が表示されます。

1. （ホームボタン）→ （MENU）→［VICS］または［VICS/ETC］の順にタッチする



2. ［センター情報］をタッチする



3. ［<<］や［>>］にタッチして情報を確認する



MEMO

- ［**先頭**］/［**最終**］をタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- 情報の取得が途中の場合は、取得済み情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。

■ビーコン情報を表示・再生する

ITS スポットから受信した情報の履歴を表示、再生できます。履歴情報はあとからでも表示できます。ITSスポットからの情報は音声情報の再生も可能です。

1. （ホームボタン）→（MENU）→［VICS/ETC］の順にタッチする



2. ［履歴情報］をタッチし、見たい情報をタッチする



ITS スポットから受信した情報の履歴を表示、再生できます。

MEMO

- ETC2.0 を接続してない場合は表示されません。

地図上で VICS 情報を見る（レベル 3）

VICS 情報を受信すると、自動的に渋滞の道塗りや VICS マークが地図上に表示され、内容が更新されるごとに情報が書き換わります。ルート上に渋滞・規制情報が存在する場合は、音声でも案内します。



道塗り	赤色：渋滞 橙色：混雑 青色：順調 一般道は白色の縁取り、有料道は青い縁取りで表示されます。 統計情報は、破線・先端が四角で表示されます。

■緊急情報の自動表示

緊急情報の受信時には、自動的にその内容が表示されます。さらに詳細文字情報を受信した場合は、その内容を確認できます。

■VICS マークの種類

VICS情報により、次のVICSマークも地図上に表示されます。

	通行止め・閉鎖
	進入禁止
50	速度規制（数字は制限速度）
	徐行
	車線規制
	片側交互通行
	対面通行
	チェーン規制
	入口閉鎖
	入口制限
	大型通行止め
	原因なし
	事故
	火災
	事故車
	障害物・路上障害

	工事
	作業
行事	行事
	気象
	凍結
	災害
気象警報	気象警報速報
災害速報	災害速報
特別警報	緊急（特別警報）
R	駐車場（閉鎖）
P	駐車場（満車：赤、混雑：橙、空き：青、不明：黒）
	臨時駐車場（閉鎖）
P	臨時駐車場 （満車：赤、混雑：橙、空き：青、不明：黒）
	充電施設 （満車：赤、混雑：橙、空き：青、不明：黒）
	充電施設（閉鎖）
	区間旅行時間

VICS マークの詳細を見る

地図画面をスクロールし、十字カーソルを VICS マークに合わせて［**情報**］をタッチすると、詳細な情報を確認できます。



詳細画面が表示されます。

VICS 放送局を選ぶ

渋滞情報を FM 多重放送から受信するときは、最も受信感度のよい放送局を選びます。工場出荷時は、自車位置に応じた適切な放送局が自動的に選ばれるように設定されています。渋滞情報の受信に問題がある場合に設定してください。

1. （ホームボタン）→ （MENU）→［VICS］または［VICS/ETC］の順にタッチする



2. ［放送局選択］をタッチする



3. 放送局を探す方法をタッチします



- ［**オート**］
  自車位置に応じて VICS 放送局が自動的に選択されます。
- ［**リスト**］
  放送局リストから選びます。
- ［**シーク**］
  ［**+**］、［**−**］にタッチして、周波数を自動チューニングします。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

放送局の受信感度を確認する

渋滞情報画面では、受信中の放送局名、周波数、受信感度などが表示されます。

1. （ホームボタン）→ （MENU）→［VICS］または［VICS/ETC］の順にタッチする



2. [放送局選択] をタッチする



放送局選択画面が表示されます。



High という表示は、受信感度が良好なことを示します。Low と表示されたときは、受信に時間がかかったり受信できないことがあります。

VICS 情報の表示を設定する

地図上に表示する渋滞情報や規制情報などの表示を設定できます。*「地図の設定」（175 ページ）参照*

ビーコン情報の自動表示

ETC2.0 ユニット（別売）が接続されているときは、ITS スポットから送られてくる図形または文字の情報を受信すると、自動的にその内容を設定した時間だけ表示させることができます。

「ビーコン情報即時表示」（174 ページ）参照

「ビーコン情報即時表示時間」（174 ページ）参照

MEMO

- 表示された情報は、設定した時間が経過すると自動的に消えます。また ✕ をタッチしても消えます。
- ETC2.0 ユニット（別売）を接続している場合は、ITS スポットからの静止画像、音声、図形または文字の 5.8 GHz VICS 情報を表示または音声案内します。

ルート上の渋滞情報を確認する

ルート上に発生している渋滞情報を文字表示と音声で案内できます。

1. ルート案内中に、VICS をタッチする



渋滞箇所までの距離や渋滞の長さ、通過所要時間などの渋滞状況を文字と音声で案内します。

MEMO

- 5 箇所先の渋滞場所まで順に案内できます。
- 案内中のルートがない場合は、自車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

ETC 情報を見る

車種・タイプ別装備

ETC2.0 車載器（別売）または ETC 車載器（別売）を搭載し、本機との連動を有効にしている場合は、ETC の利用に関する情報を表示したり、ETC カードに関する案内のオン / オフを設定できます。

MEMO

- ETC2.0 車載器（別売）または ETC 車載器（別売）を搭載していても、本機との連動を有効にしてない場合はナビメニュー画面に［**VICS/ETC**］が表示されません。

ETC カード情報を見る

現在使用中の ETC カードの有効期限と ETC2.0 車載器または ETC 車載器の情報を表示できます。

1. （ホームボタン）→ （MENU）→［VICS/ETC］の順にタッチする



2.［ETC］をタッチする



ETC カードの有効期限と ETC2.0 車載器または ETC 車載器の管理番号が表示されます。

ETC の利用履歴を見る

1. （ホームボタン）→ （MENU）→［VICS/ETC］の順にタッチする



2.［ETC］をタッチする



3. **［ETC 利用履歴］をタッチする**



ETC 利用履歴が表示されます。



プローブ情報アップリンクを設定する

プローブ情報は、走行した自動車から収集される位置や時刻などのデータをもとに作られる道路交通情報です。反対に、自車から道路側に情報を送信（提供）することをアップリンクといいます。

ETC2.0 車載器でプローブ情報アップリンク機能を使用できます。

「アップリンク許可設定」（174 ページ）参照

MEMO

- プローブ情報アップリンクを［**ON**］にすると、一部の高速道路区間で実施される料金割引サービスの適用対象となる場合があります。詳しくは、各高速道路管理会社の割引情報をご確認ください。
- 地図情報が古い場合、料金割引サービスの適用対象道路に案内しない場合があります。

ETC 起動時音声案内を設定する

ETC2.0 車載器または ETC 車載器で、ETC 起動時音声案内機能を使用することができます。

「ETC 起動時音声案内」（174 ページ）参照

料金案内設定する

ETC2.0 車載器または ETC 車載器で、料金案内機能を使用することができます。

「料金案内設定」（174 ページ）参照

NaviCon で検索して目的地設定する

NaviCon は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。
NaviCon をインストールした iPhone またはスマートフォンをご用意ください。

⚠警告	安全のため、運転者は走行中に iPhone またはスマートフォンの操作をしないでください。

MEMO

- 接続できる機器の最新情報については、ホームページをご覧ください。
- NaviCon のインストール方法や操作方法の詳しい説明は、NaviCon のホームページを参照してください。
  https://navicon.com/user/support/

1. NaviCon をインストールした iPhone またはスマートフォンと本機を接続する

iPhone の場合は、Bluetooth および USB ケーブルで接続できます。スマートフォンの場合は、Bluetooth で接続します。

「Bluetooth 対応機器との接続」（189 ページ）参照

2. iPhone またはスマートフォンで NaviCon を起動し、地図画面を表示する

本機で地図画面を表示している場合、NaviCon の地図画面をスクロールさせると、本機の地図画面が連動して同じ場所を表示します。

3. NaviCon で地点を検索し、目的地や経由地として本機に送信する

本機に目的地や経由地が送信され、ルートを設定できます。

MEMO

- スマートフォンではじめて NaviCon を起動したときは、接続先設定画面が表示されます。その場合は本機を選択してください。
- 地図スクロールや表示スケールの変更も連動します。
- 本機でルートを設定していない場合は、NaviCon から地点情報を受信すると目的地に設定するかを確認するメッセージが表示されます。すでにルートを設定している場合は、NaviCon から地点情報を受信すると目的地にするか経由地にするかを確認するメッセージが表示されます。
- NaviCon で複数の目的地を設定し本機に目的地として送信すると、本機では最後の地点が目的地に設定されます。また、地点の番号順に経由地が設定されます。
- NaviCon を操作しても本機に反映されない場合は、Bluetooth 設定で、お使いの iPhone またはスマートフォンのプロファイルに［スマートフォンアプリ］を設定してください。*「Bluetooth 機器の登録」（63 ページ）参照*

ラジオを聴く

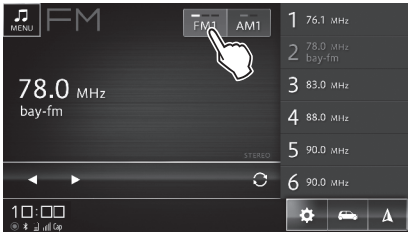
ラジオを受信する

■バンドを切り換える

1. **(ホームボタン)→ (MENU)→［FM］または［AM］の順にタッチする**



2. **［FM1］/［FM2］/［FM3］/［AM1］/［AM2］をタッチする**



MEMO

- 放送局名は本機に収録されているデータに基づいて表示されます。本機に収録されていない放送局名は表示されません。
- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況により、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所や電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- 緊急警報放送割り込み設定が［**ON**］のときは、緊急警報放送を受信すると、AVソースをテレビに切り換えるかを確認するメッセージが表示されます。緊急警報放送を視聴する場合は［**はい**］をタッチしてください。
「緊急警報放送割り込み」（181 ページ）参照

■リストから選局する

希望のバンドを選び、リスト内の聴きたい放送局をタッチします。



■自動で放送局を選ぶ

1. **希望のバンドを選ぶ**

「バンドを切り換える」（117 ページ）参照

2. **/ を、周波数が連続して切り換わるまでタッチし続ける**



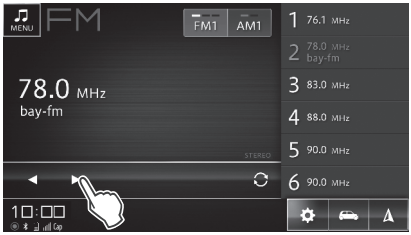
受信可能な放送局が見つかると自動的にその放送局を受信します。

■手動で放送局を選ぶ

1. **希望のバンドを選ぶ**

「バンドを切り換える」（117 ページ）参照

2. ◀/▶をタッチする



タッチするごとに周波数が切り換わります。

MEMO

- 放送局名は、現在の自車位置から自動的に表示されます。

放送局をプリセットする

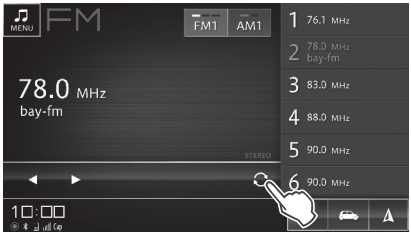
本機では、各バンドに放送局を 6 局まで登録しておくことができます。登録した局はリストに一覧表示されます。

■リストに自動で登録する（オートストア）

1. 希望のバンドを選ぶ

「バンドを切り換える」（117 ページ）参照

2. ↻をタッチする



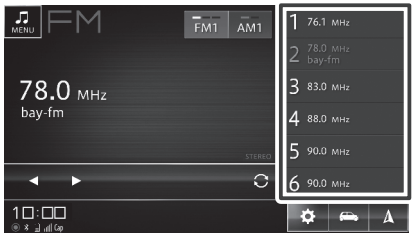
3. [はい] をタッチする





MEMO

- [**中止**] をタッチすると自動登録が中止します。



受信可能な放送局が、現在のプリセットリストに上書き登録されます。

■リストに手動で登録する

1. 希望のバンドを選ぶ

「バンドを切り換える」（117 ページ）参照

2. 希望の放送局を受信する

3. リスト内の上書きするチャンネルを、登録が完了するまでタッチし続ける

交通情報を聴く

2 つの周波数の交通情報を聴くことができます。

1. **（ホームボタン）→ （MENU）→［交通情報］の順にタッチする**



2. **［1620kHz］または［1629kHz］をタッチする**



テレビを見る

車種・タイプ別装備

⚠警告	運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

チャンネルをプリセットする

本機でテレビを見るには、まずチャンネルをプリセットしてください。
チャンネルは、以下の 3 つの場所ごとにプリセットできます（チャンネルモード）。
以下の例をご参考にプリセットしてください。

モード	チャンネルプリセットする場所
ホーム	自宅のある住所など、通常テレビを視聴する場所で手動でチャンネルをプリセットします。
ドライブ	ドライブでの立ち寄り先など、一時的にテレビを視聴する場所で手動でチャンネルをプリセットします。
エリア	現在地で受信可能なチャンネルを自動でプリセットします。

エリアチャンネルは自動でプリセットされますが、更新のタイミングにより、チャンネルをタッチしても受信できない場合があります。その場合は、チャンネルが更新されるまでしばらくお待ちください。

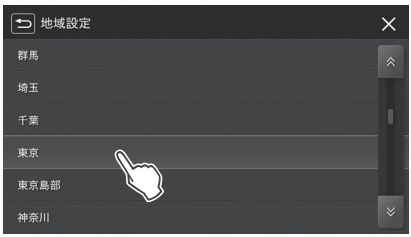
■初めてテレビを使用するとき（ホームモードでのチャンネルプリセット）

初めてテレビを使用する場合、自動的にチャンネルをプリセットする状態になります。ここでは、ホームモードでチャンネルをプリセットする手順を説明します。

1. **（ホームボタン）→ （MENU）→［TV］の順にタッチする**



2. **プリセットする地域をタッチする**



スキャンが開始されます。スキャンが完了すると、テレビメニュー画面が表示されます。



MEMO

- スキャンを中止するときは［**中止**］をタッチします。
- スキャンを中止した場合は、それまでに受信したチャンネルは登録されません。
- 視聴する地域が変わった場合は、［**TV 設定**］-［**地域設定**］でプリセットする地域を再度選択してください。

■ドライブモード / エリアモードでチャンネルプリセットする

ドライブモードでチャンネルをプリセットする手順もホームモードの場合と同様です。ただし、ドライブモードの場合は地域を設定する操作はありません。
エリアモードでは、自車の位置に応じて受信可能なチャンネルを自動的にプリセットします。

テレビを見る

ご注意

- 走行中は、安全のため映像は表示されません。

1. **(ホームボタン) → (MENU) → [TV] の順にタッチする**



MEMO

- チャンネルがリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況により、受信できない場合があります。

■アイコン一覧

アイコン	説明
	ワンセグから通常放送へ切り換え可能
SD	SDTV（標準画質放送）
HV	HDTV（ハイビジョン放送）
	アンテナの受信感度
1 SEG	ワンセグ（1 セグメント放送）
エリア ドライブ ホーム	チャンネルモード
	マルチビュー放送
	マルチ編成
	2 カ国語放送
	ステレオ放送

MEMO

- 放送内容によって表示されないアイコンがあります。

受信中の操作

テレビの映像を全画面で表示中に画面をタッチすると、メニューが表示されます。メニューでは、さまざまな操作ができます。

メニュー 1/2



メニュー 2/2



キー	説明
チャンネルリスト	タッチすると番組を切り換えられます。
番組表	現時点から 24 時間後までの番組表を表示します。*「番組表から番組を探す」（123 ページ）参照*
番組内容	視聴中の番組の番組内容を表示します。
番組情報取得	番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。
スキャン	バンドごとに受信状態の良い放送局をスキャンし、ホームモードまたはドライブモードのプリセットチャンネルにそれぞれ自動で登録します。
◀ CH ▶	前後のチャンネルに切り換えます。長くタッチすると受信できるチャンネルを自動的に探して選局します。
≫	2 ページ目のメニューを表示します。
	マルチビューなど複数の映像がある番組の場合は、映像を切り換えられます。
	番組に複数の音声言語がある場合は、音声を切り換えられます。
多重	音声多重放送の受信時には、主音声と副音声を切り換えられます。
	番組に字幕がある場合は、字幕言語と表示のオン / オフを切り換えられます。
CH モード	チャンネルモード（ホームモード / ドライブモード / エリアモード）を切り換えられます。
サービス切り換え	現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合には、サービスを切り換えられます。
バージョン表示	ソフトウェアのバージョン、オリジナル RMP メーカ ID、局管理 RMP メーカ ID の情報を表示します。
≪	1 ページ目のメニューを表示します。

番組表から番組を探す

本機が取得したチャンネルの現在から 24 時間先までの電子番組表（EPG）を利用できます。

MEMO

- 番組情報取得を行っていない場合は、現在受信中のチャンネル以外は空欄です。［**番組情報取得**］をタッチすると番組情報を取得し、番組表に表示します。



キー	説明
番組情報取得	番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。
切換	番組表に表示するチャンネル数を切り換えられます。 タッチするとチャンネル数が 4 チャンネル、7 チャンネル、1 チャンネルと切り換わります。
▲ / ▼ / ◀ / ▶	選択したい番組を切り換えます。
決定	選んだ番組の番組内容を表示します。

テレビの機能を設定する

地上デジタルテレビ放送を受信する際の機能を設定します。
［AV 設定］メニュー（179 ページ）の［TV 設定］で設定します。

音楽 CD/ROM を聴く

車種・タイプ別装備

音楽 CD および ROM ディスク（mp3 などの音楽データをディスクに記録したもの）を挿入すると自動的に再生が始まります。

本機で使用できるディスクについて

ご注意

- 次のようなディスクを本機に挿入すると、キズが付いたり、取り出せなくなって本機の故障の原因となりますので、使用しないでください。
  - 円形以外のディスク
  - シールなどを貼り付けたディスク
  - シールやラベルなどの糊がはみ出したディスクや、はがした跡があるディスク
- ディスクにラベルを貼ったり、ボールペンなどで文字を書き込まないでください。
- ディスクは次のような場所に保管しないでください。変形したり、再生できなくなることがあります。
  - 直射日光の当たる場所、特に直射日光のもとで窓を閉め切った自動車内
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 暖房器具からの熱に直接さらされている場所

■本機で再生できる CD

以下の CD は、本機で再生できます。

- COMPACT DISC DIGITAL AUDIO が付いている市販の音楽 CD
- CD レコーダーで録音した CD-R、CD-RW ディスク
- CD-TEXT ディスク
- コンピューターで、音楽 CD として正しいフォーマットで録音したディスク

■本機で再生できない CD

以下の CD は、本機で再生できません。

- Dual Disc（ただし、DVD 面は、再生できます。）
- 8 cm CD
- スーパーオーディオ CD
- Photo CD
- コピーコントロール CD
- HDCD フォーマットで記録された CD
- ビデオ CD

■再生可能なフォーマット

- 再生可能なフォーマットについては*「再生できるファイルとメディアの種類」（217 ページ）参照*

再生する

1. **（ホームボタン）→ （MENU）→［DISC］の順にタッチする**



ディスク挿入時は、自動的に再生を開始します。

MEMO

- 楽曲情報はディスクのデータに基づいて表示されます。ディスクのデータにない楽曲情報は表示されません。
- ディスクの判別をするため、再生までに時間がかかります。
- 緊急警報放送割り込み設定が［**ON**］のときは、緊急警報放送を受信すると、AV ソースをテレビに切り換えるかを確認するメッセージが表示されます。緊急警報放送を視聴する場合は［**はい**］をタッチしてください。*「緊急警報放送割り込み」（181 ページ）参照*

再生中の操作



キー	説明
	再生を一時停止 / 再開します。
	**音楽 CD** タッチするとトラックの先頭に戻ります。さらにタッチすると前のトラックに移動します。 タッチし続けると、早戻しします。タッチし続けている間、2 倍速、3 倍速、8 倍速、16 倍速と切り換わります。 **ROM** タッチするとファイルの先頭に戻ります。さらにタッチすると前のファイルに移動します。 タッチし続けると、早戻しします。タッチし続けている間、2 倍速、3 倍速、8 倍速、16 倍速と切り換わります。
	現在の再生位置を示します。また、カーソルをドラッグすると、位置（時間）を指定して再生できます。
	**音楽 CD** タッチすると次のトラックに移動します。 タッチし続けると早送りします。タッチし続けている間、2 倍速、3 倍速、8 倍速、16 倍速と切り換わります。 **ROM** タッチすると次のファイルに移動します。 タッチし続けると早送りします。タッチし続けている間、2 倍速、3 倍速、8 倍速、16 倍速と切り換わります。
	ランダム再生のオン（  ）/ オフ（）を切り換えます。
	リピート再生の範囲を切り換えます。 **音楽 CD** •  （ディスクリピート）：再生中のディスクをリピートします。 •  （トラックリピート）：再生中のトラック（曲）をリピートします。 **ROM** •  （ディスク / オールリピート）：再生中のディスクをリピートします。 • （ファイルリピート）：再生中のファイルをリピートします。 •  （フォルダーリピート）：再生中のフォルダーをリピートします。

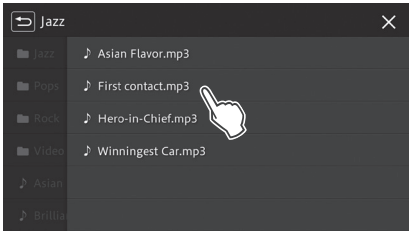
キー	説明
	**音楽 CD** トラックのリストを表示します。リストからトラック（曲）を選んで再生できます。 **ROM** フォルダーのリストを表示します。リストからファイルを選んで再生できます。
	再生するフォルダーを切り換えます（ROM のみ）。
	音楽 CD と ROM を切り換えます（ディスクに音楽 CD と ROM が混在している場合に表示）。

■リストから曲を選ぶ

1.  をタッチする



2. 再生する曲をタッチする



選んだ曲の再生が始まります。

DVD ビデオ /DVD-VR を見る

車種・タイプ別装備

⚠警告	運転者がビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

本機で使用できるディスクについて

ご注意

- 次のようなディスクを本機に挿入すると、キズが付いたり、取り出せなくなって本機の故障の原因となりますので、使用しないでください。
  - 円形以外のディスク
  - シールなどを貼り付けたディスク
  - シールやラベルなどの糊がはみ出したディスクや、はがした跡があるディスク
- ディスクにラベルを貼ったり、ボールペンなどで文字を書き込まないでください。
- ディスクは、次のような場所に保管しないでください。変形したり、再生できなくなることがあります。
  - 直射日光の当たる場所、特に直射日光のもとで窓を閉め切った自動車内
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 暖房器具からの熱に直接さらされている場所

■本機で再生できる DVD

以下の DVD は、本機で再生できます。

- DVD VIDEO が付いた市販の DVD で、リージョン番号が「ALL」または「2」のもの
- DVD レコーダーで録画した DVD-R、DVD-RW ディスク
- Dual Disc の DVD 面

■本機で再生できない DVD

以下の DVD は、本機で再生できません。

- リージョン番号が「ALL」および「2」以外の DVD
- DVD-RAM
- DVD オーディオディスク

再生する

ご注意

- 走行中は、安全のため映像は表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている場合のみ、モニターで映像を視聴できます。

1. （ホームボタン）→ （MENU）→［DISC］の順にタッチする



ディスク挿入時は、自動的に再生を開始します。

MEMO

- 緊急警報放送割り込み設定が［**ON**］のときは、緊急警報放送を受信すると、AV ソースをテレビに切り換えるかを確認するメッセージが表示されます。緊急警報放送を視聴する場合は［**はい**］をタッチしてください。

「緊急警報放送割り込み」（181 ページ）参照

再生中の操作（操作メニュー画面）

DVD の映像を全画面で表示中に、画面をタッチするとメニューが表示されます。メニューでは、さまざまな操作を行うことができます。

DVD ビデオ

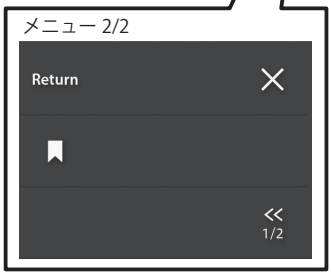
メニュー 1/2



DVD-VR



メニュー 2/2



キー	使用できるメディア	説明
TOP MENU	DVD ビデオ	ディスクのトップメニューを表示します。表示されるメニューや操作方法は、ディスクによって異なります。表示されるメニューを直接タッチして操作できます。
MENU	DVD ビデオ	ディスクのメニューを表示します。表示されるメニューや操作方法は、ディスクによって異なります。表示されるメニューを直接タッチして操作できます。
🔍	DVD ビデオ	チャプター番号など、見たい場面を指定して再生します。*「見たい場面を指定して再生する」（131 ページ）参照*
✕	DVD ビデオ /DVD-VR	操作メニューを閉じ、DVD 映像を全画面で表示します。
📹	DVD ビデオ	複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されたディスクの場合、カメラアングルを切り換えられます（マルチアングル）。
🔊	DVD ビデオ /DVD-VR	音声言語が複数収録されたディスクの場合、再生中に音声言語を切り換えられます（マルチ音声）。

キー	使用できるメディア	説明
多重	DVD ビデオ /DVD-VR	音声がリニア PCM（圧縮しない音声信号）ステレオのディスクの場合、収録された左右のチャンネルの出力方法を切り換えます。 **DVD ビデオ** • L+R：左右両方の音声を出力します。 • Left：左の音声を出力します。 • Right：右の音声を出力します。 • Mix：左右の音声をミックスして出力します。 **DVD-VR** • 主音声：左右から主音声を出力します。 • 副音声：左右から副音声を出力します。 • 主 + 副：左から主音声 / 右から副音声を出力します。 • 主 / 副：左右から主音声と副音声をミックスして出力します。
	DVD ビデオ /DVD-VR	字幕言語が複数収録されたディスクの場合、再生中に字幕言語を切り換えられます（マルチ字幕）。
	DVD ビデオ	ブックマークを登録 / 消去します。ブックマークを登録すると、次にディスクを挿入したときに登録した場面から再生されます。 ブックマークはディスク 1 枚につき 1 場面登録でき、ディスク 5 枚分のブックマークを登録します。5 枚を超えて新しいディスクにブックマークが登録されると、使用時期の最も古いディスクのブックマーク情報を上書きします。 ブックマークを消去する場合は、 に約 2 秒以上タッチします。
	DVD ビデオ /DVD-VR	リピート再生の範囲を切り換えます。 • （ディスクリピート）：再生中のディスクをリピートします。 • （チャプターリピート）：再生中のチャプターをリピートします。 • （タイトルリピート）：再生中のタイトルをリピートします。
	DVD ビデオ	ディスクのメニュー画面などで使用する操作キーを表示します。 *「ディスクメニューを操作キーで操作する」（130 ページ）参照*
	DVD ビデオ /DVD-VR	映像の再生サイズを切り換えます。 *「ワイドモードを切り換える」（131 ページ）参照*
2/2	DVD ビデオ	2 ページ目のメニューを表示します。
1/2	DVD ビデオ	1 ページ目のメニューを表示します。
Return	DVD ビデオ	あらかじめディスクに記録されている場所に移動します。 ※実際の動作は、ディスクによって異なります。 ※ディスクに記録された場所がない場合は移動しません。
	DVD-VR	タイトルリストまたはプレイリストを表示して、見たいタイトルを選んで再生できます。 *「リストからタイトルを選んで再生する」（132 ページ）参照*
	DVD ビデオ /DVD-VR	再生を一時停止 / 再開します。
	DVD ビデオ /DVD-VR	タッチすると、チャプターの先頭に戻ります。チャプターがない場合は、タイトルの先頭に戻ります。さらにタッチすると前のチャプターに移動します。チャプターがない場合は、前のタイトルに移動します。

キー	使用できるメディア	説明
◀◀	DVD ビデオ /DVD-VR	早戻しします。タッチするごとに、2 倍速、3 倍速、8 倍速、16 倍速、32 倍速、2 倍速と切り換わります。
00:35	DVD ビデオ /DVD-VR	現在の再生位置を示します。また、カーソルをドラッグすると、位置（時間）を指定して再生できます。
▶▶	DVD ビデオ /DVD-VR	早送りします。タッチするごとに、2 倍速、3 倍速、8 倍速、16 倍速、32 倍速、2 倍速と切り換わります。
▶▶|	DVD ビデオ /DVD-VR	次のチャプターに移動します。チャプターがない場合はタイトルに移動します。
■	DVD ビデオ /DVD-VR	再生を停止します。再度タッチすると、再生位置を消去し、次に再生した時はディスクの先頭から再生します。

■ディスクメニューにタッチして操作する

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法はディスクによって異なります。本機は、表示されるディスクメニューに直接タッチして操作できます。

1. ［TOP MENU］または［MENU］をタッチする



2. 画面をタッチして操作する



: 操作メニュー画面を表示します。
: ディスクメニュー操作キーを表示します。

■ディスクメニューを操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくてタッチでは操作しにくいときや、文字列の一部が隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作できます。

1. をタッチする



2. / / / をタッチして項目を選び をタッチする



: ダイレクトタッチ画面に戻ります。
: ディスクメニュー操作キーが消えます。

■見たい場面を指定して再生する

1. をタッチする



2. 指定する方法（サーチの種類）にタッチする



- ［**タイトル**］
  タイトル番号を指定します。
- ［**チャプター**］
  チャプター番号を指定します。
- ［**10 キー**］
  数字のコマンドを指定します。

3. 数字キーにタッチして番号を入力し、 をタッチする



MEMO

- ディスクに収録されていない番号を入力した場合は動作しません。

■ワイドモードを切り換える

映像の再生サイズを変更できます。
工場出荷時は「Full」です。

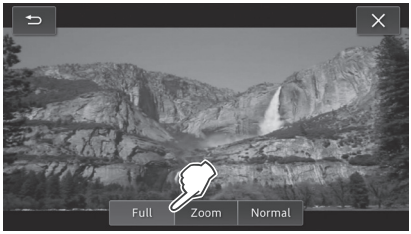
ご注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

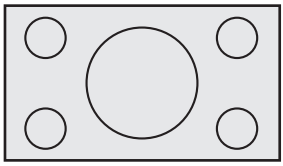
1. をタッチする



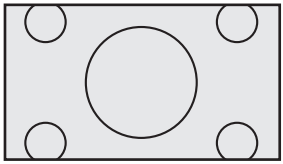
2. お好みの表示方法にタッチする



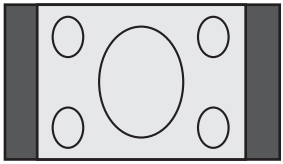
- ［**Full（フル）**］
  映像を画面いっぱいに表示します。
  映像と画面の縦横の比率が異なる場合、映像の比率が異なって表示されます。



- ［**Zoom（ズーム）**］
  映像の上下をカットし、画面全体に引き延ばして表示します。画面の一部が途切れて表示されることがあります。



- ［**Normal（ノーマル）**］
  映像を 4：3 の比率にし、画面の縦幅に合わせて表示します。



■リストからタイトルを選んで再生する

タイトルリストまたはプレイリストを表示して、見たいタイトルを直接選んで再生できます。

1. をタッチする



2. または をタッチして、見たいタイトルにタッチする



: 通常再生画面に戻ります。

: ディスクに収録されたタイトルの一覧を表示します。

: ディスクに収録されたプレイリストの一覧を表示します。プレイリストがない場合は、選択できません。

DVD ビデオ /DVD-VR の初期設定を行う

DVD ビデオ /DVD-VR の再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定できます。
*［AV 設定］メニュー（179 ページ）*の「DVD 設定」で設定します。

iPod を使う

本機に接続した iPhone/iPod の音楽やオーディオブックを再生できます。

iPod の再生について

ご注意

- iPod や接続ケーブルを車内に放置しないでください。特に炎天下などで車内が高温になり、iPod やケーブルが変形・変色したり、故障の原因となることがあります。
- 接続中の iPod の上に物を乗せたり、強い力を加えたりしないでください。iPod の故障の原因となることがあります。
- 車のエンジンスイッチをオフにした後は、必ず iPod を取り外してください。接続したままでは iPod の電源が切れない場合があるため、iPod のバッテリーを消耗するおそれがあります。
- iPod の動作については、すべてを保証するものではありません。
- 本機と接続するときは、iPod のヘッドフォンなどのアクセサリーを使用しないでください。
- iPod の機種やソフトウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- ビデオファイルのみ保存している場合、「再生可能なファイルが見つかりません」と表示されます。

MEMO

- 接続できる機器の最新情報はホームページをご覧ください。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機から iPod を取り外して再度接続してください。
- iPod が操作不能になった場合は、iPod 本体をリセットし、再度接続してください。
- リセット方法は、iPod の取扱説明書などで確認してください。

■接続確認済の iPod

接続できる機器の最新情報については、ホームページをご覧ください。

再生する

1. iPod を車両の USB コネクターに接続する

MEMO

- Bluetooth で接続しても音楽やオーディオブックを再生できます。*「Bluetooth 対応機器との接続」（189 ページ）参照*

2. （ホームボタン）→ （MENU）→［iPod］の順にタッチする



MEMO

- 楽曲情報は iPod に保存されたファイルのデータに基づいて表示されます。ファイルのデータにない楽曲情報は表示されません。
- 緊急警報放送割り込み設定が［**ON**］のときは、緊急警報放送を受信すると、AV ソースをテレビに切り換えるかを確認するメッセージが表示されます。緊急警報放送を視聴する場合は［**はい**］をタッチしてください。*「緊急警報放送割り込み」（181 ページ）参照*

再生中の操作

音楽再生時



オーディオブック再生時



キー	説明
	再生を一時停止 / 再開します。
	タッチすると曲の先頭に戻ります。さらにタッチすると前の曲に移動します。タッチし続けると、早戻しします。
	現在の再生位置を示します。また、カーソルをドラッグすると、位置（時間）を指定して再生できます。 ※オーディオブックを再生中の場合は位置（時間）を指定して再生できません。
	タッチすると次の曲に移動します。タッチし続けると早送りします。
	再生する順番をシャッフルします。シャッフル再生のオン（  ）/ オフ（  ）を切り換えます。
	リピート再生の範囲を切り換えます。 •  （全曲リピート）：すべての曲をリピートします。 •  （1 曲リピート）：再生中の曲をリピートします。 •  （リピートオフ）：リピート再生を解除します。 接続した機器により、  （リピートオフ）に切り換わらない場合があります。
	アーティスト名やアルバムなどのリストを表示します。リストから曲を選んで再生できます。
	オーディオブックを再生中の場合のみ表示されます。  または  をタッチすると再生速度が切り換わります。 ※実際の動作は、iPod の機種やソフトウェアバージョンによって異なる場合があります。

■リストから曲を選ぶ

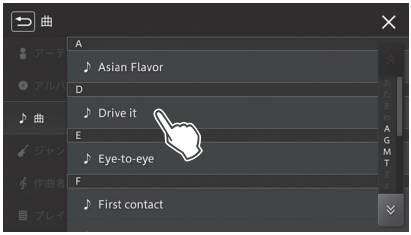
1. をタッチする



2. カテゴリーをタッチする



3. 曲を絞り込み、再生する曲をタッチする



選んだ曲の再生が始まります。

MEMO

- ご使用の iPod によって、リストに表示されるカテゴリーは異なります。
- iPod で表示されるリストの並び順と、本機で表示されるリストの並び順は一致しない場合があります。

Bluetooth Audio を使う

本機に接続した Bluetooth 機器の音楽を再生できます。

Bluetooth Audio の再生について

ご注意

- Bluetooth 機器を車内に放置しないでください。特に炎天下などで車内が高温になり、Bluetooth 機器が変形・変色したり、故障の原因となることがあります。

MEMO

- Apple CarPlayの使用中は、Bluetoothは使用できません。
- Android Auto の使用中は、Bluetooth での音楽再生はできません。
- Bluetooth 方式に対応しているオーディオ機器をお使いください。ただし、Bluetooth 機器の種類によっては、ご利用になれない場合や、利用できる機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth 機器の収納場所、本機との距離によっては、音楽を再生できなかったり、音飛びが発生したりする場合があります。できるだけ通信状態のよい場所に置いてご利用ください。
- Bluetooth オーディオ対応のスマートフォンや携帯電話を使用して電話機能を使用している場合は、再生音は聴こえません。
- Bluetooth オーディオ機器について、詳しくはそれぞれに付属の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth 機器の登録

Bluetooth 機器を使うには、あらかじめ本機に Bluetooth 機器を登録してください。*「Bluetooth 機器を登録する」（64 ページ）参照*

「本機を待ち受け状態にして Bluetooth 対応機器を登録する」（189 ページ）参照

MEMO

- 本機の電源をオフ / オン（エンジンスイッチをオフ / オン）した場合、電源をオフする前に接続していた Bluetooth 機器とは異なる Bluetooth 機器と接続することがあります。

再生する

1. **（ホームボタン）→ （MENU）→［Bluetooth］の順にタッチする**



MEMO

- 楽曲情報は Bluetooth 機器に保存されたファイルのデータに基づいて表示されます。ファイルのデータにない楽曲情報は表示されません。
- 接続する Bluetooth 機器によって、アートワークが表示されない場合があります。
- 緊急警報放送割り込み設定が［**ON**］のときは、緊急警報放送を受信すると、AV ソースをテレビに切り換えるかを確認するメッセージが表示されます。緊急警報放送を視聴する場合は［**はい**］をタッチしてください。*「緊急警報放送割り込み」（181 ページ）参照*

再生中の操作



キー	説明
	再生を一時停止 / 再開します。
	タッチすると曲の先頭に戻ります。さらにタッチすると前の曲に移動します。タッチし続けると、早戻しします。
	現在の再生位置を示します。
	タッチすると次の曲に移動します。タッチし続けると早送りします。
	ランダム再生のオン（  ）/ オフ（  ）を切り換えます。
	リピート再生の範囲を切り換えます。 •  （全曲リピート）：すべての曲をリピートします。 •  （1 曲リピート）：再生中の曲をリピートします。 •  （リピートオフ）：リピート再生を解除します。
	アーティスト名やアルバムなどのリストを表示します。リストから曲を選んで再生できます。
	再生中のグループに含まれる曲をリスト表示します。

■リストから曲を選ぶ

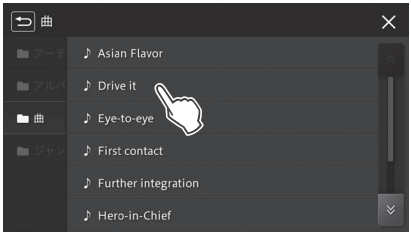
1. をタッチする



2. カテゴリーをタッチする



3. 曲を絞り込み、再生する曲をタッチする



選んだ曲の再生が始まります。

MEMO

- 接続中の Bluetooth 機器の状態によって、リストに表示される内容は異なります。
- フォルダー選択などで階層を下げた場合は、 にタッチして階層を戻せます。 をタッチすると、通常再生画面に戻ります。

USB メモリーまたは Android™ 端末を使う

本機に接続した USB メモリーの音楽ファイルや映像ファイル、MTP 接続に対応した Android™ 端末の音楽ファイルを再生できます。

⚠警告	運転者が動画を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

USB メモリーの再生について

ご注意

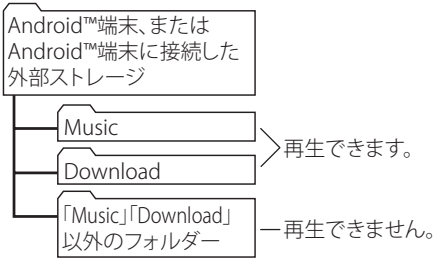
- USB メモリーを車内に放置しないでください。特に炎天下などで車内が高温になり、USB メモリーの故障の原因となることがあります。
- 接続中の USB メモリーの上に物を乗せたり、強い力を加えたりしないでください。USB メモリーの故障の原因となることがあります。

■再生できるファイル

再生できるファイルについては*「再生できるファイルとメディアの種類」（217 ページ）参照*

MTP 接続対応 Android™ 端末での再生について

- 本機と Android™ 端末をはじめて接続した場合は、楽曲の再生に数分かかる場合があります。
- 本機で再生できるオーディオファイルは、Android™ 端末または Android™ 端末に接続した外部ストレージの所定のフォルダーに保存されたファイルのみです。それ以外のフォルダーに保存されたファイルは再生できません。所定のフォルダーは、Android™ 端末または Android™ 端末に接続した外部ストレージ内の最上位階層にある「Music」フォルダー、および「Download」フォルダーです。



- Android™ 端末を接続すると、本機は所定のフォルダー内のすべてのオーディオファイルを検索して表示します。リスト画面でリストトップ（一番上の階層のリスト）を表示した際、画面右上に検索状況を示す文字が表示されます。
  - 「- Reading ○○ %」：ファイル検索中に表示されます。
- 本機と接続した際に、機種によっては Android™ 端末の操作が必要な場合があります。「接続された USB 機器が認識できません」「接続された USB 機器が使用できません」と表示された場合は、Android™ 端末を操作して設定を変更してください。
- Android™ 端末内の映像ファイルは、本機では再生できません。
- MTP 接続でオーディオファイルを再生する場合、4 GB を超えるファイルは再生できません。
- MTP 接続に対応した Android™ 端末の使用状況によっては、正常に再生できない場合があります。

再生する

1. USB メモリーを車両の USB コネクターに接続する

2. （ホームボタン）→ （MENU）→［USB］の順にタッチする



MEMO

- 楽曲情報は USB メモリーに保存されたファイルのデータに基づいて表示されます。ファイルのデータにない楽曲情報は表示されません。
- 緊急警報放送割り込み設定が［**ON**］のときは、緊急警報放送を受信すると、AV ソースをテレビに切り換えるかを確認するメッセージが表示されます。緊急警報放送を視聴する場合は［**はい**］をタッチしてください。*「緊急警報放送割り込み」（181 ページ）参照*

再生中の操作（音楽ファイル）



キー	説明
	再生を一時停止 / 再開します。
	タッチするとトラックの先頭に戻ります。さらにタッチすると前のトラックに移動します。タッチし続けると、早戻しします。タッチし続けている間、2 倍速、3 倍速、8 倍速、16 倍速と切り換わります。
	現在の再生位置を示します。また、カーソルをドラッグすると、位置（時間）を指定して再生できます。
	タッチすると次のトラックに移動します。タッチし続けると早送りします。タッチし続けている間、2 倍速、3 倍速、8 倍速、16 倍速と切り換わります。
	ランダム再生のオン（  ）/ オフ（  ）を切り換えます。
	リピート再生の範囲を切り換えます。 •  （全トラックリピート）：すべてのトラック（曲）をリピートします。 •  （トラックリピート）：再生中のトラック（曲）をリピートします。 •  （フォルダーリピート）：再生中のフォルダーをリピートします。 アーティストやアルバムなどのカテゴリーで絞り込み再生を行っている場合は、  （オールリピート）と  （トラックリピート）を切り換えます。
	USB メモリー内に音楽ファイルと動画ファイルが混在している場合、動画ファイルの操作画面に切り換わります。*「再生モードを切り換える」（142 ページ）参照*
	リストを表示します。リストからトラック（曲）を選んで再生できます。
	再生するフォルダーを切り換えます。

再生中の操作（映像ファイル）



キー	説明
	再生を一時停止 / 再開します。
	タッチするとファイルの先頭に戻ります。さらにタッチすると前のファイルに移動します。
	早戻しします。タッチするごとに、2 倍速、3 倍速、8 倍速、16 倍速、32 倍速、2 倍速と切り換わります。
00:35	現在の再生位置を示します。また、カーソルをドラッグすると、位置（時間）を指定して再生できます。
	早送りします。タッチするごとに、2 倍速、3 倍速、8 倍速、16 倍速、32 倍速、2 倍速と切り換わります。
	次のファイルに移動します。
	再生を停止します。再度タッチすると、再生位置を消去し、次に再生した時はファイルの先頭から再生します。
	USB メモリー内に音楽ファイルと動画ファイルが混在している場合、音楽ファイルの操作画面に切り換わります。
	再生するフォルダーを切り換えます。
	リストを表示します。リストからファイルを選んで再生できます。
	操作メニューを閉じ、映像を全画面で表示します。
	ランダム再生のオン（ ）/ オフ（ ）を切り換えます。

キー	説明
	リピート再生の範囲を切り換えます。 •  （全ファイルリピート）：USB メモリー内のすべてのファイルをリピートします。 •  （ファイルリピート）：再生中のファイルをリピートします。 •  （フォルダーリピート）：再生中のフォルダーをリピートします。
	映像の再生サイズを切り換えます。 *「ワイドモードを切り換える」（143 ページ）参照*

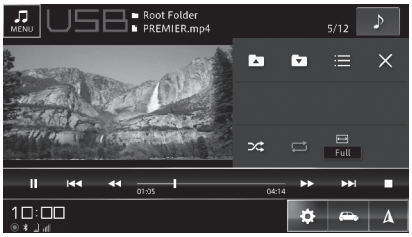
■再生モードを切り換える

USB メモリー内に音楽ファイルと映像ファイルが混在している場合、再生するファイルを切り換えることができます。ここでは、音楽ファイルの操作画面から映像ファイルの操作画面に切り換える例で説明します。

1.  をタッチする



• 映像ファイルの操作画面に切り換わります。



■リストからファイルを選んで再生する

リストを表示し、ファイルを直接選んで再生できます。

1.  をタッチする

2. 再生したいファイルをタッチする



• フォルダー選択などで階層を下げた場合は、  にタッチして階層を戻せます。 をタッチすると、通常再生画面に戻ります。
• USB メモリー内にある曲を本機がカテゴリー別に分けて表示します。カテゴリーは次の 4 つに分かれます（音楽ファイルのみ）。
  • アーティスト
  • アルバム
  • 曲
  • ジャンル
• USB メモリー内のフォルダーからファイルを選ぶ場合は［**フォルダー**］をタッチします。

MEMO

- カテゴリ [アーティスト] から項目を選択した場合は［**ALL**］をタッチすると、リスト上の項目 (アルバム) を順々に再生します。
- 絞り込みを行い再生範囲を調整してください。
- 本機で再生できないファイルを選択した場合は自動でスキップされます。

■ワイドモードを切り換える

映像の再生サイズを変更できます。
工場出荷時は「Full」です。

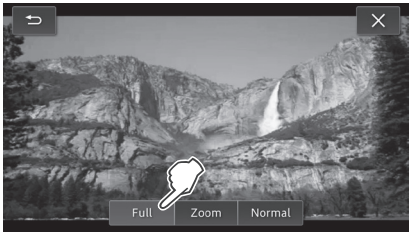
ご注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

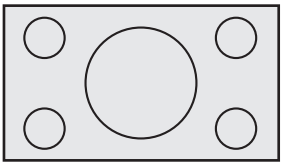
1. をタッチする



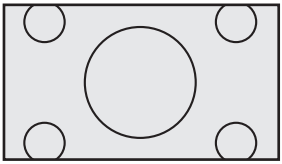
2. お好みの表示方法にタッチする



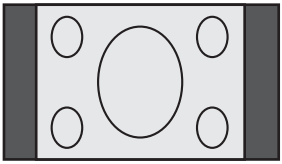
- ［**Full（フル）**］
  映像を画面いっぱいに表示します。
  映像と画面の縦横の比率が異なる場合、映像の比率が異なって表示されます。



- ［**Zoom（ズーム）**］
  映像の上下をカットし、画面全体に引き延ばして表示します。画面の一部が途切れて表示されることがあります。



- ［**Normal（ノーマル）**］
  映像を 4：3 の比率にし、画面の縦幅に合わせて表示します。



HDMI®機器を使う

車種・タイプ別装備

HDMI ケーブルで接続した機器で映像を再生し、本機のディスプレイで視聴することができます。

⚠警告	運転者が動画を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

MEMO

- デバイス機器により、Apple CarPlay との同時動作ができない場合があります。

映像を見る

ご注意

- 走行中は、安全のため映像は表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている場合のみ、モニターで映像を視聴できます。

HDMI ソースは、接続した機器を認識すると選択可能となります。

1. （ホームボタン）→（MENU）→［HDMI］の順にタッチする



MEMO

- 緊急警報放送割り込み設定が［**ON**］のときは、緊急警報放送を受信すると、AV ソースをテレビに切り換えるかを確認するメッセージが表示されます。緊急警報放送を視聴する場合は［**はい**］をタッチしてください。
「緊急警報放送割り込み」（181 ページ）参照

■ワイドモードを切り換える

映像の再生サイズを変更できます。
工場出荷時は「Full」です。

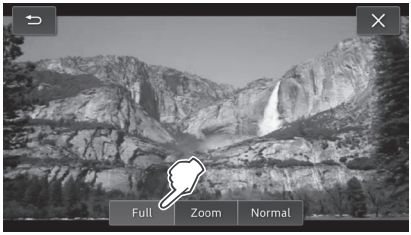
ご注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

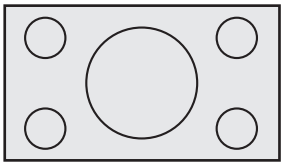
1. をタッチする



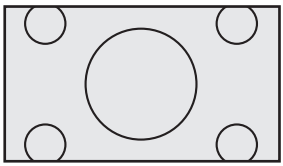
2. お好みの表示方法にタッチする



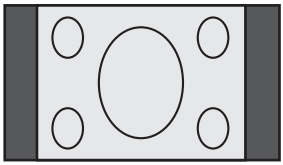
• ［**Full（フル）**］
映像を画面いっぱいに表示します。
映像と画面の縦横の比率が異なる場合、映像の比率が異なって表示されます。



• ［**Zoom（ズーム）**］
映像の上下をカットし、画面全体に引き延ばして表示します。画面の一部が途切れて表示されることがあります。HDMI 機器からの入力解像度が 1280 X 720 の場合は［Full（フル）］と同じ表示となります。



• ［**Normal（ノーマル）**］
映像を 4：3 の比率にし、画面の縦幅に合わせて表示します。



車両情報を見る

走行距離や平均燃費などの走行に関するリアルタイムな情報や、半ドア状態やシートベルト未装着などの警告情報など、さまざまな情報を画面に表示できます。
表示できる情報は、以下のとおりです。

情報	説明
現在の運転情報	現在の走行距離や平均燃費など走行に関するリアルタイムな情報を表示します。 *「現在の運転情報」（147 ページ）参照*
ワンドライブ履歴	走行距離 / 平均燃費 / エコスコアを表示します。
給油間履歴	給油と給油の間ごとの燃費 / エコスコアを表示します。
エネルギーフロー	車両の電力や動力の伝達 / 状態をアニメーションで表示します。
車両警告情報	車両に発生した警告情報を表示します。

MEMO

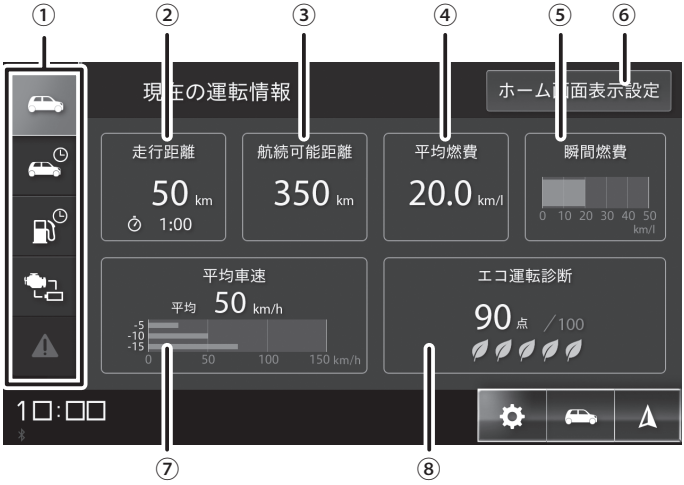
- 表示される情報は車種 / グレードによって異なります。

ご注意

- 走行中は安全のため、画面を注視しないでください。

現在の運転情報

⚠警告	走行中は安全のため、画面を注視しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

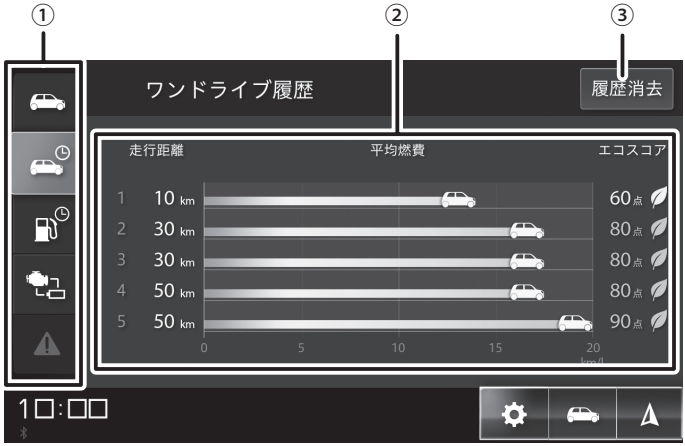


番号	項目	説明
①	タブ	車両情報の表示を切り換えます。
②	走行距離 / 走行時間	1 回の運転での走行距離 / 走行時間を表示します。
③	航続可能距離	現在の燃料残量で走行できるおよその距離が表示されます。 • 航続可能距離は、過去の平均燃費をもとに算出される目安であるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。 • 給油すると表示が更新されます。給油が少ないと、表示が更新されない場合があります。 • 算出に使用される過去の平均燃費は、表示される平均燃費とは異なります。
④	平均燃費	車両メーターの表示をリセットしてからの平均燃費を表示します。また、車両メーターの表示をリセット後はしばらくは値が表示されません。
⑤	瞬間燃費	走行中の瞬間燃費をグラフ表示します。 • 停車中は表示されません。 • 表示されている最大値以上の値は表示されません。
⑥	ホーム画面表示設定	ホーム画面に表示する情報を選択できます。
⑦	車速	車両メーターの表示をリセットしてからの平均車速と、走行 15 分前から 5 分ごとに 5 分間の平均車速が表示されます。 • リセット後しばらくは値が表示されません。 • 本機の再起動を行うと表示がリセットされます。
⑧	エコ運転診断	1 回の運転で燃費効率が良いと判定された割合から、運転内容を採点します。 • 車種 / グレードによって表示されない場合があります。

MEMO

- 表示される情報はリアルタイムに変化します。

ワンドライブ履歴

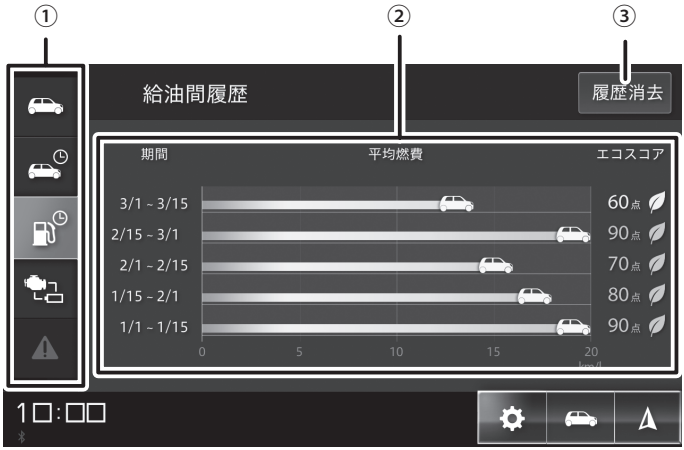


番号	項目	説明
①	タブ	車両情報の表示を切り換えます。
②	ワンドライブ履歴	1 回の運転での走行距離 / 平均燃費 / エコスコアを表示します。1 回前から 5 回前までの最大 5 件を表示します。 • 走行距離が短い場合は、履歴として追加されないことがあります。 • 車種 / グレードによっては、表示されない項目があります。
③	履歴消去	ワンドライブ履歴を全件消去します。

MEMO

- エンジンスイッチをオンにしてからオフにするまでを 1 回として、1 回ごとの走行距離 / 平均燃費 / エコスコアを表示します。走行距離が短い場合は表示されないことがあります。

給油間履歴

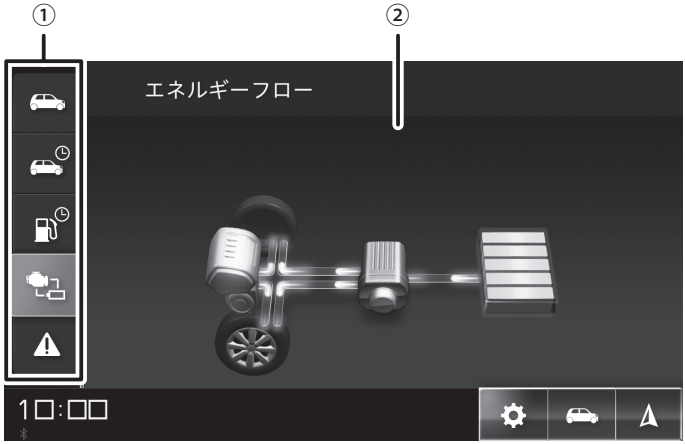


番号	項目	説明
①	タブ	車両情報の表示を切り換えます。
②	給油間履歴	給油と給油の間ごとの燃費 / エコスコアを表示します。1 回前から 5 回前までの最大 5 件を表示します。 • 給油すると表示が更新されます。ただし、給油量が少ないと、表示が更新されない場合があります。 • 車種 / グレードによっては、表示されない項目があります。
③	履歴消去	給油間履歴を全件消去します。

MEMO

- 給油量が少ないと表示されない場合があります。

エネルギーフロー



番号	項目	説明
①	タブ	車両情報の表示を切り換えます。
②	エネルギーフロー	リチウムバッテリーの残量や車の状態によるエネルギーの流れを表示します。

車両警告情報



番号	項目	説明
①	タブ	車両情報の表示を切り換えます。
②	警告情報	警告情報が発生している場合はアイコンが表示されます。点灯しているアイコンをタッチして詳細を確認してください。

MEMO

- 警告情報が発生していない場合は表示できません。

■その他の異常やトラブルが発生したとき

その他の異常やトラブルに対しても、以下のメッセージや画面が表示されます。

異常 / トラブル	メッセージ / 画面
シートベルト未装着（運転席）	「運転席のシートベルトを着用してください。」とメッセージが表示されます。
シートベルト未装着（助手席）	「助手席のシートベルトを着用してください。」とメッセージが表示されます。
シートベルト未装着（全席）	シートベルトが未装着の席を画面でお知らせします。
ブレーキ系統異常	「パーキングブレーキを解除してください。」とメッセージが表示されます。
半ドア警告	半ドア状態のドアを画面でお知らせします。
車両の鍵（ワイヤレスキー）の電池切れ	「携帯リモコンの電池切れが近いです。 電池を交換してください。」とメッセージが表示されます。
燃料切れ	「燃料の残量が少なくなっています。 すみやかに給油してください。」とメッセージが表示されます。 **MEMO** • ［**探す**］をタッチすると、現在地周辺のガソリンスタントが一覧表示されます。希望のガソリンスタンドを目的地に設定することもできます。
凍結注意	「路面が凍結しているおそれがあります。 とくに慎重に運転してください。」とメッセージが表示されます。
ABS 異常	「ABS(アンチロックブレーキシステム) 電子制御システムの異常が考えられます。 ABS が作動しないおそれがあります。 販売店にご連絡ください。」とメッセージが表示されます。
SRS エアバッグ異常	「SRS エアバッグ、シートベルトプリテンショナー電子制御システムの異常が考えられます。 販売店にご連絡ください。」とメッセージが表示されます。
エンジン異常	「エンジン電子制御システムの異常が考えられます。 販売店にご連絡ください。」とメッセージが表示されます。
トランスミッション異常	「トランスミッション電子制御システムの異常が考えられます。 販売店にご連絡ください。」とメッセージが表示されます。
水温の異常上昇	「オーバーヒートのおそれがあります。 安全な場所に停車した後、販売店にご連絡ください。」とメッセージが表示されます。
電動パワーステアリング異常	「電動パワーステアリングシステムの異常が考えられます。 販売店にご連絡ください。」とメッセージが表示されます。
ESP® 異常	「ESP® システムの異常が考えられます。 販売店にご連絡ください。」とメッセージが表示されます。

ご注意

- 本機で表示される車両警告情報は、メーターの補助表示です。メーターの表示が正しい情報になります。
- 「車両信号が受信できていません。」と表示されたときは、販売店にご連絡ください。
- ［**車両設定**］→［**警告表示設定**］で［**OFF**］に設定した項目は、異常が発生してもその情報は表示されません。
- オン / オフの設定ができるのは以下の項目です。より安全な車両の運用のため、各項目を［**ON**］に設定しておくことをおすすめします。
  - 警告表示
  - 半ドアお知らせ表示
  - ブレーキ系統異常お知らせ表示
  - シートベルト未装着お知らせ表示
  - 路面凍結注意お知らせ表示
  - 携帯リモコンの電池切れお知らせ表示
  - 燃料切れお知らせ表示

MEMO

- 車両などに異常やトラブルが発生すると、警告音とともにメッセージが自動的に表示されます。（全方位モニターの画像表示中はメッセージは表示されません。異常やトラブルが継続している場合、全方位モニターの表示を終了すると表示されます。）
- 一度画面から消した警告情報は、車両警告情報画面からもう一度確認できます。
- 車種 / グレードによっては、表示されるメッセージが異なります。
- 携帯リモコンの電池切れお知らせ表示は［**車両設定**］→［**警告表示設定**］で［**ON**］に設定した場合でも、車両の装備によってはメッセージが表示されないことがあります。

通話する（ハンズフリー）

本機と携帯電話や iPhone またはスマートフォンを接続すると、ハンズフリー通話やプライベート通話が可能です。また、スマートフォンへの着信時に SMS で返信したり、iPhone またはスマートフォンへの SMS 着信を通知したりできます。

⚠注意	安全のため、走行中の電話はなるべく避けてください。どうしても必要な場合は、いったん安全な場所に駐車するか、周囲の安全を確認してから電話の発着信を行ってください。

ご注意

- ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。
- 本機の電源を入れた直後は、電話の着信を受けられません。
- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短に済ませてください。
- Apple CarPlay の使用中および Android Auto の使用中は、使用中の Apple CarPlay または Android Auto によるハンズフリー通話が自動的に動作可能となります。
- 携帯電話などを車の室内に放置しないでください。炎天下などで室内が高温になると、故障の原因となります。

MEMO

- ハンズフリー通話では、相手の声が車両のスピーカーを通して聴こえます。
- プライベート通話は、携帯電話などで通常通話するのと同じ通話方法です。

携帯電話と本機を接続する

携帯電話、iPhone またはスマートフォンと本機とは、Bluetooth で接続します。
Bluetooth に対応した携帯電話、iPhone またはスマートフォンを準備してください。

1. Bluetooth 機器を登録する

携帯電話を本機に登録していない場合は、登録を行ってください。また、接続プロファイルは、「電話」または「電話 +SMS」を設定してください。
「Bluetooth 機器の登録」（63 ページ）参照

電話帳を本機に読み込む

携帯電話や iPhone またはスマートフォンに登録されている電話帳の情報を本機に読み込みます。読み込んだ電話帳から相手を検索して電話をかけることができます。

MEMO

- 電話帳は、携帯電話 1 台につき最大で 2000 件まで読み込めます。

1. （電話ボタン）をタッチする

2. （タブ）→［読み込み］をタッチする



電話帳の読み込みが始まります。
読み込みが完了すると、読み込んだデータを電話帳として使用できます。

MEMO

- 保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- 携帯電話によっては、携帯電話のシークレット機能により登録された電話帳も読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号も電話帳と同時に読み込まれる場合があります。
- 1 件につき 5 つの電話番号まで保存可能です。
- 携帯電話の設定によっては、電話帳を読み込めないことがあります。
- 携帯電話で表示される電話帳と、本機の電話帳の表示順序は、一致しない場合があります。

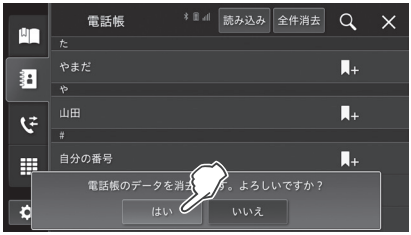
■電話帳の消去

1. （電話ボタン）をタッチする

2. （タブ）→［全件消去］をタッチする



3. ［はい］をタッチする



MEMO

- 本機に読み込み済みの電話帳が消去されます。接続した携帯電話側の電話帳は消去されません。

ワンタッチダイヤルに登録する

電話帳や発着信履歴から、よく使う番号をワンタッチダイヤルに登録できます。
携帯電話１台につき最大６件まで登録できます。

■電話帳から登録する

1. （電話ボタン）をタッチする

2. （タブ）をタッチする



3. 登録したい相手先の をタッチする



MEMO

- 番号が複数登録されている場合は、どの番号を登録するかを選択する画面が表示されます。その場合は、選択画面で登録したい番号をタッチしてください。

4. ［はい］をタッチする



ワンタッチダイヤルの登録が完了します。

■発着信履歴から登録する

1. （電話ボタン）をタッチする

2. （タブ）→登録したい番号の をタッチする



3. ［はい］をタッチする



ワンタッチダイヤルの登録が完了します。

■ワンタッチダイヤルを消去する

1. （電話ボタン）をタッチする

2. （タブ）→ または［全件消去］をタッチする



をタッチすると個別に消去します。
［**全件消去**］をタッチすると、本機に登録されているワンタッチダイヤルをすべて消去します。

3. ［はい］をタッチする



ワンタッチダイヤルの登録が消去されます。

電話をかける

■通話中の画面について

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、マイクのミュート設定オン / オフやハンズフリーのオン / オフ、電話を切る操作ができます。



-
発着信中または通話中を表示します。
-
ダイヤルパッド画面を表示します。
-
通話中メニューを一時的に消すことができます。
-
マイクのミュート設定をオン / オフします。エコーで相手の声が聞き取りにくい場合に、オンにすることでエコーを軽減することができます。
-
ハンズフリー通話とプライベート通話を切り換えます。携帯電話機で通話したいときはオンにします。
-
電話を受けます。
-
電話を切ります。

MEMO

- 通話中メニューを一時的に消した場合は、（電話ボタン）をタッチすると再度通話中メニューを表示できます。
- ステアリングスイッチのオンフックスイッチでも電話を切れます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。
- ハンズフリー機能をオフにすると、携帯電話機能が使用できなくなる場合があります。

■電話番号を入力して電話をかける

1. （電話ボタン）をタッチする

2. （タブ）をタッチする



ダイヤルパッド画面が表示されます。

3. 電話番号入力し をタッチする



入力した電話番号に発信します。

■リダイヤルする

直前にかけた電話番号に、もう一度かけ直します。

1. （電話ボタン）をタッチする

2. （タブ）→ をタッチする



直前にかけた電話番号に発信します。

■電話帳から検索して電話をかける

MEMO

- 電話帳は、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り換えると、表示される電話帳の内容も切り換わります。
- 電話帳の読み込み方法は、*「電話帳を本機に読み込む」(153 ページ）参照*

電話帳画面で探して電話をかける

1. （電話ボタン）をタッチする

2. （タブ）→相手先をタッチする



電話帳の詳細画面が表示されます。

3. かけたい番号をタッチする



キーワードで探して電話をかける

1. （電話ボタン）をタッチする

2. （タブ）をタッチする

3. をタッチする



4. キーワードを入力し、［入力終了］をタッチする



キーワードに該当する候補が表示されます。

5. かけたい相手をタッチする



6. かけたい電話番号をタッチする



タッチした電話番号に発信します。

■ワンタッチダイヤルで電話をかける

1. （電話ボタン）をタッチする

2. （タブ）→相手先をタッチする



タッチした相手に発信します。

■発着信履歴から電話をかける

携帯電話から取得した発信履歴、着信 (不在着信含む) 履歴を表示し、電話をかけられます。

MEMO

- 発信 / 着信 / 不在着信の履歴を合わせて 90 件分記憶します。（履歴表示件数はお使いの携帯電話端末や OS のバージョンによって異なります。）
- 本機で発信 / 着信の操作を行った場合は、履歴情報が自動で表示されます。
- 携帯電話で発信 / 着信の操作を行った場合は、履歴情報は自動で表示されません。最新の履歴情報を表示したい場合は、手動で履歴情報を取得することができます。*「電話設定」（186 ページ）参照*
- 携帯電話の設定によっては、発着信履歴を読み込めないことがあります。

1. （電話ボタン）をタッチする

2. （タブ）→かけたい電話番号をタッチする



タッチした電話番号に発信します。

電話を受ける

1. 電話の着信中に をタッチする



電話がつながり、通話中メニューが表示されます。

MEMO

- 電話帳に登録済みの電話番号と一致すると、電話帳に登録された名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況により、発信者の電話番号や名前が表示されないことがあります。
- ステアリングスイッチの発話 / 電話スイッチまたはオフフックスイッチでも電話を受けられます。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできますが、携帯電話によりハンズフリー通話ができない場合もあります。
- 着信中または通話中の音量は、着信中または通話中のみ（音量＋ボタン）と（音量－ボタン）で調整できます。
- 携帯電話によっては、着信と通話（受話）の音量が個別に設定できない場合があります。

電話着信時に SMS で返信する

「電話 +SMS」の接続プロファイルで携帯電話と接続している場合、電話の着信を受けることができないときは、相手先に SMS を送信できます。

ご注意

- iPhone と本機を Bluetooth で接続している場合は SMS の返信は使用できません。

1. 着信中に、送信したいメッセージをタッチする



SMS で返信するメッセージは、あらかじめ以下の 3 つが用意されています。

- [**現在電話に出られません。**]
- [**後でかけ直します。**]
- [**もうすぐ着きます。**]

2. [送信] をタッチする



MEMO

- 「送信しました。」と表示されても、お使いの携帯電話によっては相手に SMS 送信できていない場合があります。
- メッセージはお好みの文章に変更できます。 *「Bluetooth 設定」（185 ページ）参照*

SMS の着信を通知する

「電話 +SMS」の接続プロファイルで携帯電話と接続している場合、携帯電話が SMS を受信すると、本機の画面に受信したことを通知できます。また、SMS の内容を表示したり、読み上げたり、SMS の送信者に電話をかけたりできます。

SMS 着信時の設定について詳しくは *「Bluetooth 設定」（185 ページ）参照*



- 

  SMS の送信者に電話をかけます。
- [**読み上げ**]

  メッセージを読み上げます。
- [**内容**]

  メッセージを表示します。
- [**閉じる**]

  画面を閉じます。

MEMO

- SMS 送信者の電話番号が取得できない場合、SMS の送信者に電話をかけられません。

Apple CarPlay を使う

本機と iPhone を USB または Wi-Fi で接続し、Apple CarPlay を利用することができます。
Apple CarPlay は、iOS 7.1 以降を搭載した iPhone 5 以降の端末に対応しています。

MEMO

- iPhone やアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- Apple CarPlay の使用中は、Bluetooth は使用できません。
- Apple CarPlay の使用中は、自動的にハンズフリーの電話が接続されます。
- HDMI 入力との同時動作については、デバイス機器により出来ない場合があります。

Apple CarPlay でできること

以下に、Apple CarPlay でできることの例をいくつか示します。

できること	操作方法（例）
iPhone の Map を使って目的地を設定する	• 本機の画面をタッチして Map を起動し、Siri で「○○○へ行く」と話す。 • 本機の画面をタッチして Map を起動し、Map をタッチ操作して目的地を検索する。
連絡先に登録されている相手にメッセージを送信する	• 本機の画面で［メッセージ］をタッチし、Siri の誘導に従ってメッセージを送る相手の名前、メッセージの内容を話す。
連絡先に登録されている相手に電話をかける	• Siri で「電話」と発話し、Siri の誘導に従って電話をかける相手の名前を発話する。 • 本機の画面を、iPhone と同様の操作方法でタッチし、「連絡先」などを使って電話をかける。
iPhone の音楽を聴く	• Siri で「○○○を再生する」と話す。 • 本機の画面で［ミュージック］をタッチして希望の曲を聴く。
Apple CarPlay に対応したアプリを利用する	• 本機の画面で利用したいアプリのアイコンをタッチする。

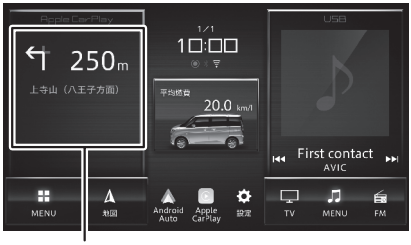
Siri を起動する

Apple CarPlay は、Siri による音声操作が可能です。
iPhone を接続し Siri を起動すると、より安全な走行が可能になります。
次の操作で Siri を起動できます。

- Apple CarPlay 画面の  または  を長くタッチする
- ステアリングスイッチの発話スイッチを押す

ホーム画面に経路誘導を表示する

Apple CarPlay 動作中に iPhone の Map で経路案内しているときは、ホーム画面で次の案内地点までの距離、進行方向、ルート名、車線情報などを表示します。
タッチすると、Apple CarPlay の地図画面が表示されます。



エリア表示

- ボタンにタッチすると、ナビゲーション(内蔵)の地図が表示されます。
- Apple Carplay 中に iPhone 側のアプリでルート案内を開始すると、ナビゲーション(内蔵)のルートはキャンセルされます。

AV 画面の地図表示ボタンについて

Apple Carplay の iPhone 側のアプリでルート案内をしている場合、を押すと iPhone 側のアプリの地図を表示します。
ルート案内をしてない場合、直前に表示していた地図に切り換えるボタンを表示します。タッチすると、それぞれ以下のように動作します。

：ナビゲーション(内蔵)の地図を表示

：iPhone 側のアプリの地図を表示

MEMO

- iPhone にインストールされていても、Apple CarPlay に対応していないアプリは本機で起動できません。
- iOS のアップデートにより、予告なく Apple CarPlay のサービスが終了したり、使用できる機能が変わったりする場合があります。
- Apple CarPlay の「マップ」では、音声案内の音量を音声案内中に変更できます。
- 端末や OS によっては、Apple CarPlay が使用できない、または動作が不安定な場合があります。

準備する

Apple CarPlay を使用するときは、iPhone の Siri 機能をオンにしてください。
また、iPhone で Apple CarPlay の機能制限をしている場合は、解除してください。

■Wi-Fi 接続時

iPhone の準備

iPhone の Wi-Fi と Bluetooth をオンにします。

本機の準備

Apple CarPlay を使うには、次の設定が必要です。

- Wi-Fi 機能をオンにする
- Bluetooth 機能をオンにする

Wi-Fi 機能をオンにする

1. **(ホームボタン)→ (設定)→ (タブ)の順にタッチする**



2. **[Wi-Fi 機能] をタッチして、[ON] にする**



Bluetooth 機能をオンにする

1. **(ホームボタン)→ (設定)→ (タブ)の順にタッチする**



2. **[Bluetooth 機能] をタッチして、[ON] にする**



USB で接続する

1. 本機と iPhone を、iPhone に付属の Lightning ケーブルで接続する

Apple CarPlay の画面が表示されます。



接続中は、ホーム画面および AV メニュー画面に CarPlay アイコンが表示されます。

MEMO

- Apple CarPlay の画面に切り換わらない場合は、ホーム 画面で または AV メニュー画面で [**Apple CarPlay**] をタッチして切り換えてください。

Wi-Fi で接続する

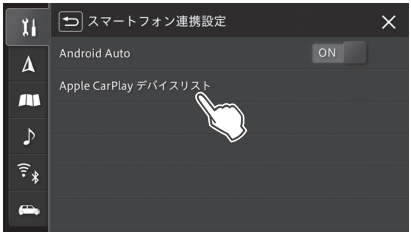
MEMO

- 同時接続台数は 1 台です。

1. (ホームボタン)→(設定)→[スマートフォン連携設定] の順にタッチする



2. [Apple CarPlay デバイスリスト] をタッチする



デバイスリスト画面が表示されます。

3. をタッチする



Apple CarPlay 対応機器の検索が始まります。

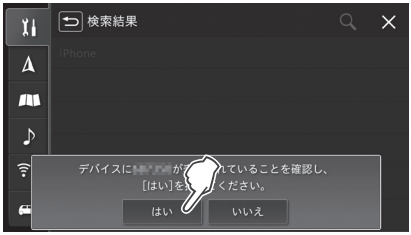
MEMO

- デバイスリスト画面には、登録済の Apple CarPlay 対応機器が表示されます。
- 再接続するには、Apple CarPlay 対応端末の Wi-Fi と Bluetooth をオンにして、登録済の Apple CarPlay 対応機器をタッチします。

4. 登録したい機器をタッチする



5. 本機と Apple CarPlay 対応機器の画面に表示される番号が同じことを確認し、[はい] にタッチする



6. Apple CarPlay 対応機器の画面の指示に従って操作する

接続が始まります。接続が成功すると、Apple CarPlay 画面が表示されます。



接続中は、ホーム画面および AV メニュー画面に CarPlay アイコンが表示されます。

MEMO

- Apple CarPlay の画面に切り換わらない場合は、ホーム 画面で または AV メニュー画面で [**Apple CarPlay**] をタッチして切り換えてください。

登録した Apple CarPlay 機器を消去する

1. (ホームボタン)→(設定)→[スマートフォン連携設定] の順にタッチする



2. [Apple CarPlay デバイスリスト] をタッチする



デバイスリスト画面が表示され、登録済みの Apple CarPlay 対応機器が一覧表示されます。

3. 消去する Apple CarPlay 対応機器の を タッチする



4. [はい] をタッチする



Android Auto を使う

本機と Android 端末を USB で接続して、Android Auto を利用できます。

MEMO

- Android Auto は Android バージョンが 5.0 以降の端末に対応しています。
- Android Auto の使用中は、自動的にハンズフリーの電話が接続されます。

Android Auto でできること

以下に、Android Auto でできることの例をいくつか示します。

できること	操作方法（例）
Android 端末の Map を使って目的地を設定する	• 音声認識機能を使って「○○○へ行く」「近くの○○○」と話す。 • 本機の画面をタッチして地図を起動し、地図画面をタッチ操作して目的地を検索する、またはキーボードで目的地を入力し検索する。
連絡先に登録されている相手にメッセージ（SMS）を送信する	• 音声認識機能を使って「メッセージを送信」と話し、音声認識機能の誘導に従ってメッセージ内容を話す。
連絡先に登録されている相手に電話をかける	• 音声認識機能を使って「電話」と話し、音声認識機能の誘導に従い電話をかける相手の名前を話す。 • 本機の画面をタッチして電話画面から電話をかける。
Android 端末の音楽を聴く	• 音声認識機能を使って「音楽の再生」と話し、「○○○（曲名またはアーティスト名）」と話す。 • 本機の画面をタッチして音楽画面から希望の曲を聴く。

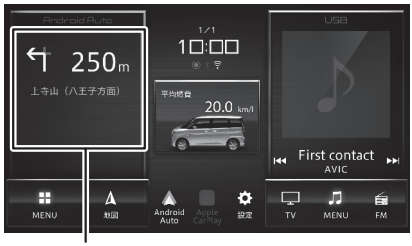
音声認識機能を起動する

Android Auto は、音声認識機能を使っての音声操作が可能です。
音声認識機能を起動すると、より安全な走行が可能になります。
次の操作で音声認識機能を起動します。

- Android Auto の画面で、 をタッチする。
- ステアリングスイッチの発話スイッチを押す。

ホーム画面に経路誘導を表示する

Android 端末の Map で経路案内しているときは、ホーム画面で次の案内地点までの距離、進行方向、ルート名、車線情報などを表示します。
タッチすると、Android Auto の地図画面が表示されます。



表示エリア

- ボタンにタッチすると、ナビゲーション（内蔵）の地図が表示されます。
- Android Auto 中に Android 側のアプリでルート案内を開始すると、ナビゲーション（内蔵）のルートはキャンセルされます。

MEMO

- Android 端末の OS のアップデートや、Android Auto アプリのアップデートにより、Android Auto でできることの内容が変わる場合があります。
- それまで接続プロファイルが「電話」または「電話+SMS」で Bluetooth 接続していたスマートフォン（今回接続する Android 端末以外）との接続は切断されます。
- Android 端末を本機から切断して Android Auto を終了した後も、本機とその Android 端末とのハンズフリーでの Bluetooth 接続は継続されます。
- 端末や OS によっては、Android Auto が使用できない、または動作が不安定な場合があります。

準備する

■Android 端末の準備

Android Auto アプリを Google Play™ などからダウンロードし、Android 端末にインストールします。
詳しくは、Android Auto Help（http://support.google.com/androidauto）を参照してください。

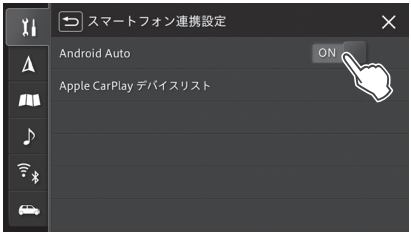
■本機の準備

Android Auto 機能をオンにします。

1. (ホームボタン)→(設定)→[スマートフォン連携設定]の順にタッチする



2. [Android Auto] をタッチして、[ON] にする



接続する

1. 本機と Android 端末をデータ転送用 USB ケーブルで接続する

Android Auto の画面が表示されます。



接続中は、ホーム画面および AV メニュー画面に Android Auto アイコンが表示されます。

MEMO

- 初回接続時のみ、スマートフォン側に表示される内容をスマートフォン側で承諾する操作が必要です。
- Android Auto の画面に切り換わらない場合はホーム画面で または AV メニュー画面で [**Android Auto**] をタッチして切り換えてください。
- (終了) は車種によって表示されるアイコンと名称が異なる場合があります。

[設定] メニューの表示

本機のさまざまな設定を変更できます。

1. （ホームボタン）→ （設定）の順にタッチする



[設定] メニューが表示されます。

システムの設定

[システム設定] メニューで本機全般の設定をします。

1. （ホームボタン）→ （設定）→ （タブ）の順にタッチする



[システム設定] メニューが表示されます。

以下、［システム設定］メニューを使って行う各種設定について説明します。

項目		説明
ディスプレイ設定		画面の明るさやホーム画面の AV エリアの表示位置について設定します。
	画質調整	昼モード、夜モード、それぞれの画面の明るさを 1 ～ 20 の範囲で設定でき、数値が大きいほど明るくなります。 明で増加、暗で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。 昼モードのときに数値を変更すると昼モードの明るさが設定でき、夜モードのときに数値を変更すると夜モードの明るさが設定できます。

項目		説明
	昼夜切り換えモード	画面の明るさの切り換えについて設定します。 • [**イルミ連動**]：車両のライトを点灯すると夜モードの明るさに、消灯すると昼モードの明るさに自動的に切り換わります。 • [**昼モード固定**]：常に昼モードの明るさに固定します。 • [**夜モード固定**]：常に夜モードの明るさに固定します。 MEMO • メーターの明るさが最大に設定されている場合、[**イルミ連動**]を選択しても本機の画面の明るさは昼モードの明るさに固定されます。メーターの明るさ変更方法は、オーナーズマニュアルをご覧ください。
	ホーム画面 AV 表示位置	ホーム画面の AV エリアの表示位置を設定します。 • [**運転席側**]：運転席側に表示します。 • [**助手席側**]：助手席側に表示します。
音量設定		操作音や各種音量に関する設定を行います。
	操作音	操作音を鳴らすかを設定します。 • [**ON**]：操作音を鳴らします。 • [**OFF**]：操作音を鳴らしません。
	案内音	案内音声を鳴らすかを設定します。 • [**ON**]：案内音声を鳴らします。 • [**OFF**]：案内音声を鳴らしません。
	案内音量	案内音声の音量を 1 ～ 16 の範囲で設定でき、数値が大きいほど音量が大きくなります。 [**+**] で増加、[**−**] で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。
	受話音量	ハンズフリー通話時の受話音量を 1 ～ 16 の範囲で設定でき、数値が大きいほど音量が大きくなります。 [**+**] で増加、[**−**] で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。
	着信音量	電話の着信音量を 1 ～ 16 の範囲で設定でき、数値が大きいほど音量が大きくなります。 [**+**] で増加、[**−**] で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。
	音声認識音量	音声認識ガイド音声の音量を 1 ～ 16 の範囲で設定でき、数値が大きいほど音量が大きくなります。 [**+**] で増加、[**−**] で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。
	案内時の AV 音量減衰	ナビゲーションの音声案内が流れるときに、聴いている AV ソースの音量を調整します。 • [**減衰：大**]：AV ソース音量を大きく減衰します。 • [**減衰：小**]：AV ソース音量を小さく減衰します。 • [**減衰しない**]：AV ソース音量を減衰しません。
	カメラ映像表示中の AV 音量減衰 （カメラ接続時のみ表示）	カメラの映像が表示されているときに、聴いている AV ソースの音量を調整します。 [**減衰する**]：AV ソース音量を減衰します。 [**減衰しない**]：AV ソース音量を減衰しません。
	車速連動ボリューム	車の速度に連動して音量を自動調整する感度を設定します。 [**Level 3**]、[**Level 2**]、[**Level 1**]：レベルが大きいほど感度が高くなります。 [**OFF**]：車速に連動して音量を調整しません。
後席モニター映像出力 （後席モニター接続時のみ表示）		後席のモニターに映像を表示するかを設定します。 • [**ON**]：映像を表示します。 • [**OFF**]：映像を表示しません。

項目		説明
スマートフォン連携設定		Apple CarPlay や Android Auto など、スマートフォン連携に関する設定を行います。
	Android Auto	Android Auto を使用するかを設定します。 • ［**ON**］：Android Auto を使用します。 • ［**OFF**］：Android Auto を使用しません。 *「Android Auto を使う」（164 ページ）参照*
	Apple CarPlay デバイスリスト	Apple CarPlay デバイスリストを表示します。 *「Apple CarPlay を使う」（160 ページ）参照*
お気に入り設定		★（お気に入りボタン）をタッチしたときに割り当てる機能を選んで設定します。 ［**未登録**］を選ぶと何も登録されません。 ※お気に入りボタンが未登録の場合、★（お気に入りボタン）をタッチするとお気に入り設定ができます。
画面テーマ切り換え		本機の画面テーマを［**レイヤード**］、［**ベーシック**］、［**クリスタル**］から設定します。
お知らせ設定		車検、定期点検、エンジンオイル交換などさまざまな項目について、お知らせするかを設定できます。日時や時期、距離を指定して、お知らせするタイミングを設定できます。 また、お知らせする項目を 3 件までカスタマイズできます。 *「お知らせ設定の設定項目と条件」（169 ページ）参照*
セキュリティ設定		セキュリティコードを設定します。 • ［**ON**］：セキュリティコードを設定します。任意の 4 桁の数字を 2 回入力します。 • ［**OFF**］：セキュリティコードを解除します。設定時に入力したセキュリティコードを入力します。 セキュリティコードを設定すると、いったん本機を取り外したりバッテリーを交換した後に本機を使用する際に、設定したセキュリティコードの入力が求められます。正しいセキュリティコードを入力しないと本機の使用ができなくなります。 ただし、以下の操作は可能です。 • 全方位モニターの映像表示 • シフトレバーをリバース（R）にしたときのカメラ映像表示 • ＣＤディスク、ＤＶＤディスクの取り出し ※ 設定したセキュリティコードを忘れないよう、記録を取っておいてください。
時計設定		日時や時刻を設定します。
	日付表示形式	日付の表示形式を［**YYYY/MM/DD**］、［**DD/MM/YYYY**］、［**MM/DD/YYYY**］から設定します。
	時刻表示形式	時刻の表示形式を［**12h**］（12 時間表記）または［**24h**］（24 時間表記）から設定します。
	時刻調整	現在の時刻は GPS 衛星の情報に基づいて表示されますが、手動で調整できます。 現在時刻から変更する［**時間**］と［**分**］を選んで［**決定**］をタッチします。 ［**初期値**］をタッチすると、GPS 衛星の情報に基づいた時刻に戻ります。
	映像画面時刻表示	映像ソースを全画面で表示中に時刻を表示するかを設定します。 • ［**ON**］：時刻を表示します。 • ［**OFF**］：時刻を表示しません。

項目		説明
初期化		設定した内容やセンサー学習内容を初期化します。
	センサー学習の初期化	本機の 3D ハイブリッドセンサーが走行状況（距離 / 方位 / 傾斜（3D））を検知して、その結果を学習しています。学習した結果は本機に内蔵のセンサーメモリーに蓄積され、走行を重ねるごとに自車位置の精度が高くなります。 以下の場合は、センサー学習状態のリセットが必要です。 • 本体の取り付け位置や角度を変更した場合または別の車両へ載せ換えた場合 • 測位の誤差が大きくなった場合 • タイヤを交換したあと、しばらく経っても距離誤差が補正されない場合
	工場出荷状態に戻す	各種設定と登録地のデータを消去して工場出荷状態に戻します。
本体情報		本機のシリアルナンバーやソフトウェアバージョンなどを表示したり、ソフトウェアや地図データを更新するときに設定します。
オープンソースソフトウェアライセンス		オープンソースソフトウェアのライセンス情報を表示します。

お知らせ設定の設定項目と条件

お知らせ設定で、設定できる項目と条件は以下のとおりです。

項目	設定する条件	設定可能範囲	お知らせ時期
車検	更新日	—	満了日の 3 ヶ月前と 1 ヶ月前
定期点検	更新日	—	定期点検日の 1 ヶ月前
自動車保険更新	更新日	—	更新日の 1 ヶ月前
免許更新	更新日	—	更新日の 1 ヶ月前
以下の各時期 • エンジンオイル交換 • エンジンオイルフィルター交換 • エアコンフィルター交換 • ワイパーゴム交換 • タイヤローテーション • タイヤ交換 • タイヤ空気圧点検 • エアクリーナーエレメント交換 • ブレーキパッド交換 • ブレーキフルード交換 • バッテリー交換 • クーラント交換 • ミッションオイル交換	走行距離（1,000 km 単位）	1,000 km ～ 30,000 km	設定した距離を走行したとき
	経過時間（1 ヶ月単位）	1 ヶ月～ 36 ヶ月	設定した月が経過したとき
• カスタマイズ① • カスタマイズ② • カスタマイズ③	お知らせ設定のすべての設定項目と同じ条件で設定を追加できます。 **MEMO** • カスタマイズ① / カスタマイズ② / カスタマイズ③の名称は変更できます。カスタマイズ設定画面で [**名称編集**] をタッチすると、名称編集画面が表示されます。名称編集画面で任意の文字を入力して [**入力終了**] をタッチすると、名称が切り換わります。		

ナビゲーションの設定

ナビゲーションに関する設定は、[ナビ機能設定] メニューで行います。

1. （ホームボタン）→ （設定）→ （タブ）の順にタッチする



[ナビ機能設定] メニューが表示されます。

以下、［ナビ機能設定］メニューを使って行う各種設定について説明します。

項目		説明
ルート探索基準		ルートを探索するときの基準を設定します。 •［**推奨**］：ルート学習データなどを元に、到着時刻が最も早いルートを探索します。 •［**距離優先**］：距離が最も短いルートを探索します。 •［**幹線優先**］：幹線道路を優先的に使用するルートを探索します。
ルート探索条件設定		ルートを探索するときの条件を設定します。
	有料道路使用条件	有料道の使用条件を設定します。 •［**標準**］：必要に応じて有料道を使用するルートを探索します。 •［**回避**］：有料道を極力使用しないルートを探索します。
	フェリー使用条件	フェリーの使用条件を設定します。 •［**標準**］：必要に応じてフェリーを使用するルートを探索します。 •［**回避**］：フェリーを極力使用しないルートを探索します。 •［**優先**］：フェリーを優先的に使用するルートを探索します。
	ETC 専用料金所考慮ルート探索	ETC 専用料金所とは、ETC 専用の料金所のことです。 スマート IC は、ETC 専用料金所に含まれます。 スマート IC とは、ETC 専用の簡易インターチェンジのことです。 ETC 専用料金所を乗降 IC の対象とするかを設定します。 •［**ON**］：ETC 専用料金所を考慮してルート探索します。 •［**OFF**］：ETC 専用料金所を考慮せずルート探索します。
	渋滞考慮ルート探索	取得した渋滞情報・規制情報（車線規制や通行止めなど）を考慮してルートを探索するかを設定します。 •［**渋滞情報 / 渋滞予測**］：規制情報、渋滞情報と渋滞予測データを考慮してルートを探索します。 •［**渋滞情報のみ**］：規制情報と渋滞情報を考慮してルートを探索します。 •［**考慮しない**］：規制情報のみを考慮してルートを探索します。
	学習ルート考慮	本機は、よく使う道を過去に通った曜日別（平日または土日祝日）に自動的に記憶します。この学習したルートを考慮してルート探索するかを設定します。 •［**ON**］：学習したルートを考慮してルート探索します。 •［**OFF**］：学習したルートを考慮せずルート探索します。

項目		説明
	時間規制考慮ルート探索	日付や時刻による通行規制を考慮してルート探索するかを設定します。 ・［**ON**］：時間規制情報を考慮してルート探索します。 ・［**OFF**］：時間規制情報を考慮せずルート探索します。
ダイナミックルートガイダンス設定		ダイナミックルートガイダンスとは、ルート案内中に渋滞（交通）情報、通行止め情報やリルート履歴を考慮して新しい候補ルートを提供する機能です。この設定では、新しい候補ルートを提供する際にどんな情報を考慮するかを設定できます。 ・［**すべて考慮**］：規制情報、渋滞情報やリルート履歴を考慮して新しいルートを提供します。 ・［**渋滞情報のみ**］：規制情報と渋滞情報を考慮して新しいルートを提供します。 ・［**考慮しない**］：規制情報のみを考慮して新しいルートを提供します。
ダイナミックルートガイダンス決定方法		ダイナミックルートガイダンスによって新ルートが提供された際、手動でルートの選択をするか、自動的に新ルートでの案内を開始するかを設定します。 ・［**手動モード**］：新ルートと元ルートを手動で選択します。 ・［**自動モード**］：自動的に新ルートで案内を開始し、新ルートで案内していることを音声でお知らせします。
ダイナミックルートガイダンス自動決定ルート		ダイナミックルートガイダンスによって新ルートが提供された際、ルートの選択画面でタッチ操作を一定時間行わなかった場合に、どちらのルートを自動的に選択するかを設定できます。 ・［**元ルート**］：元ルートを選択します。 ・［**新ルート**］：新ルートを選択します。 ※ダイナミックルートガイダンス決定方法を［**手動モード**］に設定したときに設定できます。
到着予想時刻速度（一般道）		一般道走行時の到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。 ［**推奨**］：本機がルートを考慮して自動的に設定した速度で計算します。 ［**20 km/h**］、［**30 km/h**］、［**40 km/h**］、［**50 km/h**］、［**60 km/h**］：選択した速度で計算します。
到着予想時刻速度（有料道）		有料道走行時の到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。 ［**推奨**］：本機がルートを考慮して自動的に設定した速度で計算します。 ［**60 km/h**］、［**80 km/h**］、［**100 km/h**］：選択した速度で計算します。
回避エリア		ルート探索時に回避したいエリアを設定します。 *「回避エリアを登録する」（100 ページ）参照*
案内地点拡大図表示		ルート案内中、案内地点に近づいたときに、案内エリアを拡大して表示するかを設定します。 ・［**ON**］：拡大表示します。 ・［**OFF**］：拡大表示しません。 ※案内地点イラスト表示が［**ON**］のとき、案内地点にイラストデータが格納されている場合はイラスト表示が優先されます。
案内地点イラスト表示		ルート案内中、案内地点に近づいたときに、案内エリアをイラストで表示するかを設定します。 ・［**ON**］：イラスト表示します。 ・［**OFF**］：イラスト表示しません。 ※案内地点にイラストデータが格納されている場合のみ表示されます。

項目	説明
オートズーム	ルート案内中に次の案内地点が地図に表示されるよう、現在地と次の案内地の距離にあわせて地図の表示スケールを 50m から 500m の間で自動的に変更するかを設定します。 •［**ON**］：オートズームします。 •［**OFF**］：オートズームしません。
ルートモニター表示	ルート案内中、ルート上の曲がり角やインターチェンジ、サービスエリアなどの情報を自動表示するかを設定します。 •［**高速道 / 一般道両方**］：高速道路、一般道路とも表示します。 •［**高速道のみ**］：高速道路の場合のみ表示します。 •［**表示なし**］：情報表示しません。
高速道ルートモニター通過時間表示	ハイウェイモードで都市高速、都市間高速、一部の有料道を走行しているときに高速道ルートモニターに表示される各施設までの到着予想時刻の表示を設定します。 ［**残り時間**］：通過までにかかる残りの時間を表示します。 表示例 ○○時間○○分後 ［**通過時刻**］：通過予想時刻を表示します。 表示例 ○○：○○通過
方面看板表示	ルート案内中、一般道走行中に交差点に近づいたときに、方面案内看板を表示するかを設定します。 •［**ON**］：方面案内看板を表示します。 •［**OFF**］：方面案内看板を表示しません。
逆走警告	高速道路上で自車が逆走している状態を検知したときに警告メッセージを表示し、音声で案内するかを設定します。 •［**ON**］：警告メッセージを表示・音声案内します。 •［**OFF**］：警告メッセージを表示・音声案内しません。 **⚠注意** • 逆走警告機能は、状況によって案内しないことや、案内の内容が実際と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。 • 逆走してしまった場合は、直ちに路側帯などの安全な場所に停車してください。路側帯に設置された非常電話などを使って、道路を管轄する管制センターなどからの指示をあおいでください。 MEMO • 以下のような条件等の場合は、逆走していても逆走の警告案内を行わないことや逆走をしていなくても逆走の警告案内を行うことがあります。 ー 本機の地図データに収録されていない道路や、形状が変更された道路を走行しているとき ー IC 付近などの、形状が複雑な道路を走行しているとき ー スマート IC のある SA・PA や、特定の SA・PA 内を走行しているとき ー 地図画面上で表示している自車位置と実際の自車位置が異なるとき ー 周囲に分岐や合流がない本線上で U ターンしたとき ー 車両信号情報が正常でないとき ー ダッシュボードの上に物を置いたなどの影響によって GPS 信号が正常に受信できないとき ー トンネル内や高層ビル群など GPS 信号が正常に受信できないとき ー 警察や道路管理会社の誘導により U ターンしたとき ー 本機が故障しているとき • 逆走の案内は一般道では行われません。

項目	説明
逆走注意案内	高速道路進入時および SA/PA でエンジンを再始動したときに警告メッセージを表示し、音声で案内するかを設定します。 ・［**ON**］：警告メッセージを表示・音声案内します。 ・［**OFF**］：警告メッセージを表示・音声案内しません。 MEMO • 地図画面上で表示している自車位置と実際の自車位置が異なるときは案内しないことがあります。 • 他の案内のタイミングと重なった場合は案内しないことがあります。
ETC レーン案内表示	有料道走行時に ETC レーン案内を表示するかを設定します。 ・［**ON**］：ETC レーン案内を表示します。 ・［**OFF**］：ETC レーン案内を表示しません。
信号機ジャスト案内	ルート案内中、一般道走行中に信号機にさしかかる直前に、音声で案内するかを設定します。 ・［**ON**］：音声案内します。 ・［**OFF**］：音声案内しません。
有料道路料金案内	ルート案内中に、通行にかかった有料道路の料金、またはかかる有料道路の料金を音声で案内するかを設定します。 ・［**ON**］：音声案内します。 ・［**OFF**］：音声案内しません。
県境案内	県境を通過したときに音声で案内するかを設定します。 ・［**ON**］：音声案内します。 ・［**OFF**］：音声案内しません
合流案内	有料道を走行中に、合流地点が近づいたことを音声で案内するかを設定します。 ・［**ON**］：音声案内します。 ・［**OFF**］：音声案内しません。
踏切案内	踏切が近づいたことを音声で案内するかを設定します。 ・［**ON**］：音声案内します。 ・［**OFF**］：音声案内しません。
一時停止位置案内	一時停止する地点が近づいたときに一時停止位置案内アイコンを地図上に表示し、効果音を鳴らすかを設定します。 ・［**ON（音あり）**］：一時停止位置案内アイコンを表示します。効果音が鳴ります。 ・［**ON（音なし）**］：一時停止位置案内アイコンを表示します。効果音は鳴りません。 ・［**OFF**］：一時停止位置案内アイコンを表示しません。効果音は鳴りません。 ※一時停止位置案内アイコンは自車から近い順に最大 3 つまで表示されます。自車位置に一番近い一時停止位置案内アイコンは強調して表示されます。
学校注意案内	教育施設が近づいたことを音声で案内するかを設定します。 ・［**ON**］：音声案内します。 ・［**OFF**］：音声案内しません。
渋滞情報自動案内	渋滞情報を音声で案内するかを設定します。 ・［**ON**］：音声案内します。 ・［**OFF**］：音声案内しません。

項目		説明
AV 画面への割り込み		AV 画面を表示中に割り込み表示させる内容を設定します。 ・［**案内地点表示**］：案内地点拡大図を割り込んで表示します。 ・［**ビーコン情報**］：ビーコン情報や VICS 情報を割り込んで表示します。 ・［**ダイナミックルートガイダンス**］：ダイナミックルートガイダンスによる案内を割り込んで表示します。 ※オフに設定していても、緊急情報やデータ更新メッセージなどが割り込み表示される場合があります。 ※「ビーコン情報」は、ETC2.0 車載器（別売）を接続時のみ選択できます。
ビーコン情報即時表示		受信したビーコン情報や ITS スポットの 5.8 GHz VICS 情報のうち、即時に表示する情報の種類を設定します。 ・［**文字・図形・音声**］：文字情報、図形情報、音声情報を即時表示します。 ・［**文字・図形**］：文字情報と図形情報を即時表示します。 ・［**図形**］：図形情報のみ即時表示します。 ・［**OFF**］：即時表示しません。 ※ ETC2.0 車載器（別売）を接続時のみ設定できます。
ビーコン情報即時表示時間		受信したビーコン情報や ITS スポットの 5.8 GHz VICS 情報の表示時間を設定します。 ［**5 秒**］、［**10 秒**］、［**15 秒**］：設定した秒数で情報を表示します。 ※ ETC2.0 車載器（別売）を接続時かつビーコン情報即時表示の設定が［**OFF**］以外のときに設定できます。
ETC2.0 設定		ETC2.0 を接続したときの条件を設定します。 ※ ETC2.0 車載器（別売）を接続時のみ設定できます。
	アップリンク許可設定	プローブ情報アップリンクの使用を許可するかを設定します。 ・［**ON**］：許可します。 ・［**OFF**］：許可しません。 ※ ETC2.0 車載器（別売）を接続時のみ設定できます。
	ETC 起動時音声案内	ETC 起動時に音声案内をするかを設定します。 ・［**ON**］：音声案内します。 ・［**OFF**］：音声案内しません。 ※ ETC2.0 車載器（別売）を接続時のみ設定できます。
	料金案内設定	ETC 料金所を通過したときに利用料金を表示・音声案内するかを設定します。 ・［**ON**］：利用料金を表示・音声案内します。 ・［**OFF**］：利用料金を表示・音声案内しません。 ※ ETC2.0 車載器（別売）を接続時のみ設定できます。
ETC 設定		ETC を接続したときの条件を設定します。 ※ ETC 車載器（別売）を接続時のみ設定できます。
	ETC 起動時音声案内	ETC 起動時に音声案内をするかを設定します。 ・［**ON**］：音声案内します。 ・［**OFF**］：音声案内しません。 ※ ETC 車載器（別売）を接続時のみ設定できます。
	料金案内設定	ETC 料金所を通過したときに利用料金を表示・音声案内するかを設定します。 ・［**ON**］：利用料金を表示・音声案内します。 ・［**OFF**］：利用料金を表示・音声案内しません。 ※ ETC 車載器（別売）を接続時のみ設定できます。

地図の設定

地図に関する設定は、[地図設定] メニューで行います。

1. （ホームボタン）→（設定）→（タブ）の順にタッチする



[地図設定] メニューが表示されます。

以下、［地図設定］メニューを使って行う各種設定について説明します。

項目	説明
地図種別	地図画面に切り換えたときの表示のしかたを設定します。 ［**2D ヘディングアップ**］/［**2D ノースアップ**］/［**3D マップ**］から設定できます。 また、地図上の方位アイコンをタッチして設定することもできます。*「地図の向きを変える」（46 ページ）参照*
地図色	地図の色を昼夜で切り換えるかを設定します。 ・［**昼夜自動切換**］：車両のライトを点灯すると夜用の色に、消灯すると昼用の色に自動的に切り換わります。 ・「**常に昼色**」：常に昼用の色で表示します。 ・「**常に夜色**」：常に夜用の色で表示します。 MEMO • メーターの明るさが最大に設定されている場合、[**昼夜自動切換**] を選択しても地図色は昼用の色に固定されます。メーターの明るさ変更方法は、オーナーズマニュアルをご覧ください。
走行軌跡表示	車の走行軌跡を表示するかを設定します。 ・［**ON**］：走行軌跡を表示します。 ・［**OFF**］：走行軌跡を表示しません。
走行軌跡消去条件	車の走行軌跡を消去する条件を設定します。 ・［**自宅付近**］：自宅付近でエンジンスイッチをオフにしたときに走行軌跡を消去します。 ・［**電源 OFF**］：エンジンスイッチをオフにしたときに走行軌跡を消去します。 ・［**なし**］：走行軌跡を消去しません。
目的地方向目安線表示	目的地の方向を示す目安線を表示するかを設定します。 ・［**ON**］：目的地方向の目安線を表示します。 ・［**OFF**］：目的地方向の目安線を表示しません。

項目	説明
施設アイコン表示	コンビニ、ガソリンスタンドなどの施設のアイコンを表示するかを設定します。 • [**ON**]：施設アイコンを表示します。 • [**OFF**]：施設アイコンを表示しません。 [**ON**] にすると、どの施設を表示するかをカテゴリから選んで、設定できます。タッチしてチェックマークを付けた施設をアイコン表示します。最大 200 種類まで設定できます。 ※工場出荷時は、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、カーディーラーを表示するように設定されています。
施設アイコン表示スケール	施設アイコンを表示するスケールを設定します。 [**100m スケール以下**]、[**200m スケール以下**]、[**500m スケール以下**]、[**1km スケール以下**]：設定したスケールで施設アイコンを表示します。
登録地マーク簡易表示スケール	登録地マークを地図上に簡易表示するスケールを設定します。 [**500m スケール以上**]、[**1km スケール以上**]、[**2km スケール以上**]：設定したスケールで登録地マークを簡易表示します。 [**簡易表示しない**]：登録地マークを簡易表示しません。
3D ランドマーク表示	ランドマーク施設を立体的な 3D の施設アイコンを表示するかを設定します。 • [**ON**]：3D の施設アイコンを表示します。 • [**OFF**]：3D の施設アイコンを表示しません。
建物立体表示	主要な建物を立体表示するかを設定します。 • [**ON**]：立体表示します。 • [**OFF**]：立体表示しません。
100 m スケール一方通行表示	地図の表示スケールを 100 m スケールにした際に、地図画面に一方通行マークを表示するかを設定します。 • [**ON**]：一方通行マークを表示します。 • [**OFF**]：一方通行マークを表示しません。 ※ 50 m スケール以下は、常時一方通行マークを表示します。
ヒヤリハット地点表示	急停車が頻発する場所や事故多発地点など、運転に注意が必要な地点（「ヒヤリハット地点」）に を地図画面上に表示し、音声案内をするかを設定します。 • [**ON**]：ヒヤリハット地点を表示・音声案内します。 • [**OFF**]：ヒヤリハット地点を表示・音声案内しません。 ※音声案内はルート案内中の場合のみ行います。
冠水注意地点表示	近年多発する集中豪雨により、アンダーパスなど道路が冠水する危険のある地点に を地図画面に表示するかを設定します。 • [**ON**]：冠水注意地点を表示します。 • [**OFF**]：冠水注意地点を表示しません。
ボトルネック踏切表示	「ボトルネック踏切」および「開かずの踏切」を地図上に表示するかを設定します。 • [**ON**]：ボトルネック踏切を表示します。 • [**OFF**]：ボトルネック踏切を表示しません。 ※ボトルネック踏切：踏切交通遮断量（自動車 1 日あたりの交通量× 1 日あたりの踏切遮断時間）が 5 万台時 / 日以上の踏切のこと。 ※開かずの踏切：ボトルネック踏切のうち、ピーク 1 時間あたりの遮断時間が 40 分以上の踏切のこと。 ※開かずの踏切は、赤枠で表示されます。

項目	説明
ゾーン 30 エリア表示	都道府県警によって走行速度が 30 km/h 以下に制限された区域（「ゾーン 30」）を、地図画面に表示するかを設定します。 • ［**ON**］：ゾーン 30 エリアを表示します。 • ［**OFF**］：ゾーン 30 エリアを表示しません。
渋滞情報表示対象道路	取得した渋滞情報を表示する道路種別を設定します。 • ［**有料道 / 一般道**］：渋滞情報を有料道と一般道の両方で表示します。 • ［**有料道のみ**］：渋滞情報を有料道のみ表示します。 • ［**一般道のみ**］：渋滞情報を一般道のみ表示します。 • ［**表示しない**］：渋滞情報を表示しません。
渋滞線 / 混雑線表示	渋滞および混雑している道路を道塗り表示するかを設定します。 • ［**ON**］：道塗り表示します。 • ［**OFF**］：道塗り表示しません。
順調線表示	渋滞していない道路を道塗り表示するかを設定します。 • ［**ON**］：道塗り表示します。 • ［**OFF**］：道塗り表示しません。
統計渋滞 / 混雑線表示	VICS 渋滞情報（統計）で渋滞および混雑している道路を道塗り表示するかを設定します。 • ［**ON**］：道塗り表示します。 • ［**OFF**］：道塗り表示しません。
規制情報表示	規制情報と規制区間を地図画面上に表示するかを設定します。 • ［**ON**］：規制情報を表示します。 • ［**OFF**］：規制情報を表示しません。
気象警報 / 災害エリア表示	気象警報が発令されているエリアや災害エリアを地図画面上に表示するかを設定します。 • ［**ON**］：気象警報 / 災害エリアを表示します。 • ［**OFF**］：気象警報 / 災害エリアを表示しません。
駐車場情報表示	駐車場の有無情報マークを地図表示するかを設定します。 • ［**ON**］：駐車場情報マークを表示します。 • ［**OFF**］：駐車場情報マークを表示しません。
区間旅行時間表示	区間旅行時間マークを地図表示するかを設定します。 • ［**ON**］：区間旅行時間マークを表示します。 • ［**OFF**］：区間旅行時間マークを表示しません。
自車位置修正	現在地画面や走行中の画面で自車位置が正しい位置と異なっている場合に、自車位置を修正できます。 *「自車位置を修正する」（178 ページ）参照*

自車位置を修正する

現在地画面や走行中の画面で自車位置が正しい位置と異なっている場合に、自車位置を修正できます。

1. (ホームボタン)→(設定)→(タブ)→［**自車位置修正**］の順にタッチする



2. 画面をタッチ、ドラッグまたはフリックする

スクロール画面に切り換わります。



MEMO

- ［**微調整**］にタッチすると、カーソル位置を微調整できます。
- ［**詳細**］/［**広域**］をタッチするか画面をピンチアウト/ピンチインするとスケールが変更できます。

3. ［微調整］をタッチする



4. 矢印にタッチしてカーソルを現在地に合わせ、［決定］をタッチする



5. 左右の回転矢印キーにタッチして自車の向きを調整し、［決定］をタッチする



オーディオ・ビデオの設定

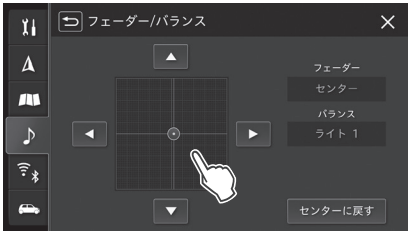
オーディオ・ビデオに関する設定は、[AV 設定] メニューで行います。

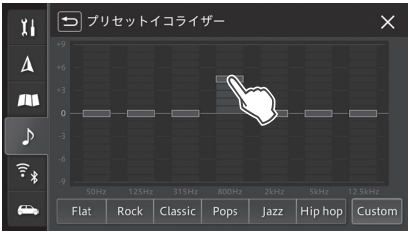
1. **（ホームボタン）→ （設定）→ （タブ）の順にタッチする**



[AV 設定] メニューが表示されます。

以下、［AV 設定］メニューを使って行う各種設定について説明します。

項目	説明
音質設定	音質に関する設定を行います。
フェーダー / バランス	前後左右の音量バランスを調整します。 操作領域にタッチして、前後左右のバランスを調整します。  フェーダー / バランスは、0 ～ 25 の範囲で調整できます。 ◀ / ▲ / ▶ / ▼にタッチしても調整できます。 ［**センターに戻す**］をタッチすると、フェーダー / バランスをセンターに戻します。

項目		説明
	プリセットイコライザー	6 つのファクトリーカーブと 1 つの Custom 設定値からイコライザーカーブを選択できます。 ［**Flat**］：音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。 ［**Rock**］、［**Classic**］、［**Pops**］、［**Jazz**］、［**Hip hop**］：それぞれのジャンルに合わせたイコライザー設定です。それぞれ Level1 ～ Level5 までの効果レベルを設定できます。 ［**Custom**］：お好みの周波数選択とレベル調整を行った値を設定できます。 周波数バーエリアを指でなぞってレベルを調整します。  50 Hz、125 Hz、315 Hz、800 Hz、2 kHz、5 kHz、12.5 kHz から周波数を選べます。0 を基準に± 9 ステップの範囲で調整できます。
	圧縮音源の補正	圧縮音楽の失われた音質をデジタル信号技術で補正・回復します。 ・［**MODE2**］：圧縮率の高い音楽に適した補正をします。 ・［**MODE1**］：圧縮率の低い音楽に適した補正をします。 ・［**OFF**］：圧縮音源を補正・回復しません。
TV 設定		テレビに関する設定を行います。
	画質調整	テレビ画面の明るさ、コントラスト、色合い、色温度を設定します。 ・［**明るさ**］：画面の明るさを 1 ～ 20 の範囲で設定します。数値が大きいほど明るくなります。暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。タッチし続けると、連続して変化します。 ・［**コントラスト**］：画面の明るい部分と暗い部分の輝度の差を調整します。0 を基準に± 10 の範囲で設定できます。低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。タッチし続けると、連続して変化します。 ・［**色合い**］：画面の色合いを調整します。0 を基準に± 10 の範囲で設定できます。■（赤）にタッチすると赤が強くなり、□（緑）にタッチすると緑が強くなります。 ・［**色温度**］：画面の色温度を調整します。0 を基準に± 3 の範囲で設定できます。■（赤）にタッチすると暖色系が強くなり、■（青）にタッチすると寒色系が強くなります。
	地域設定	チャンネルモードがホームモードのときにスキャンする地域を設定します。
	12 セグ / ワンセグ切り換え	視聴中の番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送（12 セグ）とワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。 ・［**オート**］：通常の放送とワンセグを自動的に切り換えます。 ・［**マニュアル**］：通常の放送とワンセグを手動で切り換えます。

項目		説明
	オート放送局サーチ	受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。 ・［**中継局 + 系列局**］：自動で中継局・系列局を探します。 ・［**中継局**］：自動で中継局を探します。 ・［**OFF**］：中継局、系列局は探しません。
	視聴中の中継局サーチ / 番組情報取得	視聴中に中継局サーチ / 番組情報取得をするかを設定します。 ・［**オート**］：一部のチューナーを使用して放送を受信し、受信感度の良い中継局へのサーチや、番組表取得を行います。 ・［**OFF**］：常に全てのチューナーで放送を受信します。 ※視聴中の中継局サーチ / 番組情報取得は車種によっては対応していない場合があります。
	文字スーパー表示	文字スーパーの言語や表示を設定します。 ・［**第 1 言語**］：第 1 言語で表示します。 ・［**第 2 言語**］：第 2 言語で表示します。 ・［**OFF**］：文字スーパーを表示しません。
	イベントリレー	視聴中の番組が別のチャンネルで延長放送されるときに、自動的にチャンネルを切り換えるかを設定します。 ・［**ON**］：自動的にチャンネルを切り換えます。 ・［**OFF**］：自動的にチャンネルを切り換えません。
	緊急警報放送割り込み	テレビソース以外で緊急警報放送を受信した時に、自動でテレビに切り換えるかを設定します。 ・［**ON**］：AV ソースをテレビに切り換えるかの確認メッセージを表示します。 ・［**OFF**］：AV ソースをテレビに切り換えるかの確認メッセージを表示しません。
	視聴者設定クリア	廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録済みの視聴者設定を消去するための設定です。チャンネルおよび番組表、TV 設定が消去されます。
DVD 設定		DVD ビデオの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定できます。
	画質調整	DVD ビデオまたは DVD-VR 再生画面の映像の明るさ、コントラスト、色合い、色温度を設定します。 ・［**明るさ**］：画面の明るさを 1 ～ 20 の範囲で設定します。数値が大きいほど明るくなります。暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。タッチし続けると、連続して変化します。 ・［**コントラスト**］：画面の明るい部分と暗い部分の輝度の差を調整します。0 を基準に± 10 の範囲で設定できます。低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。タッチし続けると、連続して変化します。 ・［**色合い**］：画面の色合いを調整します。0 を基準に± 10 の範囲で設定できます。■（赤）にタッチすると赤が強くなり、■（緑）にタッチすると緑が強くなります。 ・［**色温度**］：画面の色温度を調整します。0 を基準に± 3 の範囲で設定できます。■（赤）にタッチすると暖色系が強くなり、■（青）にタッチすると寒色系が強くなります。

項目		説明
	TV アスペクト	映像の縦横比を設定します。 • [**16:9**]：ワイドモニター（16：9）使用時に選びます。16：9 で収録された画像が 16：9 で表示されます。 • [**レターボックス**]：ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9 で収録された画像の横幅を 4：3 モニターの横幅に合わせて 16：9 の比率で表示します。 • [**パンスキャン**]：ノーマルモニター（4：3）使用時に選びます。16：9 で収録された画像の縦幅を 4：3 モニターの縦幅に合わせて 16：9 の比率で表示します。（左右にはみ出た映像は表示されません。） ※［**レターボックス**］と［**パンスキャン**］はディスクに映像がある場合のみ設定ができます。
	オートプレイ	DVD を挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかを設定します • [**ON**]：自動再生します。 • [**OFF**]：自動再生しません。 ※オンに設定しても、使用するディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。
	字幕言語	字幕言語を設定します（マルチ言語字幕）。 設定したい言語をタッチします。[その他] をタッチすると、言語コード表より、4 桁の数字を入力します。*「言語コード表」（184 ページ）参照* 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクで指定されている言語が設定されます。 ※ディスクにより、選択した言語が優先されない場合があります。
	音声言語	優先して聴きたい音声言語を設定します（マルチ言語）。 設定したい言語をタッチします。[その他] をタッチすると、言語コード表より、4 桁の数字を入力します。*「言語コード表」（184 ページ）参照* 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクで指定されている言語が設定されます。 ※ディスクにより、選択した言語が優先されない場合があります。
	メニュー言語	ディスクのメニュー画面の言語を設定します。 設定したい言語をタッチします。[**その他**] をタッチすると、言語コード表より、4 桁の数字を入力します。*「言語コード表」（184 ページ）参照* 選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクで指定されている言語が設定されます。 ※ディスクにより、選択した言語が優先されない場合があります。
	マルチアングルマーク表示	マルチアングル場面の再生時に表示される、(アングル選択マーク) を表示するかを設定します。 ※この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されたディスクに対して有効です。 • [**ON**]：マルチアングル選択マークを表示します。 • [**OFF**]：マルチアングル選択マークを表示しません。

項目		説明
	視聴制限	暴力シーンなどを含む DVD ビデオには、視聴制限のレベルを設けたものがあります。本機の制限レベルをディスクのレベルよりも小さく設定すると、これらのディスクの視聴を制限できます（パレンタルロック）。 4 桁の暗証番号を入力し、視聴制限のレベルを 1 ～ 8 の範囲で設定します。 視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号を入力してください。 暗証番号を忘れたときは、暗証番号入力画面で ⌫ を 10 回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。
USB ビデオ画質調整		USB ビデオ再生画面の映像の明るさ、コントラスト、色合い、色温度を設定します。 ・［**明るさ**］：画面の明るさを 1 ～ 20 の範囲で設定します。数値が大きいほど明るくなります。暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。タッチし続けると、連続して変化します。 ・［**コントラスト**］：画面の明るい部分と暗い部分の輝度の差を調整します。0 を基準に± 10 の範囲で設定できます。低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。タッチし続けると、連続して変化します。 ・［**色合い**］：画面の色合いを調整します。0 を基準に± 10 の範囲で設定できます。■（赤）にタッチすると赤が強くなり、■（緑）にタッチすると緑が強くなります。 ・［**色温度**］：画面の色温度を調整します。0 を基準に± 3 の範囲で設定できます。■（赤）にタッチすると暖色系が強くなり、■（青）にタッチすると寒色系が強くなります。
HDMI 画質調整		HDMI 映像再生画面の映像の明るさ、コントラスト、色合い、色温度を設定します。 ・［**明るさ**］：画面の明るさを 1 ～ 20 の範囲で設定します。数値が大きいほど明るくなります。■にタッチすると暗くなり、■にタッチすると明るくなります。タッチし続けると、連続して変化します。 ・［**コントラスト**］：画面の明るい部分と暗い部分の輝度の差を調整します。0 を基準に± 10 の範囲で設定できます。■にタッチすると白黒の差が小さくなり、■にタッチすると白黒の差が大きくなります。タッチし続けると、連続して変化します。 ・［**色合い**］：画面の色合いを調整します。0 を基準に± 10 の範囲で設定できます。■（赤）にタッチすると赤が強くなり、■（緑）にタッチすると緑が強くなります。 ・［**色温度**］：画面の色温度を調整します。0 を基準に± 3 の範囲で設定できます。■（赤）にタッチすると暖色系が強くなり、■（青）にタッチすると寒色系が強くなります。

言語コード表

DVD 設定の字幕言語、音声言語、メニュー言語で設定できる言語は以下のとおりです。

言語名（言語コード）	入力コード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語、キャステリャ語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語、フランドル語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語、朝鮮語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブハズ語 (ab)	0102
アヴェスター語 (ae)	0105
アフリカーンス語 (af)	0106
アカン語 (ak)	0111
アムハラ語 (am)	0113
アラゴン語 (an)	0114
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アヴァール語 (av)	0122
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハール語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
バンバラ語 (bm)	0213
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
ボスニア語 (bs)	0219
カタロニア語、バレンシア語 (ca)	0301
チェチェン語 (ce)	0305
チャモロ語 (ch)	0308
コルシカ語 (co)	0315
クリー語 (cr)	0318
チェコ語 (cs)	0319
古代教会スラブ語 (cu)	0321
チュバシ語 (cv)	0322
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ディベヒ語、モルジブ語 (dv)	0422
ゾンカ語 (dz)	0426
エウェ語 (ee)	0505
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フラ語 (ff)	0606
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
ゲール語、スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガリシア語 (gl)	0712
グアラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
マン島語 (gv)	0722
ハウサ語 (ha)	0801

言語名（言語コード）	入力コード
ヘブライ語 (he)	0805
ヒンディー語 (hi)	0809
ヒリ・モトゥ語 (ho)	0815
クロアチア語 (hr)	0818
ハイチ語、ハイチクレオール語 (ht)	0820
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
ヘレロ語 (hz)	0826
インターリングア、国際語 (ia)	0901
インドネシア語 (id)	0904
インターリング、オクツィデンタル (ie)	0905
イボ語 (ig)	0907
四川彝語、ロロ語 (ii)	0909
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
イド語 (io)	0915
アイスランド語 (is)	0919
イヌクティトゥット語 (iu)	0921
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jv)	1022
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
コンゴ語 (kg)	1107
キクユ語 (ki)	1109
クワニャマ語 (kj)	1110
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
クメール語、カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カヌリ語 (kr)	1118
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
コミ語 (kv)	1122
コーンウォル語 (kw)	1123
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
ルクセンブルグ語 (lb)	1202
ガンダ語 (lg)	1207
リンブルフ語、リンブルグ語 (li)	1209
リンガラ語 (ln)	1214
ラーオ語、ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ルバ語、ルバカタンガ語 (lu)	1221
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マーシャル語 (mh)	1308
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラティー語 (mr)	1318
マレー語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ブークモール・ノルウェー語 (nb)	1402
北ンデベレ語 (nd)	1404
ネパール語 (ne)	1405
ンドンガ語 (ng)	1407
ニーノシュク・ノルウェー語 (nn)	1414
ノルウェー語 (no)	1415
南ンデベレ語 (nr)	1418

言語名（言語コード）	入力コード
ナバホ語 (nv)	1422
チェワ語、ニャンジャ語 (ny)	1425
オック語、プロバンス語 (oc)	1503
オジブワ語 (oj)	1510
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
オセット語 (os)	1519
パンジャブ語 (pa)	1601
パーリ語 (pi)	1609
ポーランド語 (pl)	1612
パシュトー語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
ロマンシュ語 (rm)	1813
ルンディ語 (rn)	1814
ルーマニア語、モルダビア語、モルドバ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
サルデーニャ語 (sc)	1903
シンド語 (sd)	1904
北サーミ語 (se)	1905
サンゴ語 (sg)	1907
セルボアクロアチア語 (sh)	1908
シンハラ語 (si)	1909
スロバキア語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
南ソト語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジク語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
ティグリニャ語 (ti)	2009
トルクメン語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
ツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
タヒチ語 (ty)	2025
ウィグル語 (ug)	2107
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ヴェンダ語 (ve)	2205
ベトナム語 (vi)	2209
ボラピュク語 (vo)	2215
ワロン語 (wa)	2301
ウォロフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
イディッシュ語 (yi)	2509
ヨルバ語 (yo)	2515
壮語 (チワン語) (za)	2601
ズールー語 (zu)	2621

Bluetooth/Wi-Fi の設定

Bluetooth/Wi-Fi に関する設定は、[ワイヤレス設定] メニューで行います。

1. **（ホームボタン）→ （設定）→ （タブ）の順にタッチする**



[ワイヤレス設定] メニューが表示されます。

以下、［ワイヤレス設定］メニューを使って行う各種設定について説明します。

項目		説明
Bluetooth 機能		Bluetooth 機能を使うかを設定します。 • ［**ON**］：Bluetooth 機能を使用します。 • ［**OFF**］：Bluetooth 機能を使用しません。
Bluetooth 設定		Bluetooth 機器の登録や設定を行います。
	機器登録 / 消去	Bluetooth 機器の登録や消去を行います。 Bluetooth 機器の登録については*「Bluetooth 機器の登録」（63 ページ）参照* Bluetooth 機器の消去については*「登録した Bluetooth 機器を消去する」（192 ページ）参照*
	待ち受け開始	Bluetooth 機器から本機を検索して登録する場合に設定します。*「本機を待ち受け状態にして Bluetooth 対応機器を登録する」（189 ページ）参照*
	自動接続	本機を起動したときに、最後に接続していた Bluetooth 機器と自動接続するかを設定します。 • ［**ON**］：自動接続します。 • ［**OFF**］：自動接続しません。
	デバイス名変更	本機のデバイス名を設定します。

項目		説明
	電話設定	• 発着信履歴読み込み 接続した携帯電話の発着信履歴を手動で読み込みます。 • 発着信履歴消去 読み込んだ発着信履歴を消去します。 ※接続した携帯電話に保存された発着信履歴は削除されません。 • 電話帳 / 発着信履歴自動読み込み 携帯電話を接続したときに、電話帳と発着信履歴を自動的に読み込むかを設定します。 —［**ON**］：自動で読み込みます。 —［**OFF**］：自動で読み込みません。 • 電話帳並べ替え順序 電話帳の並び順を［**名 / 姓**］または［**姓 / 名**］から設定します。 • SMS メッセージ自動通知 携帯電話への SMS メッセージ着信の通知について設定します。 —［**MODE1 ポップアップ表示 + 自動読み上げ**］： ポップアップ表示に加え、自動的に読み上げます。 —［**MODE2 ポップアップ表示のみ**］： ポップアップ表示します。 —［**OFF**］： SMS メッセージ着信を通知しません。 • SMS 返信メッセージ編集 SMS による返信メッセージを編集できます。メッセージをタッチして編集します。初期値に戻すには［**初期化**］をタッチします。 ※メッセージをすべて削除して入力終了した場合も初期値に戻ります。
Wi-Fi 機能		Wi-Fi 機能を使うかを設定します。 • ［**ON**］：Wi-Fi 機能を使用します。 • ［**OFF**］：Wi-Fi 機能を使用しません。

車両の設定

車両に関する設定は、[車両設定] メニューで行います。

1. （ホームボタン）→（設定）→（タブ）の順にタッチする



[車両設定] メニューが表示されます。

以下、［車両設定］メニューを使って行う各種設定について説明します。
※車種によって、表示される設定項目は異なります。

項目		説明
警告表示設定		車両に関する警告情報やその他異常について、表示するかを設定します。
	警告表示	車両に異常が発生したときのお知らせを表示するかを設定します。 ・［**ON**］：表示します。 ・［**OFF**］：表示しません。
	半ドアお知らせ表示	半ドア状態のお知らせを表示するかを設定します。 ・［**ON**］：表示します。 ・［**OFF**］：表示しません。
	ブレーキ系統異常お知らせ表示	ブレーキ系統に異常がある時のお知らせを表示するかを設定します。 ・［**ON**］：表示します。 ・［**OFF**］：表示しません。
	シートベルト未装着お知らせ表示	シートベルトを正しく締めていないときのお知らせを表示するかを設定します。 ・［**ON**］：表示します。 ・［**OFF**］：表示しません。
	路面凍結注意お知らせ表示	路面が凍結している可能性があるときのお知らせを表示するかを設定します。 ・［**ON**］：表示します。 ・［**OFF**］：表示しません。
	携帯リモコンの電池切れお知らせ表示	車両の鍵（ワイヤレスキー）の電池が切れかかっているときのお知らせを表示するかを設定します。 ・［**ON**］：表示します。 ・［**OFF**］：表示しません。

項目		説明
	燃料切れお知らせ表示	燃料の残量が少なくなったときのお知らせを表示するかを設定します。 • [**ON**]：表示します。 • [**OFF**]：表示しません。
車両カスタマイズ設定		スピードメーターで設定可能な項目の一部を、本機で設定できます。 以下に記載された項目は代表例です。お車の種類により、表示される項目は異なります。
	盗難防止機能	盗難防止機能のモードを［**警報モード（D モード）**］、［**警報なしモード（A モード）**］から設定します。
	ドアロック車外ブザー	車外警報ブザーを鳴らすかを設定します。 • [**ON**]：鳴らします。 • [**OFF**]：鳴らしません。
	アイドリングストップ空調設定	走行時に優先するモードを［**標準**］、［**燃費優先**］、［**快適優先**］から設定します。
コネクテッドサービス		故障の発生や点検の時期などをお知らせするスズキコネクトに関する設定を行います。
	車両情報の送信を許可する	車両情報の送信を許可するかを設定します。 • [**ON**]：車両情報の送信を許可します。 • [**OFF**]：車両情報の送信を許可しません。
	スズキトラブルサポートへ電話する	スズキトラブルサポートへ電話をかけます。
	通知履歴	過去のスズキコネクトの通知を確認、削除できます。

Bluetooth 対応機器との接続

携帯電話、iPhone やスマートフォンなどの Bluetooth 対応機器を本機に接続して、Bluetooth 対応機器の音楽などを再生したり、ハンズフリーでの電話の発着信ができます。

MEMO

- 接続できる機器の最新情報については、ホームページをご覧ください。
- 本機側から Bluetooth 対応機器を検索して登録するには*「Bluetooth 機器の登録」（63 ページ）参照*

本機を待ち受け状態にして Bluetooth 対応機器を登録する

1. Bluetooth 対応機器の Bluetooth 機能をオンにする

2. （ホームボタン）→（設定）→（タブ）の順にタッチする



3. [Bluetooth 設定] をタッチする



4. [待受け開始] をタッチする



5. Bluetooth 対応機器側から接続の操作をする

Bluetooth 対応機器で、本機の名称を探して接続します。

6. [はい] をタッチする



Bluetooth 対応機器によっては、機器側で表示されたパスキーの確認操作が必要です。
登録（ペアリング）が完了すると、プロファイル選択画面が表示されます。

MEMO

- Apple CarPlay 対応端末を登録した場合は Apple CarPlay を開始するかを確認するメッセージが表示されます。[**はい**] をタッチすると Apple CarPlay の接続を開始します。
- 本機の名称は変更可能です。
  上記の画面で［**デバイス名変更**］をタッチし、操作を進めてください。
- Bluetooth 対応機器は、10 台まで登録できます。すでに 10 台登録済みで新たに Bluetooth 機器を登録する場合は、登録済みの Bluetooth 機器を消去してください。

7. 利用したい機能のチェックボックスにタッチしてチェックを入れる



電話：
ハンズフリー通話を行う機器に設定します。
電話＋ SMS：
ハンズフリー通話を行う機器に設定します。
また、SMS 返信機能や SMS 受信通知機能を使うための機器にも設定します。
音楽：
Bluetooth Audio 機器として設定します。
スマートフォンアプリ：
スマートフォンアプリの NaviCon を使用する機器として設定します。

8. [決定] をタッチする

MEMO

- ［電話] と［電話＋ SMS] は同時に使用できません。
- ご使用の機器によっては、機器側で NaviCon アプリが起動していないと［スマートフォンアプリ] の接続ができない場合があります。

使用する Bluetooth 機器を切り換える

本機に 2 台以上の Bluetooth 対応機器を登録してある場合、以下の操作で使用する機器を切り換えます。

1. Bluetooth 対応端末の Bluetooth 機能をオンにする

2. （ホームボタン）→（設定）→（タブ）の順にタッチする



3. [Bluetooth 設定] をタッチする



4. ［機器登録 / 消去］をタッチする



5. 切り換えたい Bluetooth 機器をタッチする

6. Bluetooth 機器で使う機能にチェックを入れ、［決定］をタッチする

「登録した Bluetooth 機器のプロファイルを切り換える」（68 ページ）参照

MEMO

- 現在使用中の Bluetooth 対応機器の切り換えを行うと、発着信履歴などの機器情報も自動的に切り換わります。

登録した Bluetooth 機器を設定する

本機に登録した Bluetooth 機器に接続プロファイルを設定し、何の機能を使う機器なのかを設定できます。

MEMO

- [音楽] と [スマートフォンアプリ] のプロファイルは、[電話] と [電話＋ SMS] のプロファイルとは別に Bluetooth 対応機器を登録して接続できます。
- すでに別の Bluetooth 機器で同じプロファイルを接続していた場合、既存のプロファイルを切断してから新たに選択した Bluetooth 機器でプロファイルを接続します。

1. **Bluetooth 対応端末の Bluetooth 機能をオンにする**

2. **（ホームボタン）→（設定）→（タブ）の順にタッチする**



3. **[Bluetooth 設定] をタッチする**



4. **［機器登録 / 消去］をタッチする**



5. **設定したい Bluetooth 機器をタッチする**



6. **利用したい機能のチェックボックスにタッチしてチェックを入れる**



電話：
ハンズフリー通話を行う機器に設定します。
電話＋ SMS：
ハンズフリー通話を行う機器に設定します。
また、SMS 返信機能や SMS 受信通知機能を使うための機器にも設定します。
音楽：
Bluetooth Audio 機器として設定します。
スマートフォンアプリ：
スマートフォンアプリの NaviCon を使用する機器として設定します。
Apple CarPlay：
Apple CarPlay を使用する機器として設定します。

MEMO

- ［電話］と［電話＋ SMS］は同時に使用できません。

7. ［決定］をタッチする



MEMO

- チェックをすべて外した場合、Bluetooth 機器の接続が解除されます。

登録した Bluetooth 機器を消去する

登録（ペアリング）済みの Bluetooth 対応機器の情報を消去します。

1. （ホームボタン）→ （設定）→ （タブ）の順にタッチする



2. [Bluetooth 設定] をタッチする



3. ［機器登録 / 消去］をタッチする



4. 消去したい Bluetooth 機器の をタッチする



5. ［はい］をタッチする



•

スズキコネクトを使う

車種・タイプ別装備

本機を操作してコールセンターのオペレーターと通話したり、無償修理の通知などを受け取ることができます。

⚠注意	安全のため、走行中の通話はなるべく避けてください。どうしても必要な場合は、いったん安全な場所に駐車するか、周囲の安全を確認してから発着信を行ってください。

ご注意

- 携帯電話の Bluetooth 接続中にコールセンターとの通話を行うと携帯電話の Bluetooth 接続は一旦解除されます。コールセンターとの通話が終了すると携帯電話との Bluetooth 接続は復帰します。
- Apple CarPlay の使用中および Android Auto の使用中にコールセンターとの通話を行うと、Apple CarPlay または Android Auto の使用は解除されます。

MEMO

- スズキコネクトをご利用いただくには別途「スズキコネクト」利用契約と、iPhone およびスマートフォンへの「スズキコネクトアプリ」のインストールが別途必要となります。
- オペレーターとの通話では車両側に搭載されたコールセンター通話専用のマイクとスピーカーが使用されます。

コールセンターに電話する

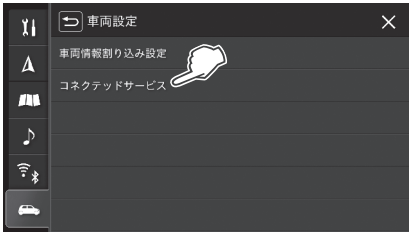
本機を操作してコールセンターに電話をかけてオペレーターと通話することができます。

1. （ホームボタン）→（設定）→（タブ）の順にタッチする



[車両設定] メニューが表示されます。

2. [コネクテッドサービス] をタッチする



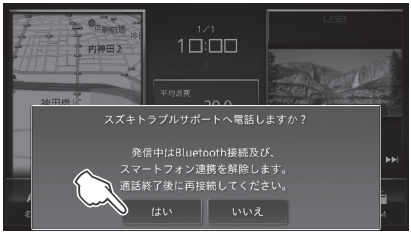
[コネクテッドサービス] メニューが表示されます。

3. [スズキトラブルサポートへ電話する] をタッチする



コールセンター発信確認画面が表示されます。

4. [はい] をタッチする



接続中画面が表示されます。



5. 通話中画面になったら、オペレーターに状況を伝える



6. をタッチして通話を終了する

通知画面を見る

■警告灯通知



警告灯が点灯した場合にコールセンターに通話するためのボタンが表示されます。[コールセンターに電話をかける] にタッチすると電話をかけます。[閉じる] をタッチすると電話をかけずに通知を閉じます。

■その他の通知



無償修理、定期点検、車検、その他の通知が表示されているときは内容を確認して、[閉じる] にタッチします。

MEMO

- 通知は後から通知履歴画面で確認することができ、警告灯通知の場合は通知履歴画面からでもコールセンターに電話をかけることができます。

■通知履歴を見る

受け取った通知は、後から通知履歴画面で確認することができます。

1. （ホームボタン）→ （設定）→ （タブ）の順にタッチする



[車両設定] メニューが表示されます。

2. [コネクテッドサービス] →[通知履歴] をタッチする



通知履歴画面が表示されます。

3. 見たい項目にタッチする



通知内容が表示されます。

カメラについて

車種・タイプ別装備

全方位モニター

4 つのカメラで自車を真上から見ているような映像を本機に表示し、周囲を確認できます。
詳細は、オーナーズマニュアルをご覧ください。

⚠警告	画質の調整をするときは、周囲に何もないような安全な場所で行ってください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

■映像を表示する

全方位モニターボタンを押すか、シフトレバーをリバース（R）の位置にすると、シフトレバーの位置に応じた全方位モニターの表示に切り換わります。



■画質を調整する

全方位モニターを表示中に画質調整ボタンにタッチすると、画質を調整することができます。



明るさ	暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。 （初期設定は 20）
色合い	■（赤）にタッチすると赤が強くなり、■（緑）にタッチすると緑が強くなります。 （初期設定は 00）
コントラスト	低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。 （初期設定は 00）
色温度	■（赤）にタッチすると暖色系が強くなり、■（青）にタッチすると寒色系が強くなります。 （初期設定は 0）

バックアイカメラ

本機にバックアイカメラを接続して、車の後方の映像を表示できます。
詳細は、オーナーズマニュアルをご覧ください。

⚠警告	画質の調整をするときは、周囲に何もないような安全な場所で行ってください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

■映像を表示する

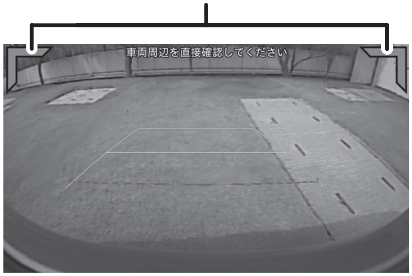
シフトレバーをリバース（R）の位置にすると、車両後方の映像に切り換わります。



MEMO

- 映像表示中に車両が接近物を検知すると、映像上に警告用のインジケータを表示します。

警告表示インジケーター



■画質を調整する

映像表示中に画面をタッチすると、画質を調整することができます。



ガイド線	タッチするたびにガイド線の表示 / 非表示が切り換わります。
明るさ	暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。（初期設定は 20）
色合い	■（赤）にタッチすると赤が強くなり、■（緑）にタッチすると緑が強くなります。（初期設定は 00）
コントラスト	低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。（初期設定は 00）
色温度	■（赤）にタッチすると暖色系が強くなり、■（青）にタッチすると寒色系が強くなります。（初期設定は 0）

MEMO

- [ガイド線] および [警告表示インジケーター] は車のグレードやオプションなどにより、機能の有無があります。

後席専用モニターについて

HDMI® に対応した後席専用モニター（別売）を接続すると、本機で選択中の AV ソースの映像を後席で楽しめます。
後席専用モニター（別売）への映像出力は、オン / オフを設定することができます。工場出荷時は「ON」です。詳しくは*「後席モニター映像出力」（167 ページ）参照*

後席専用モニター（別売）に表示できる映像について

表示できる映像	DTV、DVD-Video/DVD-VR、USB-Video、HDMI
表示できない映像	上記以外の映像

MEMO

- 後席専用モニター（別売）では映像出力のみを行います。ソース選択や画面の操作はできません。操作は本機で行ってください。
- ディスク読み込み中は映像が表示されません。ディスクによっては読み込みに時間がかかる場合がありますので、映像が表示されるまでしばらくお待ちください。
- 後席専用モニター（別売）では走行中 / 停車中にかかわらず映像が表示されます。
- 車種によっては取り付けできない場合があります。後席専用モニター（別売）の詳細は販売店にご相談ください。

ドライブレコーダーとの連携

車種・タイプ別装備

ドライブレコーダー（別売）を接続すると、本機を通してドライブレコーダーの録画ファイルの確認や操作を行うことができます。

MEMO

- ドライブレコーダー（別売）の詳細は販売店にご相談ください。

ドライブレコーダーの録画ファイルを再生する

1. （ホームボタン）→ （MENU）→［ドライブレコーダー］の順にタッチする



2.［録画データ再生］をタッチする



再生リスト画面が表示されます。

3. 再生するファイルをタッチする



選んだファイルが再生されます。



その他

再生リスト画面の操作



キー / 表示	説明
動画 / 保存動画 / 静止画	再生するフォルダーを切り換えます。 ・［**動画**］：録画された動画がはじめに格納されるフォルダーです。 ・［**保存動画**］：［動画］フォルダー内の動画から、保存操作を行った動画が格納されるフォルダーです。 ・［**静止画**］：静止画が格納されるフォルダーです。
	・ ：自動録画された動画を示します。 ・ ：手動で録画した動画を示します。
撮影日時	動画や静止画が記録された日時が表示されます。タッチするとファイルを再生します。
急加速 急減速 / 駐車録画 / ヒヤリハット地点 / 合流地点	・［**急加速 急減速**］：急加速 急減速を検知したときに録画された動画を示します。 ・［**駐車録画**］：駐車中に振動を検知したときに録画された動画を示します。 ・［**ヒヤリハット地点**］：ヒヤリハット地点で録画された動画を示します。 ・［**合流地点**］：合流地点で録画された動画を示します。
絞り込み	ファイルの種類を絞り込んで表示できます。（［**静止画**］選択時を除く）
全消去	現在のフォルダー内のファイルをすべて削除します。 絞り込み表示を行っている場合でも、すべてのファイルを削除します。

再生中の操作



キー / 表示	説明
撮影日時	動画や静止画が記録された日時が表示されます。
緯度・経度	動画や静止画が記録された場所の緯度・経度が表示されます。
	フロントカメラの映像とリアカメラの映像を切り換えて表示します。
	再生中の映像と撮影場所の地図を表示します。 撮影した場所は  で地図に表示されます。  にタッチすると、地図を非表示にします。
	再生を一時停止 / 再開します。
	前後のファイルを再生します。
	早戻し / 早送りします。
	再生中のファイルを［**保存**］フォルダーに保存します。
	再生中のファイルを削除します。
ここを登録する	静止画を記録した場所を登録地に登録します。
ここへ行く	静止画を記録した場所を目的地や経由地に設定します。

手動で録画を開始する / 静止画を撮影する

1. (ホームボタン) → (MENU) → ［ドライブレコーダー］の順にタッチする



2. ［手動録画］または［静止画撮影］をタッチする



［**手動録画**］をタッチすると、動画の録画を開始します。［**手動録画の自動停止時間**］で設定した時間が経過すると録画が自動で停止します。
［**静止画撮影**］をタッチすると、静止画を撮影します。

ドライブレコーダー映像を表示する

1. (ホームボタン) → (MENU) → ［ドライブレコーダー］の順にタッチする



2. ［カメラモニター］をタッチする



［**カメラモニター**］をタッチすると、ドライブレコーダー映像を表示します。音声は出力されません。
をタッチすると、フロントカメラとリアカメラの映像を切り換えて表示します。

ドライブレコーダーを設定する

ドライブレコーダーに関する設定は、［ドライブレコーダー設定］メニューで行います。

1. （ホームボタン）→ （MENU）→［ドライブレコーダー］の順にタッチする



2.［設定］をタッチする



［ドライブレコーダー設定］メニューが表示されます。

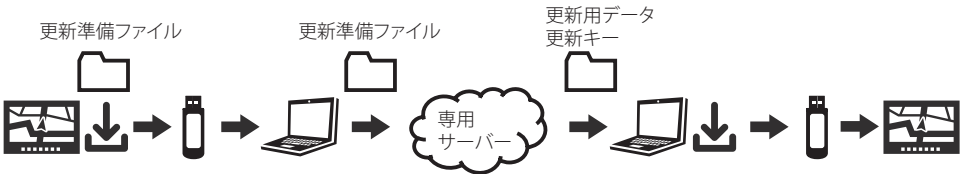
以下、［ドライブレコーダー設定］メニューを使って行う各種設定について説明します。

項目	説明
画質	動画の画質を設定します。 ・［**高画質**］：高画質で録画します。 ・［**標準**］：標準画質で録画します。
画質調整	動画 / 静止画の再生画面の映像の明るさ、コントラスト、色合い、色温度を設定します。 ・［**明るさ**］：画面の明るさを 1 ～ 20 の範囲で設定します。数値が大きいほど明るくなります。暗にタッチすると暗くなり、明にタッチすると明るくなります。タッチし続けると、連続して変化します。 ・［**コントラスト**］：画面の明るい部分と暗い部分の輝度の差を調整します。0 を基準に± 10 の範囲で設定できます。低にタッチすると白黒の差が小さくなり、高にタッチすると白黒の差が大きくなります。タッチし続けると、連続して変化します。 ・［**色合い**］：画面の色合いを調整します。0 を基準に± 10 の範囲で設定できます。■（赤）にタッチすると赤が強くなり、■（緑）にタッチすると緑が強くなります。 ・［**色温度**］：画面の色温度を調整します。0を基準に± 3の範囲で設定できます。■（赤）にタッチすると暖色系が強くなり、■（青）にタッチすると寒色系が強くなります。
音声録音	録画中に音声を録音するかを設定します。 ・［**ON**］：音声を録音します。 ・［**OFF**］：音声を録音しません。

項目	説明
手動録画の自動停止時間	・手動録画開始から停止するまでの時間を［**1 分**］または［**3 分**］から選択します。
急加速・急減速の感度	急加速・急減速を検知する感度を 1 ～ 5 の間で設定します。
急加速・急減速の感知音	急加速・急減速を検知したときにブザーを鳴らすかを設定します。 ・［**ON**］：ブザーを鳴らします。 ・［**OFF**］：ブザーを鳴らしません。
駐車録画	駐車中に振動を検知したときに自動で録画を開始するかを設定します。 ・［**ON**］：自動で録画を開始します。 ・［**OFF**］：自動で録画を開始しません。
駐車録画のお知らせ	駐車録画を行った場合にお知らせするかを設定します。 ・［**ON**］：お知らせします。 ・［**OFF**］：お知らせしません。
駐車録画の感度	駐車中の振動を検知する感度を 1 ～ 5 の間で設定します。
駐車録画の時間	駐車録画の録画時間を［**10 秒**］、［**30 秒**］、［**1 分**］から選択します。
駐車録画の無効時間	ACC オフにした後に駐車録画を行わない時間を［**1 分**］、［**3 分**］、［**5 分**］から選択します。
起動音	ドライブレコーダーの電源がオンになったときにブザーを鳴らすかを設定します。 ・［**ON**］：ブザーを鳴らします。 ・［**OFF**］：ブザーを鳴らしません。
起動音・警告音の音量	起動音と警告音の音量を 1 ～ 5 の間で設定します。
取付調整	加速度センサーのキャリブレーションを行います。
バージョン情報	ドライブレコーダーのソフトバージョンを表示します。
SD カード初期化	SD カードの初期化を行います。
設定初期化	ドライブレコーダー設定を初期化します。
ドライブレコーダータイプ	ドライブレコーダーのカメラの接続に合わせて設定します。 ・［**前のみ**］：フロントにのみカメラを接続している場合に選択します。 ・［**前後**］：フロントとリアにカメラを接続している場合に選択します。

地図 / ソフトウェアの更新

本機の地図のデータは利用開始日から最大 3 年間無料で更新できます。ホームページからデータをダウンロードして更新してください。



ご注意

- 無料期間が過ぎてからの更新は有料となります。また、無料期間が過ぎてから無料期間中の更新用データを取得することはできません。
- 利用開始日は本機を取り外しまたは付け直しを行ってもリセットすることはできません。

無料版地図 / ソフトウェアの更新

以下のステップでバージョンアップを行います。
1 本機から必要なデータをダウンロードする
2 パソコンから更新用データと更新キーをダウンロードする
3 バージョンアップ操作をする

事前準備

- インターネットに接続したパソコン
  - — Windows の対応 OS、対応ブラウザは以下のとおりです。
    - Microsoft® Windows® 10/11
    - Microsoft Edge リリース時点最新版
    - Mozilla Firefox リリース時点最新版
    - Google Chrome リリース時点最新版
  - — Macintosh の対応 OS、対応ブラウザは以下のとおりです。
    - Mac OS X 10.9.2 以降
    - Safari 最新安定版
    - Mozilla Firefox リリース時点最新版
    - Google Chrome リリース時点最新版
  - — 20 GB 以上の空き容量が必要です。
- 市販の USB メモリー
  - — 32GB 以上の USB メモリ（FAT32 または exFAT にてフォーマットされたもの）が必要です。
  - — USB メモリーには更新に必要なデータ以外は保存しないでください。

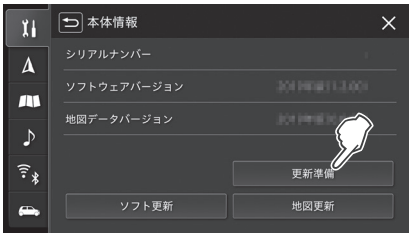
■本機から必要なデータをダウンロードする

1. USB メモリーを本機に接続する

2. （ホームボタン）→ （設定）→［本体情報］の順にタッチする



3.［更新準備］をタッチする



4. ［確認］をタッチする



更新準備ファイルの作成を開始します。

MEMO

- ［**中止**］をタッチすると更新準備ファイルの作成をキャンセルして本体情報画面に戻ります。

5. ［確認］をタッチする



更新準備ファイルが USB メモリーに保存されます。

■ホームページから更新用データと更新キーをダウンロードする

ここからはパソコンを操作します

1. 更新準備ファイルを格納した USB メモリーをインターネットに接続したパソコンに接続する

2. ホームページから更新用データと更新キーをダウンロードする

ダウンロード方法については、ホームページをご覧ください。

■バージョンアップ操作をする

ご注意

- 地図更新をする場合、ソフトウェアが最新に更新されている必要があります。ソフトウェアが最新になっていない場合は必ず地図更新をする前にソフトウェアの更新を行ってください。

ここからは本機を操作します

ソフトウェアを更新する

MEMO

- ソフトウェアのデータが最新の場合は「地図データを更新する」の手順 7 へお進みください。

1. 最新のソフトウェアデータを格納した USB メモリーを本機に接続する

2. （ホームボタン）→ （設定）→［本体情報］の順にタッチする



3. ［ソフト更新］をタッチする



4. ［確認］をタッチする



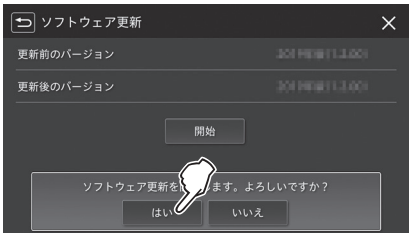
MEMO

- [**中止**] をタッチすると、更新をキャンセルして本体情報画面に戻ります。

5. [開始] をタッチする



6. [はい] をタッチする



ソフトウェア更新を開始します。

MEMO

- [**いいえ**] をタッチすると、更新をキャンセルして本体情報画面に戻ります。

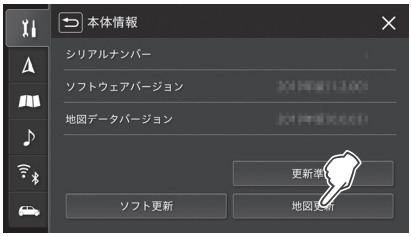
地図データを更新する

7. 最新の地図データを格納した USB メモリーを本機に接続する

8. （ホームボタン）→（設定）→［本体情報］の順にタッチする



9. [地図更新] をタッチする



10. [確認] をタッチする



MEMO

- [**中止**] をタッチすると、更新をキャンセルして本体情報画面に戻ります。

11. [開始] をタッチする



12. [はい] をタッチする



地図更新を開始します。

MEMO

- [**いいえ**] をタッチすると、更新をキャンセルして本体情報画面に戻ります。

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない、動作しない。	エンジンスイッチが ACC またはオンになっていない。	エンジンスイッチを ACC またはオンにしてください。
	周囲の温度が極端に低いまたは高い。	本機は使用温度範囲があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れている可能性があります。お買い求めの販売店にご相談ください。
画面に何も表示されない。	画面オフ状態になっている。	（電源ボタン）にタッチして、画面オフを解除してください。
本機使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	液晶バックライトの故障か、本機の誤動作が考えられる。	いったんお車を安全な場所に停車してエンジンスイッチをオフにし、再度 ACC またはオンにしてください。その後も元に戻らない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	走行中の制限により操作できないタッチキーにタッチしている。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
本機と Bluetooth 対応端末を Bluetooth 接続できない。	Bluetooth 対応端末の登録をしていない。	接続したい Bluetooth 対応端末を本機に機器登録してください。 *「Bluetooth 機器の登録」（63 ページ）参照*
	Bluetooth 対応端末の動作が不安定になっている。	接続したい Bluetooth 対応端末を機器消去した後、再度本機に機器登録してください。 *「登録した Bluetooth 機器を消去する」（192 ページ）参照* *「Bluetooth 機器の登録」（63 ページ）参照* または、Bluetooth 対応端末を再起動してください。
スマートフォン連携ができない。	スマートフォンの動作が不安定になっている。	スマートフォンを再接続してください。または、スマートフォンを再起動してください。
車両のライトを点灯しても画面の明るさが暗くならない。	ディスプレイ設定の「画質調整」で「夜モード」の明るさ設定が最大値になっている。	「画質調整」の設定を変更してください。 *「ディスプレイ設定」（166 ページ）参照*
地図が昼用または夜用のまま変わらない。	地図設定の「地図色」が「常に昼色」または「常に夜色」になっている。	「昼夜自動切換」に変更してください。*「地図色」（175 ページ）参照*
ディスプレイ輝度や地図表示が昼用のまま変わらない。	エンジンスイッチが、イグニッションまたはオンになっていない。	エンジンスイッチをイグニッションまたはオンにしてください。
	メーターの明るさが最大になっている（一部の機種のみ）	メーターの明るさを変更してください。詳しくは車両のオーナーズマニュアルをご確認ください。

ナビゲーション

症状	原因	処置
自車位置を測位できない。	GPS アンテナの上に電波をさえぎる物を置いている。	GPS アンテナの上には何も置かないでください。
自車位置が正しくない (購入直後)。	3D ハイブリットセンサーの学習が不十分な可能性があります。	GPS の受信しやすい場所で、しばらく走行すると精度が向上します。

自車位置がずれる (タイヤ交換直後)。	3D ハイブリットセンサーの学習が交換前のタイヤに最適化されています。	GPS の受信しやすい場所で、しばらく走行すると精度が向上します。 しばらく走行しても精度が向上しない場合は、センサー学習の初期化を実施してください。 *「センサー学習の初期化」（169 ページ）参照*
自車位置が正しくない。	衛星の配置が悪く、正しく測位できません。	しばらく走行を続けてください。自車位置が修正されます。
	3D ハイブリットセンサーが正しく学習されていない。	センサー学習の初期化を実施してください。 *「センサー学習の初期化」（169 ページ）参照*
走行を開始しても地図が動かない。	現在地画面を表示していない。	現在地画面に切り換えてください。
症状	**原因**	**処置**
ナビゲーションの案内音声が出ない。	ナビゲーションの音量設定がオフになっている。	ナビゲーションの音量設定を調整してください。*「音量設定」（167 ページ）参照*
地図上に VICS 情報が表示されない。	VICS 情報は、受信から地図表示まで数分かかることがある。	表示されるまでお待ちください。
	VICS 選局の設定が手動で設定されている。	VICS 選局の設定をオートに設定してください。 *「VICS 放送局を選ぶ」（112 ページ）参照*
ルートが勝手に変更されている。	ダイナミックルートガイダンスが自動モードに設定されている。	交通情報を考慮した最適なルートを設定します。故障ではありません。 ダイナミックルートガイダンスを手動モードに設定すると、元ルートと新ルートを手動で選択できます。
	VICS 情報を受信している。	VICS 情報により、安全のため強制的にルートが変更になる場合があります。

オーディオ共通項目

症状	原因	処置
テレビや DVD などの映像が見られない。	走行中である。	本機は、安全のため走行中にテレビや DVD などの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
音が出ない。	オーディオの音量が 0 になっている。	適切な音量に上げてください。
	ミュートになっている。	ミュートを解除してください。*「各部の名称とはたらき」（16 ページ）参照*
	電源 OFF 状態になっている。	（電源ボタン）にタッチして電源 OFF 状態を解除してください。
ハンズフリー通話の着信時に、一時的にオーディオの音が途切れる。	本機がオーディオの音を消している。	自動的に行われる処理で、故障ではありません。

Apple CarPlay

症状	原因	処置
Apple CarPlay が動作しない。 Apple CarPlay のアイコンが利用可能な状態にならない。	iPhone と本機の接続が正しくありません。	iPhone と本機を正しく接続してください。 *「Apple CarPlay を使う」（160 ページ）参照*
	iPhone の設定が正しくありません。	iPhone の設定を確認してください。
iPhone にインストールしたアプリが動作しない。	Apple CarPlay 対応のアプリではありません。	Apple CarPlay 対応のアプリであることをお確かめの上ご使用ください。

Android Auto

症状	原因	処置
Android Auto が動作しない。Android Auto のアイコンが利用可能な表示にならない。	本機の Android Auto 機能がオフになっている。	Android Auto 機能をオンにしてください。 *「Android Auto を使う」（164 ページ）参照*
	Android 端末と本機の接続が正しくありません。	正しく接続してください。 *「Android Auto を使う」（164 ページ）参照*
	Android 端末の設定が正しくありません。	Android 端末の設定を確認してください。

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してください。 *「ラジオを聴く」（117 ページ）参照*
	周りに障害物があるなど、受信状態が悪くなった。	受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。
	放送局の周波数が合っていない。	正しい周波数に合わせてください。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 *「手動で放送局を選ぶ」（117 ページ）参照*

CD、ROM（WMA/MP3/AAC）

症状	原因	処置
「高温のため再生できません 温度が下がるまでお待ちください」とメッセージが表示されて再生できない。	本機の内部温度が高すぎる。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。
音飛びする / ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている。	やわらかい布でふいてください。
	ディスクに大きなキズやソリがある。	キズやソリのないものに交換してください。
電源を入れた直後、再生が不安定。	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして、約 1 時間乾燥させてください。
ディスクが入らない。	すでにディスクが入っている。	イジェクトボタンを押して取り出してから、ディスクを入れてください。
音楽ディスクのトラック名が表示されない。	Gracenote には対応していない。	トラック名がわからないときは、「Track + トラック番号」と表示されます。

DVD ビデオ /DVD-VR

症状	原因	処置
「高温のため再生できません 温度が下がるまでお待ちください」とメッセージが表示されて再生できない。	本機の内部温度が高すぎる。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。 *「再生できるディスクの種類」（221 ページ）参照*
	ファイナライズされていないディスクを挿入している。	ファイナライズされたディスクを挿入してください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクにより、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合がある。	ディスクメニューを操作して、再生を開始してください。

地上デジタルテレビ

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。
受信できない。	移動により、受信できなくなった。	「エリア」で受信中は、移動により受信可能な放送局に自動的に切り換わります。
番組表が表示されない。	番組表を受信している途中になっている。	番組表が表示されるまでしばらく待つか、[**番組情報取得**] をタッチして最新の番組表を取得してください。
「プリセットチャンネルがありません。」と表示されている。	購入直後や初期設定に戻した場合、プリセットチャンネルリストに登録できる放送局が見つからないことがある。	受信状態の安定した場所に移動して [スキャン] を選択し、チャンネルスキャンを開始してください。 *「受信中の操作」（122 ページ）参照*
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換えます。 *「受信中の操作」（122 ページ）参照*

USB

症状	原因	処置
再生できない。	USB 機器が認識されていない。	USB コネクターを抜き差ししてください。それでも再生できない場合は、新しい USB 機器と交換してください。
	ファイルの形式と拡張子があっていない。	USB オーディオの場合、ファイル形式が WAV、MP3、WMA、AAC、MP2、FLAC のもののみ再生できます。 USB ビデオの場合、ファイル形式が MP4、VOB、AVI、MOV、ASF、WMV、MPEG-2 のもののみ再生できます。 *「本機で再生できる USB メモリー」（214 ページ）参照*

iPod

症状	原因	処置
接続できない。	お使いの iPod が本機に対応していない。	対応機種の最新の情報は、ホームページをご覧ください。
再生できない。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	対応機種の最新の情報は、ホームページをご覧ください。

Bluetooth Audio

症状	原因	処置
再生できない。	Bluetooth 機器登録をしていない。	Bluetooth Audio を使うときは、Bluetooth 機器を本機に機器登録してください。 *「Bluetooth 機器の登録」（63 ページ）参照*
	登録した Bluetooth 機器の設定が音楽機能を使用する設定になってない。	Bluetooth Audio として使用する設定に変更してください。*「登録した Bluetooth 機器を設定する」（191 ページ）参照*
リピートやランダム再生ができない。	Bluetooth 機器がこれらのコマンドを受け付けない場合があります。故障ではありません。	—

カメラ関連

症状	原因	処置
全方位モニターの映像が表示されない。	—	オーナーズマニュアルをご確認ください。

HDMI

症状	原因	処置
HDMI で接続した機器の映像 / 音声が出力されない。	HDMI 機器との接続が正しくできていない。	HDMI ケーブルの接続状態を確認してください。

電話関連

症状	原因	処置
電話できない。	Bluetooth 機器登録をしていない。	電話を使うときは、Bluetooth 機器を本機に機器登録してください。*「Bluetooth 機器の登録」（63 ページ）参照*
	本機に接続されている Bluetooth 機器が使用する Bluetooth 機器と違っている。	使用する Bluetooth 機器に切り換えてください。*「使用する Bluetooth 機器を切り換える」（190 ページ）参照*
	接続するプロファイルが間違っている。	接続するプロファイルを [電話] または [電話 +SMS] に切り換えてください。
	ハンズフリーがオンになっていない。	ハンズフリーをオンにしてください。*「電話をかける」（155 ページ）参照*
会話ができない。	マイクのミュート設定がオンになっている。	マイクのミュート設定をオフにしてください。*「電話をかける」（155 ページ）参照*

ドライブレコーダー

症状	原因	処置
録画した映像に音声が収録されていない。	音声録音の設定が OFF になっている。	音声録音の設定を ON に設定してください。*「音声録音」（202 ページ）参照*
急加速・急減速を検知したときにブザーが鳴らない。	急加速・急減速の感知音の設定が OFF になっている。	急加速・急減速の感知音の設定を ON に設定してください。*「急加速・急減速の感知音」（203 ページ）参照*
	急加速・急減速の感度の設定が低すぎる。	急加速・急減速の感度の設定を高くしてください。*「急加速・急減速の感度」（203 ページ）参照*
駐車中に振動を検知したときに自動で録画が開始されない。	駐車録画の設定が OFF になっている。	駐車録画の設定を ON に設定してください。*「駐車録画」（203 ページ）参照*
	駐車録画の感度の設定が低すぎる。	駐車録画の感度の設定を高くしてください。*「駐車録画の感度」（203 ページ）参照*
駐車録画を行った場合にお知らせがない。	駐車録画のお知らせの設定が OFF になっている。	駐車録画のお知らせの設定を ON に設定してください。*「駐車録画のお知らせ」（203 ページ）参照*
ドライブレコーダーの電源がオンになったときにブザーが鳴らない。	起動音の設定が OFF になっている。	起動音の設定を ON に設定してください。*「起動音」（203 ページ）参照*
ドライブレコーダーの後方の映像が表示されない。（前後 2 カメラタイプのドライブレコーダーを接続しているとき）	ドライブレコーダータイプの設定が [前のみ] になっている。	ドライブレコーダータイプの設定を [前後] に設定してください。*「ドライブレコーダータイプ」（203 ページ）参照*

ETC 関連

症状	原因	処置
ETC 料金などの音声案内がされない。	ETC 音声案内の設定がオフになっている。	ETC 音声案内の設定をオンにしてください。 *「料金案内設定」（174 ページ）参照*
エンジンスイッチが ACC またはオンのときに ETC カード挿入確認案内がされない。	ETC 起動時音声案内の設定がオフになっている。	ETC 起動時音声案内の設定をオンにしてください。 *「ETC 起動時音声案内」（174 ページ）参照*
ETC2.0 サービスのプローブ情報アップリンク機能で情報をアップリンクしたが、高速料金が割引されない。	料金所の料金表示器や ETC2.0 車載器連動ナビには、ETC2.0 サービスを対象とした割引後の料金は表示されない場合があります。 その場合は、後日カード会社などから請求される際に割引が適用されますので、請求内容を確認してください。ETC 関連サービスの請求金額については、ETC 利用照会サービスで確認してください。 http://www.etc-meisai.jp/toll_fare_adjustment_down_cred.html プローブ情報アップリンクの設定がオンになっているか確認してください。 *「アップリンク許可設定」（174 ページ）参照*	

車両情報関連

症状	原因	処置
車両警告情報が表示されない。	本機の警告表示設定がオフになっている。	警告表示設定がオンになっているか確認してください。 *「車両の設定」（187 ページ）参照*
	車両が停車中である。	シートベルト、パーキングブレーキ、半ドアのお知らせは車速と連動しているため、停車中は表示されません。
「車両信号が受信できていません。」とメッセージが表示される。	本機に対し車両通信が正常に行われていない可能性があります。	お買い求めの販売店にご相談ください。

地図 / ソフトウェア更新関連

症状	原因	処置
ホームページから地図 / ソフトウェアの更新用データがダウンロードできない。	更新用データをダウンロードするのに必要な本機の情報が USB メモリーに格納されていない。	もう一度本機の情報を USB メモリーに入れ直してください。*「地図 / ソフトウェアの更新」（204 ページ）参照*
地図 / ソフトウェアの更新ができない。	本機のバージョンがダウンロードした更新用データよりも最新の状態となっている。	現在のバージョンより古いバージョンには更新できません。
地図 / ソフトウェアの更新が途中で止まってしまう。	更新用のデータが壊れている可能性があります。	一度エンジンスイッチをオフにしてから再度 ACC またはオンにしてください。その後も元に戻らない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

本機で再生できる USB メモリー

本機では以下に記載された市販の USB メモリーを使用してください。

記録メディア

USB メモリー 1.1、2.0（lowspeed、fullspeed、highspeed）

記録フォーマット

FAT16、FAT32 、exFAT に対応

拡張子

■音声ファイル

.wav, .mp3, .wma, .m4a, .flac

■動画ファイル

.mp4, .m4a, .m4v, .vob, .avi, .mov, .asf, .wmv, .mpg

※雑音や故障の原因となるため、上記以外の拡張子を付けないでください。

ファイルサイズが 128 GB 未満のファイル

ただし、USB メモリー内のファイルサイズが 1 GB を超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。

ご注意

- USB メモリーに記憶されているデータを本機で編集できません。
- USB メモリーは再生中に本機から外さないでください。
- USB メモリーは市販の USB ハブまたは USB 延長ケーブルを介して接続しないでください。
- USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- 下記の USB メモリーには対応していません。
  - パーティションが複数あるもの
  - 電流が 500 mA を超えるもの
  - パソコンに接続した際、ドライバを要求されるもの
  - セキュリティ機能など特殊な機能が付いているもの
  - パソコンなど、他の USB 機器へ電源供給が可能なもの
- 本機は USB3.0 には対応していません。USB3.0 のものを接続した場合、USB2.0 で動作します。

本機で再生可能な音声ファイルについて

本機では、WAV、MP3、WMA、AAC、FLAC ファイルが記録されたファイルを再生できます。

拡張子が .wav、.mp3、.wma、.m4a、.flac のファイル

（雑音や故障の原因となるため、[.wav]、[.mp3]、[.wma]、[.m4a]、[.flac] 以外の拡張子を付けないでください。）

MEMO

- MP3、WMA、AAC、の VBR ファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。

音楽データの規格について

注）CD=CD-R/CD-RW、USB=USB メモリー

	WAV	MP3	WMA	AAC	FLAC
データの規格、バージョン	LPCM IMA-ADPCM MS-ADPCM A-law/u-law	MPEG1 (Layer3) MPEG2 (Layer3) MPEG2.5 (Layer3)	Standard(v2~v9) Professional (v9,v10) Lossless(v9) Voice(v9)	AAC LC/LTP HE-AACv1 (AAC+) HE-AACv2 (enhanced AAC+)	FLAC(v1.2.1)
ファイル拡張子	.wav	.mp3	.wma	.m4a	.flac
フォルダー名 / ファイル名の最大文字数	CD/DVD：全角 32 文字 / 半角 64 文字 USB：全角 129 文字 / 半角 258 文字				
フォルダー名 / ファイル名の使用可能文字	A ～ Z（全角 / 半角）、0 ～ 9（全角 / 半角）、_（アンダースコア）、全角漢字（JIS 第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角 / 半角）				
最大フォルダー階層	11 階層				
1 フォルダー内の最大ファイル数	999 ※ファイル数 + フォルダー数の合計が 999 以下であること				

※ m3u/MP3i フォーマット /MP3 PRO フォーマット / ディエンファシスには対応していません。
※ DRM（デジタル著作権管理）には対応していません。
※ 著作権保護された音楽ファイルは再生できません。
※ 2 チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
※ ID3 タグバージョン 1、バージョン 2 が混在する MP3 ファイルの場合、バージョン 2 のタグを優先します。

本機で再生可能な動画ファイルについて

本機では、MP4、VOB、AVI 、MOV、ASF、WMV、MPEG-2 ファイルが記録されたファイルを再生できます。

拡張子が .mp4、.m4a、.m4v、.vob、.avi、.mov、.asf、.wmv、.mpg のファイル

（雑音や故障の原因となるため、[mp4]、[.m4a]、[.m4v]、[.vob]、[.avi]、[.mov]、[.asf]、[.wmv]、[.mpg] 以外の拡張子を付けないでください。）

再生可能な動画ファイルについて

	MP4	VOB	AVI	MOV	ASF	WMV	MPEG-2
ファイル拡張子	.mp4/.m4a/.m4v	.vob	.avi	.mov	.asf	.wmv	.mpg
表示可能文字数	DVD：全角 32 文字 / 半角 64 文字 USB　：全角 129 文字 / 半角 258 文字						
フォルダー名 / ファイル名の使用可能文字	A ～ Z（全角 / 半角）、0 ～ 9（全角 / 半角）、_（アンダースコア）、全角漢字（JIS 第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角 / 半角）						
最大フォルダー階層	11 階層						
1 フォルダー内の最大ファイル数	999 ※ファイル数 + フォルダー数の合計が 999 以下であること						

MEMO

- 著作権保護された動画ファイルの映像は再生できません。
- ビットレートが低いと十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート（VBR）で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
- Global Motion Compensation、Quarter-pel MotionCompensation には対応していません。映像が乱れ正しく再生できません。
- 上記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなかったり音飛びやコマ落ちなどが起こったりするおそれがあります。
- 動画ファイルの作成方法については各機器または PC 用アプリケーションの説明書をご覧ください。
- 動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声、映像が乱れたりする場合があります。

再生できるファイルとメディアの種類

本機では、次の条件に合ったファイルを再生できます。

■共通

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USB メモリー
ファイルシステム	ISO9660 level 1 ISO9660 level 2 Romeo, Joliet UDF 1.02/1.50/2.00/ 2.01/2.50		FAT16 FAT32 exFAT
最大フォルダー数	700		999
最大ファイル数	999	3 500	20 000

MEMO

- ファイルをエンコード / ライティングしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。また、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む音楽ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- Windows Media Audio Voice には対応していません。
- パケットライトデータ転送には対応していません。
- フォルダーの選択順序やその他の操作は、エンコードしたソフトウェアおよび書き込んだソフトウェアによって変わってしまうことがあります。
- オリジナルディスクの曲間での無音部分の長さにかかわらず、圧縮オーディオのディスクの再生時は曲間に短い無音部分が生じます。
- ディスクに保存されているオーディオファイルの最大再生時間は 60 時間です。
- フォルダーを含めたファイル名が長い場合や、ファイル名の先頭が「.（ドット）」の場合は、そのファイルは再生できません。

■ MP3

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USB メモリー /MTP
拡張子	.mp3		.mp3
ビットレート	8 kbps ～ 320 kbps (CBR), VBR		
サンプリング周波数	8 kHz ～ 48 kHz (32 kHz/44.1 kHz/48 kHz)		8 kHz ～ 48 kHz
ID3 タグ	Ver.1.0/1.1/2.2/2.3		Ver.1.0/1.1/2.2/2.3/2.4

MEMO

- サンプリング周波数が 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz の MP3 ファイルを再生する場合は、エンファシスに対応します（CD-R/-RW、DVD-R/-RW のみ）。
- 次のファイルには対応していません。
  — MP3i (MP3 interactive)
  — mp3 PRO
  — m3u プレイリスト

■ WMA

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USB メモリー /MTP
拡張子	.wma		
ビットレート	5 kbps ～ 320 kbps (CBR), VBR		4 kbps ～ 385 kbps (CBR), VBR
サンプリング周波数	8 kHz ～ 48 kHz		

■ WAV

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USB メモリー /MTP
拡張子	再生できません。		.wav
シグナルフォーマット			リニア PCM(LPCM)
サンプリング周波数			8 kHz ～ 192 kHz
量子化ビット数			8 ビット /16 ビット /24 ビット /32 ビット /32 ビット (float)

■ AAC

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USB メモリー /MTP
拡張子	.m4a		.m4a
ビットレート	8 kbps ～ 320 kbps (CBR),VBR		
サンプリング周波数	8 kHz ～ 44.1 kHz		8 kHz ～ 96 kHz

■ FLAC

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USB メモリー /MTP
拡張子	再生できません。		.flac
量子化ビット数			8 ビット /12 ビット /16 ビット /20 ビット /24 ビット
サンプリング周波数			8 kHz ～ 192 kHz

MEMO

- サンプリング周波数が 96 kHz を超えるファイルを再生する場合は、48 kHz にダウンコンバートして再生します。

オーディオおよびビデオファイルの互換性

■ DVD-R/-RW

拡張子	.mpeg	.mpg	.dat	.avi
ビデオコーデック	MPEG-2		再生できません。	
オーディオコーデック	MPEG1 Audio Layer2/ MPEG2 Audio Layer2			
最大解像度	720 ピクセル × 576 ピクセル			
最大フレームレート	30 fps			
最大ファイルサイズ	Don't Care(ファイルシステムの規格上最大サイズの規定なし)			

■ USB

拡張子	.mp4/.m4a/ .m4v	.vob	.avi	.mov	.asf	.wmv	.mpg
ビデオコーデック	MPEG-1 MPEG-2 MPEG-4 H.263 H.264	MPEG-1 MPEG-2 MPEG-4 H.264	MPEG-1 MPEG-2 MPEG-4 WMV7,8 VC-1 H.263 H.264	MPEG-1 MPEG-2 MPEG-4 H.263 H.264	MPEG-1 MPEG-2 MPEG-4 WMV7,8 VC-1 H.263 H.264	MPEG-1 MPEG-2 MPEG-4 WMV7,8 VC-1 H.263 H.264	MPEG-1 MPEG-2 MPEG-4 H.264
オーディオコーデック	MP2 MP3 AAC FLAC LPCM ADPCM	MP3 AAC LPCM	MP2 MP3 AAC WMA FLAC LPCM ADPCM	MP2 MP3 AAC FLAC LPCM ADPCM	MP2 MP3 AAC WMA FLAC LPCM ADPCM	MP2 MP3 AAC WMA FLAC LPCM ADPCM	MP3 AAC LPCM
最大解像度	640 ピクセル x 480 ピクセル (WMV7,8) 1 920 ピクセル x 1 080 ピクセル						
最大フレームレート	30 fps						
最大ファイルサイズ	128 GB						

MEMO

- 各ビデオコーデックにおけるプロファイルと最大ビットレートは以下のとおりです。ファイルによっては再生できない場合があります。

ビデオコーデック	プロファイル	最大ビットレート
WMV7、WMV8	—	2Mbps
VC-1	Simple	45Mbps
	Main	45Mbps
	Advanced	45Mbps
MPEG-4	Simple	40Mbps
	Advanced Simple	40Mbps
H.263	P3	20Mbps
H.264 (MPEG-4/AVC)	Baseline	50Mbps
	Main	50Mbps
	High	50Mbps
MPEG-1	—	80Mbps
MPEG-2	Simple	80Mbps
	Main	80Mbps

- 本機の使用状況によっては、正常に再生できない場合があります。
- Android™ 端末を MTP 接続した場合は、オーディオファイルのみ再生できます。ビデオファイルは再生できません。

HDMI 入出力の対応フォーマット

■映像

対応解像度
480p/720p

■音声

フォーマット	対応ビットレート	対応サンプリング周波数
LPCM（2ch）	16 ビット /20 ビット /24 ビット	入力：32 kHz/44.1 kHz/48 kHz/96 kHz 出力：48 kHz

USB メモリーのフォルダー構成

USB メモリーのデータを認識できる階層は、ルートを除く 11 階層までです。この階層内にある以下のデータのみが認識されます。
音楽ファイル：WAV, MP3, WMA, AAC, FLAC
動画ファイル：MP4, VOB, AVI, MOV, ASF, WMV, MPEG-2
何階層目にデータを置かなければならないという指定はありません。
フォルダー名、ファイル名の文字数合計は全角・半角ともに 250 文字以内にしてください。

MEMO

- 音楽ファイルとして WAV, MP3, WMA, AAC, FLAC を含まないフォルダーは認識されません。
- 動画ファイルとして MP4, VOB, AVI, MOV, ASF, WMV, MPEG-2 を含まないフォルダーは認識されません。
- USB メモリーは、11 階層（ルートディレクトリを除く）までのファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダーを持つ場合は再生が始まるまでに時間がかかります。
- 1 つのフォルダーに 1 000 以上のファイルが入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるファイルは変わります。
- 1 つのフォルダーに認識可能なファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるファイル数が少なくなることがあります。
- 認識可能な最大ファイル数は以下のとおりです。
  - デバイス内最大ファイル数：20 000
  - フォルダー内最大ファイル数：999

本機で MP3・WMA を再生するためのご注意

- 最大数を超えてフォルダー・ファイル・トラックが記録されている場合、超過しているフォルダー・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダーおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- MP3・WMA のファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WM など）が残る場合があります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります。）
- 著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

再生できるディスクの種類

CD や DVD などのディスクを使う場合は、以下の内容をよく確認して、本機で再生できるディスクを使ってください。

再生できるディスクの種類とマーク

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。
本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

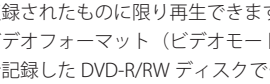
DVD ビデオ



CD



- 8 cm ディスクは再生できません。
- DVD オーディオディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクにより、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RW DL（2 層式）（ビデオモード /VR モード）で記録されたディスクにも対応しています。
- DVD-R/RW ディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード /VR モード）で記録されファイナライズされたもの、および WMA/MP3/AAC ファイルが収録されたものに限り再生できます。
- ビデオフォーマット（ビデオモード /VR モード）で記録した DVD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRA は、音楽 CD として再生できます。
- コピーガード機能付き CD（Copy Control CD など）は正式な CD 規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていない CD-R/RW および DVD-R/RW（VR を含む）ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RW および DVD-R/RW（VR を含む）ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音された CD-R/RW ディスクは再生できません。
- 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などにより再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VR モード）で記録された DVD-R/RW ディスクの再生に対応していることを示しています。



■ハイビジョン画質（AVCHD/AVCREC 規格）で記録されたディスク

- 本機は、AVCHD/AVCREC に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD/AVCREC 規格で記録されたディスクは入れないでください。

■「DualDisc」の再生

●「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
●「DualDisc」の DVD 面は再生可能です。
● DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないため再生できないことがあります。
●「DualDisc」を再生機器に挿入したり、取り出したりするときに再生面の反対側の面にキズが付く場合があります。キズが付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
● ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
●「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

お手入れ

本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

- 本体をお手入れするときは、やわらかい乾いた布で軽く拭いてください。
  汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量つけて軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。
  ※本体のお手入れをする際、ベンジンやシンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどは絶対に使用しないでください。火災の原因になる可能性があります。
- 液晶表示部は、ホコリが付きやすいので、ときどきやわらかい布で拭いてください。

主な仕様

共通部

使用電圧　：DC14.0 V（10.0 V ～ 16.0 V 使用可能）
最大消費電流：12 A
アース方式　：マイナスアース方式
使用温度範囲：**【ナビ部】**
－ 30 ℃～＋ 80 ℃
【CD&DVD 部】
－ 20 ℃～＋ 70 ℃

GPS 部

受信方式　：72 チャンネルマルチチャンネル受信方式

モニター部

画面サイズ　：9 インチ
画素数　：2 764 800 画素
［水平 1280 X 垂直 720 X 3（RGB）］
方式　：TFT アクティブマトリクス方式
バックライト：LED 光源

オーディオ部

最大出力　：30 W × 4
負荷インピーダンス：4 Ω
7 バンドグラフィックイコライザー：
全チャンネル共通
周波数：50/125/315/800/2 k/5 k/12.5 k[Hz]
調整幅：± 9 dB(1 dB/step)
デコーダー　：リニア PCM

外部入出力

【HDMI 部】
入力部：1 系統
出力部：1 系統

DVD プレーヤー部

リージョン No.：2
対応メディア：DVD（VIDEO MODE、VR MODE）、DVD-R、DVD-R（DL）、DVD-RW、CD-R/RW、CD-DA、CD-TEXT
デコーディングフォーマット：MP3、WMA、AAC
周波数特性：
（DVD 値）　：17 Hz/1 kHz（0 dB +0/ － 8.0 dB）、20 kHz/1 kHz（－ 1.0 dB ± 4.0 dB）
（CD 値）　：17 Hz/1 kHz（0 dB +0/ － 8.0 dB）、20 kHz/1 kHz（－ 1.0 dB ± 4.0 dB）
S/N：
（DVD 値）　：65 dB 以上（1 kHz）（JIS-A）
（CD 値）　：65 dB 以上（1 kHz）（JIS-A）
高調波歪率　：0.5 % 以下（1 kHz) (20 kHz LPF）

FM チューナー部

受信周波数帯域：76.0 MHz ～ 99.0 MHz(0.1 MHz/step)
音声　：ステレオ

AM チューナー部

受信周波数帯域：522 kHz ～ 1 629 kHz（9 kHz/step）
音声　：モノラル

地上デジタル TV チューナー部

放送方式　：地上デジタル放送方式
受信周波数帯域：470 MHz ～ 710 MHz
受信チャンネル：13ch ～ 52ch

USB 部

対応メディア：USB2.0 High Speed
最大電流　：1.5 A(type-A)
ファイルシステム　：FAT(FAT16)/FAT32/exFAT

Bluetooth 部

Bluetooth バージョン：4.2
出力（BR/EDR）：最大 0 dBm（Power class2）

Wi-Fi 部

対応規格　：IEEE 802.11 b/g/n（2.4 GHz のみ）
対応チャンネル：1/6/11 [ch]
セキュリティ方式：WEP / WPA（Personal）/ WPA2（Personal）/ WPA3（Personal）
出力　：最大 +18 dBm

商標について

- 本機は、電波法に基づく工事設計認証を取得しています。

   R 007-AG0081

- Dolby、ドルビー、Dolby Audio 及びダブルD 記号は Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。ドルビーラボラトリーズの実施権に基づき製造されています。
- Microsoft、Excel、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国および／またはその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国Microsoft Corporationが所有する技術を使用しています。また、米国Microsoft Licensing Inc.の許可を得ずに使用または頒布できません。
- Apple、iPhone、iTunes、SiriおよびLightningは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。日本におけるiPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- IOS は米国その他の国におけるCisco の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Siri はマイクを通して機能します。
- Firefoxは、Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Google、Android、Google Play、Google Chrome、およびその他のマークは Google LLC の商標です。
- 「VICS」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- *Bluetooth*®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。パイオニア株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。



- ESP®はDaimler AGの登録商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
-  はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。



- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- WPA™、WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- Copyright © 2008 FUJISOFT Inc. All rights reserved.
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、別途規定されている場合を除いて、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。

Bluetooth について

Bluetooth（ブルートゥース）とは

Bluetooth とは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器どうしで通信を行います。
本機では、Bluetooth に対応した携帯電話、スマートフォンおよびオーディオ機器を接続して利用できます。

MEMO

- Bluetooth の各機能を使用するには、下記プロファイルに対応した携帯電話が必要となります。
  - ハンズフリー通話：HFP（Hands-Free Profile）
  - SMS (Short Message Service)：MAP (Message Access Profile)
  - 電話帳を一括ダウンロード：PBAP（Phone Book Access Profile）
  - 電話帳の転送：OPP（Object Push Profile）
  - オーディオ：A2DP（Advanced Audio Distribution Profile：高度オーディオ配信プロファイル）、AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile：オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル）
- Bluetooth 対応機器を本機とともに使用するには、あらかじめ本機に登録（ペアリング）する必要があります。*「Bluetooth 機器の登録」（63 ページ）参照*
- Bluetooth プロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

Bluetooth 機器の取り扱いについて

・本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。

・下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

＊分解/改造すること。

＊本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

・本機の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジなど）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

＊無線LANを利用したAV機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声がとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

・その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

＊火災報知機・ワイヤレスＡＶ機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）

＊工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム

＊マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー

＊自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）

＊自動制御機器・その他、Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通網システム）

＊アマチュア無線局など

お車を廃棄・譲渡・転売するときは

お車を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

本機内のデータ消去について

本機を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータを、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■著作権保護のために

メモリー内に保存されたデータを初期化（データの消去）してください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡（有償および無償）・転売されますと、著作権法に抵触するおそれがあります。弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去（初期化）する

本機に保存されたデータをすべて消去（初期化）します。

- データの消去（初期化）のしかたについては*「初期化」（169 ページ）参照*

ナビゲーションの地図データをご利用いただくにあたって

本機に収録されたデータベースやルート探索時の注意事項です。

検索におけるデータベース

場所を探すベースとなっているデータにより、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れる場合があります。

■タウンページデータ

- NTT タウンページを基に位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

■自然物に関するデータ

施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

■ロゴマーク表示

ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なる場合があります。

■営業時間考慮

営業時間を考慮するのは ATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。

ルートに関する注意事項

■ルート探索の仕様

ご注意

- ルート探索をすると、自動的にルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の道路標識、交通状況にしたがって走行してください。
- 冬期通行止めなどには一部対応していない場所もあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。最適とは限りません。
- ルート探索は 100 m スケールの地図に表示される道路を対象としています。シティマップにだけ表示される道路は対象外です。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運航している場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路はルート探索の補助手段であり、長距離航路は対象外です。
- すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるとは限りません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定済みのルートで使用する入口 / 出口により、乗降 IC（インターチェンジ）を指定できない場合があります。

■ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。

● 渋滞考慮ルート、有料道回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
● 異なる条件で探索した結果、同じルートを提案する場合があります。
● 場所によりルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近を経由地に設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100 m スケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

■ルートの道塗り

● 道路形状により、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
● 出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。このため、経由地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

■音声案内

● オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内しません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常どおり案内します。
● 有料道のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

■案内地点拡大図

● 案内地点拡大図は、交差点とその約 150 m 手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状により、ヘディングアップにならない場合があります。

■ルート候補選択画面での有料料金

● 特殊な料金体系の有料道では、正しい料金が表示されない場合があります。
● 一般有料道に関しては、一部路線のみ対応しています。
● 有料道上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道上に目的地や出発地を設定したときは、有料道を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
● 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
● 有料料金は改定されることがあるため、あくまで目安として使ってください。

■オートリルート

時間規制のある道路を通過しないと目的地、経由地に到達できない場合は、規制を無視するかの確認メッセージが表示されます。規制を無視した場合、新しいルートを引くまで規制を無視し続けます。

VICS 情報に関する注意事項

■ FM 多重放送

● VICS センターからの FM 多重放送を使用した VICS および VICS WIDE 情報は、NHK-FM の FM 多重放送の電波により提供されます。
● 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
● 放送時間は、放送局により異なります。VICS センター情報などで確認してください。

■ビーコン

● ETC2.0 ユニット（別売）を接続している場合、有料道の高架下の一般道を走行中に、有料道のビーコンを受信することがあります。
● 大型車と並走しているときなどは、ビーコンを受信できないことがあります。

■ VICS センターのお問い合わせ先

VICS の概念、計画、または FM 多重放送・ビーコンにより提供される VICS 情報については、VICS センター（一般財団法人道路交通情報通信システムセンター）に問い合わせてください。

VICS センター　お客様相談窓口
電話番号：0570-00-8831（PHS、IP 電話等からはご利用できません）
受付時間：平日　9：30 ～ 17：45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）
FAX 番号：03-3562-1719（24 時間受付）
URL：https://www.vics.or.jp/

収録データベースに関する注意事項

収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は補償するものではありません。

■交通規制データ

- 本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれていません。あらかじめご了承ください。

■地図データ

- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

MEMO

- シティマップ（詳細市街地図）収録エリア、ハイウェイモード対象路線、VICS サービスエリア、収録件数や各種データの調査時点などの情報につきましては、ホームページの「ナビゲーション取扱説明書補足」をご覧ください。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（撹乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）
第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第 12 条　1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章　料金

（料金の支払い義務）
第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章　保守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第 15 条　1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第 17 条　1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表　視聴料金

視聴料金：330 円（税込み）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

テレビ / ラジオの受信について

- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。
- 放送方式（12 セグ / ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、音がとぎれたり、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- ラジオやテレビの受信は受信環境によって、電波の強さの変化、障害物や他電波などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
  - トンネル内に入ったり、放送局から遠ざかったりすると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなったりする場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
  - 電車の架線、高圧線、ラジオやテレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入ったりする場合があります。
  - 一部の地域において、ラジオやテレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
  - 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけたりすると、受信状態が悪くなります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
  - ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなどが動作すると受信状態が悪化する場合があります。

初期設定一覧

各項目の初期設定は以下のとおりです。

システム設定

ディスプレイ設定

画質調整
　明るさ＝昼：[20] 夜：[7]
昼夜切り換えモード＝ [イルミ連動]
ホーム画面 AV 表示位置＝ [運転席側]

音量設定

操作音＝ [ON]
案内音＝ [ON]
案内音量＝ 8
受話音量＝ 8
着信音量＝ 8
音声認識音量＝ 8
案内時の AV 音量減衰＝ [減衰：小]
車速連動ボリューム＝ [OFF]

後席モニター映像出力

後席モニター映像出力＝ [ON]
※後席専用モニター接続時のみ表示されます。

スマートフォン連携設定

Android Auto ＝ [ON]
Apple CarPlay デバイスリスト＝設定されていません。

お気に入り設定

[未登録]

画面テーマ切り換え

[—]
※「レイヤード」、「ベーシック」、「クリスタル」の画面テーマは車種により初期値が異なります。

システム設定

お知らせ設定

車検＝ [OFF]
定期点検＝ [OFF]
自動車保険更新＝ [OFF]
免許更新＝ [OFF]
エンジンオイル交換＝ [OFF]
エンジンオイルフィルター交換＝ [OFF]
エアコンフィルター交換＝ [OFF]
ワイパーゴム交換＝ [OFF]
タイヤローテーション＝ [OFF]
タイヤ交換＝ [OFF]
タイヤ空気圧点検＝ [OFF]
エアクリーナーエレメント交換＝ [OFF]
ブレーキパッド交換＝ [OFF]
ブレーキフルード交換＝ [OFF]
バッテリー交換＝ [OFF]
クーラント交換＝ [OFF]
ミッションオイル交換＝ [OFF]
カスタマイズ①＝ [OFF]
カスタマイズ②＝ [OFF]
カスタマイズ③＝ [OFF]

セキュリティ設定

[OFF]

時計設定

日付表示形式＝ [yyyy/mm/dd]
時刻表示形式＝ [24h]
時刻調整＝ [0 hr、0 min]
映像画面時刻表示＝ [ON]

ナビ機能設定

ルート探索基準＝ [推奨]
ダイナミックルートガイダンス設定＝ [すべて考慮]
ダイナミックルートガイダンス決定方法＝ [手動モード]
ダイナミックルートガイダンス自動決定ルート＝ [元ルート]
到着予想時刻速度（一般道）＝ [推奨]
到着予想時刻速度（有料道）＝ [推奨]
案内地点拡大図表示＝ [ON]
案内地点イラスト表示＝ [ON]
オートズーム＝ [OFF]
ルートモニター表示＝ [高速道のみ]
高速道ルートモニター通過時間表示＝ [通過時刻]
方面看板表示＝ [ON]
逆走警告＝ [ON]
逆走注意案内＝ [ON]
ETC レーン案内表示＝ [ON]
信号機ジャスト案内＝ [ON]
有料道路料金案内＝ [ON]
県境案内＝ [ON]
合流案内＝ [ON]
踏切案内＝ [ON]
一時停止位置案内＝ [ON（音あり）]
学校注意案内＝ [OFF]
渋滞情報自動案内＝ [ON]
AV 画面への割り込み＝ [ON]
ビーコン情報即時表示＝ [文字・図形・音声]
ビーコン情報即時表示時間＝ [10 秒]

ルート探索条件設定

有料道路使用条件＝ [標準]
フェリー使用条件＝ [標準]
ETC 専用料金所考慮ルート探索＝ [ON]
渋滞考慮ルート探索＝ [渋滞情報 / 渋滞予測]
学習ルート考慮＝ [ON]
時間規制考慮ルート探索＝ [ON]

ETC2.0 設定

アップリンク許可設定＝ [許可]
ETC 起動時音声案内＝ [ON]
料金案内設定＝ [ON]

ETC 設定

ETC 起動時音声案内＝ [ON]
料金案内設定＝ [ON]

地図設定

地図種別＝ [2D ヘディングアップ]
地図色＝ [昼夜自動切換]
走行軌跡表示＝ [OFF]
走行軌跡消去条件＝ [なし]
目的地方向目安線表示＝ [ON]
施設アイコン表示＝ [OFF]
施設アイコン表示スケール＝ [1km スケール以下]
登録地マーク簡易表示スケール＝ [簡易表示しない]
3D ランドマーク表示＝ [ON]
建物立体表示＝ [ON]
100m スケール一方通行表示＝ [OFF]
ヒヤリハット地点表示＝ [ON]
冠水注意地点表示＝ [ON]
ボトルネック踏切表示＝ [ON]
ゾーン 30 エリア表示＝ [OFF]
渋滞情報表示対象道路＝ [有料道 / 一般道]
渋滞線 / 混雑線表示＝ [ON]
順調線表示＝ [OFF]
統計渋滞 / 混雑線表示＝ [ON]
規制情報表示＝ [ON]
気象警報 / 災害エリア表示＝ [ON]
駐車場情報表示＝ [ON]
区間旅行時間表示＝ [ON]

AV 設定

音質設定

フェーダー / バランス
　フェーダー＝ [センター]
　バランス＝ [センター]
プリセットイコライザー＝ [Flat]
　補正レベル＝ Level4
　※［Flat］に補正レベルはありません。
圧縮音源の補正＝ [OFF]

TV 設定

画質調整
　コントラスト＝昼：[00] 夜：[00]
　明るさ＝昼：[20] 夜：[7]
　色合い＝昼：[00] 夜：[00]
　色温度＝昼：[0] 夜：[0]
地域設定＝設定されていません。
12 セグ / ワンセグ切り換え＝ [オート]
オート放送局サーチ＝ [中継局 + 系列局]
視聴中の中継局サーチ / 番組情報取得＝ [オート]
※視聴中の中継局サーチ / 番組情報取得は車種によっては対応していない場合があります。
文字スーパー表示＝ [第 1 言語]
イベントリレー＝ [OFF]
緊急警報放送割り込み＝ [ON]

AV 設定

DVD 設定

画質調整
　コントラスト＝昼：[00] 夜：[00]
　明るさ＝昼：[20] 夜：[7]
　色合い＝昼：[00] 夜：[00]
　色温度＝昼：[0] 夜：[0]
TV アスペクト＝ [16：9]
オートプレイ＝ [OFF]
字幕言語＝ [日本語]
音声言語＝ [日本語]
メニュー言語＝ [日本語]
マルチアングルマーク表示＝ [ON]
視聴制限＝ [8]

USB ビデオ画質調整

画質調整
　コントラスト＝昼：[00] 夜：[00]
　明るさ＝昼：[20] 夜：[7]
　色合い＝昼：[00] 夜：[00]
　色温度＝昼：[0] 夜：[0]

HDMI 画質調整

画質調整
　コントラスト＝昼：[00] 夜：[00]
　明るさ＝昼：[20] 夜：[7]
　色合い＝昼：[00] 夜：[00]
　色温度＝昼：[0] 夜：[0]

ワイヤレス設定

Bluetooth ＝ [ON]
Wi-Fi ＝ [OFF]

Bluetooth 設定

機器変更 / 消去＝設定されていません。
待ち受け開始＝設定されていません。
自動接続＝ [ON]
デバイス名変更＝車種により異なります。
電話設定
　発着信履歴読み込み＝設定されていません。
　発着信履歴消去＝設定されていません。
　電話帳 / 発着信履歴自動読み込み＝ [ON]
　電話帳並べ替え順序＝ [姓 / 名]
　SMS メッセージ自動通知＝ [MODE2]
SMS 返信メッセージ編集
　文章 1=[現在電話に出られません。]
　文章 2=[後でかけ直します。]
　文章 3=[もうすぐ着きます。]

車両設定

警告表示設定

警告表示＝ [ON]
半ドアお知らせ表示＝ [ON]
ブレーキ系統異常お知らせ表示＝ [ON]
シートベルト未装着お知らせ表示＝ [ON]
路面凍結注意お知らせ表示＝ [ON]
携帯リモコンの電池切れお知らせ表示＝ [ON]
燃料切れお知らせ表示＝ [ON]

車両カスタマイズ設定

ご利用の車両の設定状態に応じて、自動で表示されます。

コネクテッドサービス

車両情報の送信を許可する＝ご利用の車両の設定状態に応じて、自動で表示されます。

ドライブレコーダー設定

カメラモニター 前カメラの映像
画質＝ [高画質]
画質調整
　コントラスト＝昼：[00] 夜：[00]
　明るさ＝昼：[20] 夜：[7]
　色合い＝昼：[00] 夜：[00]
　色温度＝昼：[0] 夜：[0]
音声録音 = [ON]
手動録画の自動停止時間 = [1 分]
急加速・急減速の感度 = [3]
急加速・急減速の通知音 = [ON]
駐車録画 = [OFF]
駐車録画のお知らせ = [OFF]
駐車録画の感度 = [3]
駐車録画の時間 = [30 秒]
駐車録画の無効時間 = [1 分]
起動音 = [ON]
起動音・警告音の音量 = [3]
取付調整 = 設定されていません。
バージョン情報 = 設定されていません。
SD カード初期化 = 設定されていません。
設定初期化 = 設定されていません。
ドライブレコーダータイプ = [前のみ]

索引

かな

あ

案内開始画面 91

い

緯度経度 86

う

運転情報 147

え

エネルギーフロー 150
エリアモード 120

お

オートハイウェイモード 50
お気に入りボタン 16
オートリルート 49
音楽CD 70, 124

か

回避エリア 100, 101
カメラ 195
画面 OFF 22

き

キーボード 33
逆走警告 172
逆走注意案内 173
給油間履歴 149

け

経由地 96
ゲージ 48
言語コード表 184

こ

交差点案内 48
後席専用モニター 197
交通情報 119
コネクテッドサービス 188

し

自車位置 178
自宅 53, 55
車両警告情報 150
車両情報 146
ジャンル 88
渋滞情報 108
周辺施設 86
初期設定 233

す

スクロール 41, 43
スケール 45
ステアリングスイッチ 17
ステータスバー 40

せ

全方位モニター 195

た

ダイナミックルートガイダンス 49
タッチ 13

ち

地図/ソフトウェアの更新 204
チャンネルプリセット 120

つ

通話 153

て

デモ走行 102
テレビ 74, 120
電源 OFF 22
電源ボタン 16
電話 155
電話帳 153
電話番号 85
電話ボタン 16

と

到着予想時刻 47
登録地 57, 89, 104
ドライブモード 120
ドライブレコーダー 198
ドラッグ 13

の

乗降IC 98

は

バックアイカメラ 196
発着信履歴 158
番組表 123

付録

ハンズフリー 153
ひ
ビーコン情報 110, 113
ピンチアウト 13
ピンチイン 13
ふ
フリーワード 85
フリック 13
プローブ情報アップリンク 115
へ
別ルート 93
ほ
ホーム画面 23, 25
ホームボタン 16
み
ミュートボタン 16
め
名称 84
ら
ラジオ 73, 117
り
履歴 89
る
ルート 90, 92, 95
ルートインフォメーション 47
ルート情報 92
ルートスクロール 92
ルートモニター表示 49, 172
わ
ワイドモード 131, 143, 144
ワンタッチダイヤル 154
ワンドライブ履歴 148
アルファベット
A
Android Auto 82, 164
Apple CarPlay 80, 160
B
Bluetooth 63, 185, 189, 225
Bluetooth Audio 79, 136
D
DVD 71, 127
DVD-VR 127
E
ETC 114
ETCレーン案内表示 52
H
HDMI 144
I
iPod 78, 133
N
NaviCon 116
R
ROM 70, 124
S
SMS 159
STEREO 73
U
USB 75, 139
V
VICS 108, 112
VICSマーク 111
W
Wi-Fi 161, 185
数字
2D ノースアップ 46
2D ヘディングアップ 46
3D マップ 46
6ルート地図 93
6ルートリスト 94

70T21

3A103-70T21